

# 令和4年度 森林環境税企業アンケート調査結果

令和5年2月

高知県林業振興・環境部 林業環境政策課

## 目次

1	調査の概要	2
2	調査結果	3
	■単純集計	5
	問1 従業者数	6
	問2 資本金等	6
	問3 主たる事業所の所在市町村	7
	問4 業種	8
	問5 森林所有の有無	8
	問6 環境保全活動	9
	問7、8 森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識	12
	問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否	15
	問10 企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見 (企業の負担額について)	16
	問11 企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見 (企業規模に応じた負担の場合)	19
	■クロス集計	21
	問1 「従業者数」を軸にしたクロス集計	22
	問2 「資本金等」を軸にしたクロス集計	30
	問3 「広域市町村圏別」を軸にしたクロス集計	38
	問4 「業種」を軸にしたクロス集計	46
	問5 「森林所有の有無」を軸にしたクロス集計	54
	問6 「環境保全活動(現在取り組み中のもの)」を軸にしたクロス集計	59
	問6 「環境保全活動(今後新たに取り組みたいもの)」を軸にしたクロス集計	61
	問7 「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」 を軸にしたクロス集計	62
	■自由記述欄の整理	63

# 1 調査の概要

## (1) 実施目的

平成15年4月に導入した県独自の森林環境税は、令和5年3月末で第四期目の課税期間が満了する。本調査は、同税を負担する県内企業にアンケートを実施し、同税に対するの関心や意見などを把握することにより、「今後の同税のあり方（課税期間の延長、使途など）」を検討する際の基礎資料として活用することを目的としている。

## (2) アンケート調査票の設問内容

企業の属性（従業者数、資本金等、主たる事業所の所在市町村、業種、森林所有の有無）

問1～問5

企業が取り組んでいる環境保全活動、今後取り組む予定の環境保全活動 問6

森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識 問7～問8

森林環境税課税期間の延長に対する賛否 問9

企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見 問10～問11

## (3) アンケートの発送先

企業アンケートは、高知県に法人県民税を納税している事業者からランダムに抽出した企業2,000社に発送した。そのうち1,969通が企業に到達し、令和4年9月30日の回収期限までに438社から回答を得た。回答率は22.2%（前回：24.6%、前々回：36.9%）となっている。

## (4) 集計方法

アンケートの集計にあたり、設問の条件を満たしていない回答は「無回答」とした。単一回答の設問で複数の回答を選択する、または無記入の場合などは、すべて「無回答」として集計している。また、問9の設問に対する回答結果によって、続けて回答をいただく問10や、問9と問10の設問に対する回答結果によって、続けて回答をいただく問11については、条件を満たしている企業のみを集計した。

438社のサンプルを、それぞれの設問ごとに集計し（単純集計）、企業の属性と森林環境税に関する活動や意見についての関係性を分析した（クロス集計）。また、前回の報告書と同じ設問、同じ内容の集計表はすべて、比較のために前回のデータを追加した。

## 2 調査結果

### (1) 単純集計

単純集計における企業の属性は、従業者数では「1人～9人」の規模の企業が62.1%を占め、資本金等では「その他の法人、社団・財団」が59.1%と最も多い割合となった（P6）。

回答企業の主たる事業所の所在地は「高知市」が55.7%を占め（P7）、業種は「その他の業種」が30.8%と最も高く、森林所有の有無は「所有していない」企業が92.7%を占めた（P8）。

現在取り組んでいる環境保全活動については、「取り組み無し」と回答した企業が95.0%を占めた。

今後取り組みたい環境保全活動では、「取り組みなし（無回答）」が81.1%、「活動を支援」が16.「自社森林で社員の教育」、「森林所有者と協定締結」、「森林を購入」が4.3%となっている（P9）

森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識については、「間伐などによる森林整備」が59.4%と高かった（P12）。

森林環境税の課税期間を令和5年度以降も継続（5年間）することについては、

「どちらかといえば賛成」が44.5%、「賛成」が44.3%で（P15）、『賛成意見』（＝「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）の割合が前回の71.1%より17.7ポイント増加し、88.8%となっている。

『反対意見』（＝「どちらかといえば反対」＋「反対」）の割合は5.2%となっており、前回の5.8%より減少している。

また、森林環境税の企業負担額は、「県民、企業とも同額の負担」が42.6%と最も高く、次いで「企業の規模に応じた負担」が33.7%となっている（P16）。

なお、問10で「企業の規模に応じた負担でよい」と選択した企業が回答した負担額については、「法人県民税均等割の5%」が、72.6%を占めている（P19）。

### (2) クロス集計（企業の属性を軸に各設問とクロス集計している）

#### 問6 “環境保全活動（現在取り組み中のもの）”

「従業者数」を軸にした集計では、「30～49人」でいくつかの項目で割合が増加し、「10～29人」、「100人以上」を除いた従業者数の“活動を支援”の割合が前回より増えている（従業者数 P22～23）。

また、一部の業種では活動が増加しているが、特に目立って多い活動はなく、一方、全く活動が見られない業種もある（業種 P46～47）。

また、森林所有企業は、森林を所有していない企業に比べて、各活動に取り組んでいることが分かる（森林所有の有無 P54）。

#### 問6 “環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”

全ての従業者数で“活動を支援”の割合が高い（従業者数 P24～25）。

また、多くの地域、全ての業種で“活動を支援”の割合が高い（広域市町村圏別 P40～41）、（業種 P48～49）。

森林所有の有無では、森林を所有している企業の活動の割合が前回より増えている。また、“活動を支援”の割合は所有の有無に関わらず高い（森林所有の有無 P55）。

### 問7 “森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”

「従業者数」を軸にした集計では、「100人以上」を除く全ての項目で同じような傾向になっており、“森林整備”の割合が高い。「100人以上」では、“森林環境学習”の割合が高くなっている（[従業者数 P26](#)）。

「資本金等」を軸にした集計では、全体を見ても“森林整備”の割合が高い。「50億超」、「1億超、10億以下」では回答数が同じ割合となっているところがあるが、回答数が少ないため高い結果となっている。「10億超、50億以下」は回答なしとなっている（[資本金等 P34](#)）。

全ての圏域、全ての業種、森林所有の有無においても、“森林整備”の割合が高い（[広域市町村圏別 P42](#)）（[業種 P50](#)）（[森林所有の有無 P56](#)）。

### 問9 “森林環境税課税期間延長に対する賛否”

どの企業属性でも“賛成”、“どちらかといえば賛成”が高い傾向となっている。

（[従業者数 P27～28](#)）（[資本金等 P35～36](#)）（[広域市町村圏別 P43](#)）  
（[業種 P51～52](#)）（[森林所有の有無 P57](#)）。

### 問10 “企業が負担する森林環境税の課税内容に関する意見（負担額について）”

どの従業者数規模の企業も“県民、企業とも同額の負担”が最多で、次いで、“企業の規模に応じた負担”が高い傾向にあり（[従業者数 P29](#)）、「10億超、50億以下」を除いた資本金の企業でも“県民、企業とも同額の負担”、“企業の規模に応じた負担”で大半を占める（[資本金等 P37](#)）。

本県の多くの企業で、この2つの意見に二分化されているという傾向が見えてくる。

また、回答数が多く全体に占める割合が大きい「高知市」は“県民、企業とも同額の負担”が高くなっており、次に回答数が多い「南国・香美広域圏」では“企業の規模に応じた負担”が高くなっている（[広域市町村圏別 P44](#)）。

業種との関係性では、全ての業種で“県民、企業とも同額の負担”、“企業の規模に応じた負担”が高い傾向にある（[業種 P53](#)）。

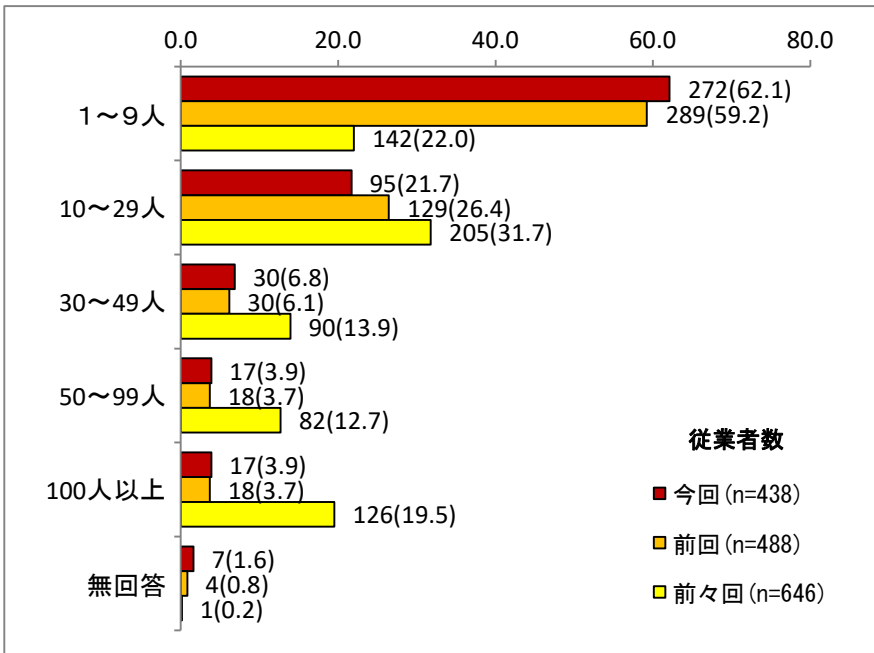
森林所有の有無に関わらず、“県民、企業とも同額の負担”が46.4%と高くなっている（[森林所有の有無 P58](#)）。

## ■単純集計

表とグラフはすべて件数と（ ）内に%を記載した。また、前回との比較ができる設問に限っては、前回の件数と%を表記している。単一回答の%は、件数を設問項目の回答企業数の合計で割ったものを、少数点第2位で四捨五入し表記しているため合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の問は、総数（回答企業数）で割ったものを少数点第2位で四捨五入し表記している。グラフの中の（n= ）という表記は、設問項目の回答企業数の合計、総数を意味している。問6、問8の自由記述欄は意見を要約、問9、問10、問11の自由記述欄は回答別に整理して意見を要約した。

## 問1 従業員数

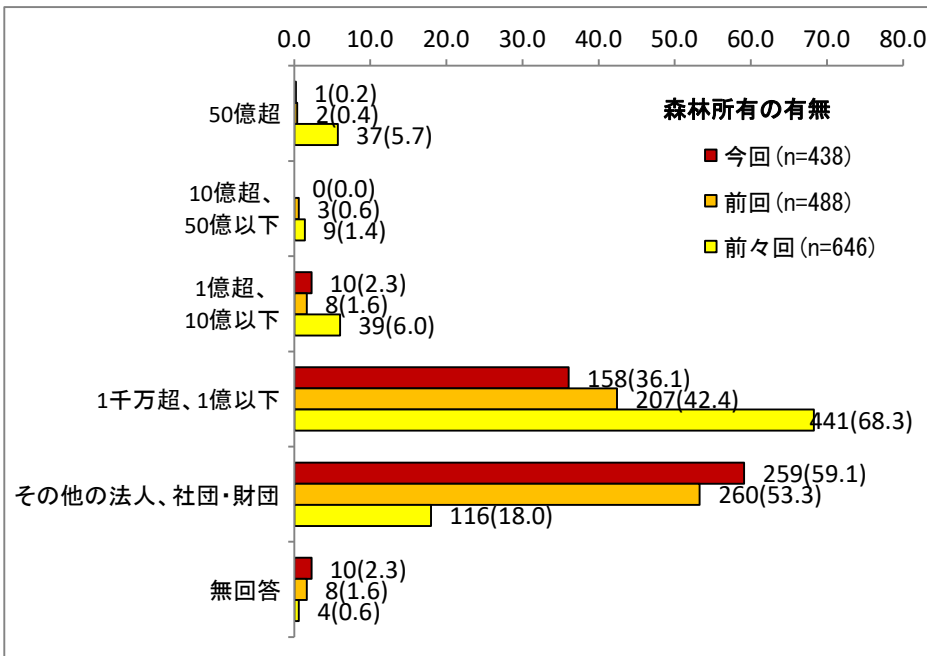
従業員数（図） 件数、（ ）は%



回答企業の従業員数は、前回と同様「1~9人」が最も多く、62.1%を占めた。次いで、「10~29人」が21.7%、「30~49人」が6.8%となっている。

## 問2 資本金等

資本金等（図） 件数、（ ）は%



回答企業の資本金等の規模については、前回と同様「その他の法人、社団・財団」の企業が最も多く、59.1%を占めた。次いで、「1千万超、1億以下」が36.1%となっている。

### 問3 主たる事業所の所在市町村

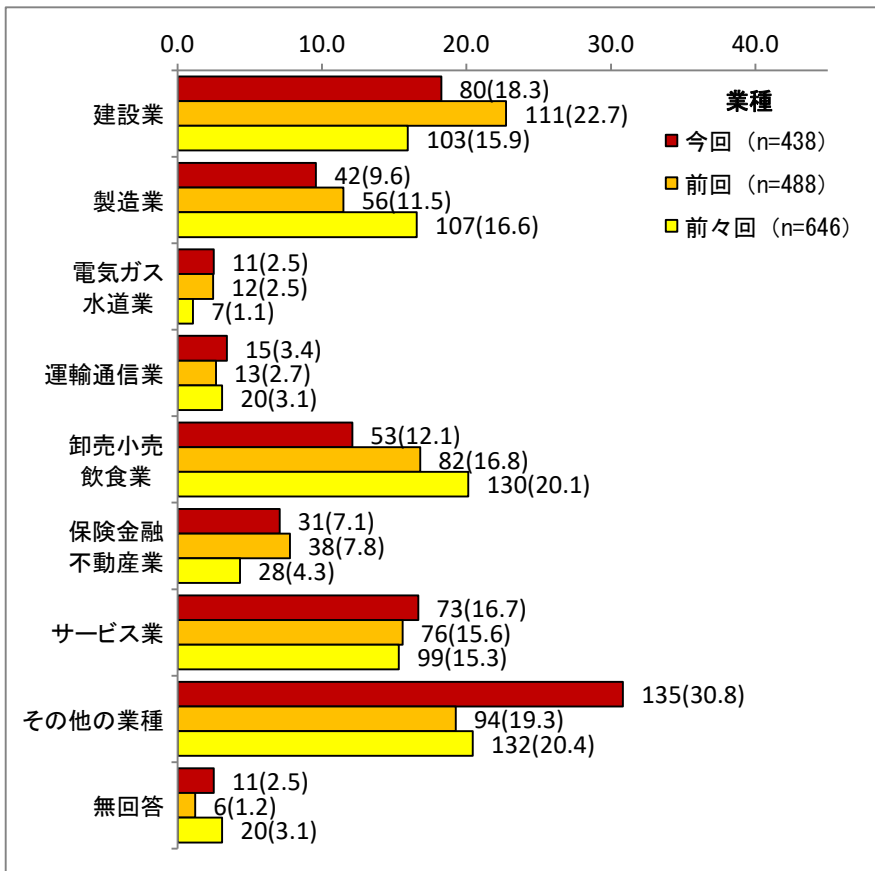
主たる事業所の所在市町村（表） 件数、（ ）は%

区分	今回	前回	前々回	今回と前回との差
高知市	244 ( 55.7 )	270 ( 55.3 )	418 ( 64.7 )	-26 ( 0.4 )
室戸市	4 ( 0.9 )	4 ( 0.8 )	4 ( 0.6 )	0 ( 0.1 )
安芸市	8 ( 1.8 )	3 ( 0.6 )	3 ( 0.5 )	5 ( 1.2 )
南国市	20 ( 4.6 )	13 ( 2.7 )	41 ( 6.3 )	7 ( 1.9 )
土佐市	15 ( 3.4 )	40 ( 8.2 )	20 ( 3.1 )	-25 ( -4.8 )
須崎市	20 ( 4.6 )	9 ( 1.8 )	15 ( 2.3 )	11 ( 2.7 )
宿毛市	10 ( 2.3 )	9 ( 1.8 )	11 ( 1.7 )	1 ( 0.4 )
土佐清水市	6 ( 1.4 )	1 ( 0.2 )	5 ( 0.8 )	5 ( 1.2 )
四万十市	15 ( 3.4 )	17 ( 3.5 )	22 ( 3.4 )	-2 ( -0.1 )
香南市	11 ( 2.5 )	3 ( 0.6 )	9 ( 1.4 )	8 ( 1.9 )
香美市	16 ( 3.7 )	2 ( 0.4 )	15 ( 2.3 )	14 ( 3.2 )
東洋町	0 ( 0.0 )	3 ( 0.6 )	1 ( 0.2 )	-3 ( -0.6 )
奈半利町	2 ( 0.5 )	2 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
田野町	0 ( 0.0 )	1 ( 0.2 )	2 ( 0.3 )	-1 ( -0.2 )
安田町	2 ( 0.5 )	2 ( 0.4 )	1 ( 0.2 )	0 ( 0.0 )
北川村	1 ( 0.2 )	2 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -0.2 )
馬路村	2 ( 0.5 )	2 ( 0.4 )	1 ( 0.2 )	0 ( 0.0 )
芸西村	0 ( 0.0 )	1 ( 0.2 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -0.2 )
本山町	4 ( 0.9 )	2 ( 0.4 )	1 ( 0.2 )	2 ( 0.5 )
大豊町	3 ( 0.7 )	2 ( 0.4 )	1 ( 0.2 )	1 ( 0.3 )
土佐町	5 ( 1.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.1 )
大川村	1 ( 0.2 )	2 ( 0.4 )	1 ( 0.2 )	-1 ( -0.2 )
いの町	8 ( 1.8 )	18 ( 3.7 )	12 ( 1.9 )	-10 ( -1.9 )
仁淀川町	3 ( 0.7 )	10 ( 2.0 )	3 ( 0.5 )	-7 ( -1.4 )
中土佐町	6 ( 1.4 )	1 ( 0.2 )	2 ( 0.3 )	5 ( 1.2 )
佐川町	3 ( 0.7 )	10 ( 2.0 )	0 ( 0.0 )	-7 ( -1.4 )
越知町	3 ( 0.7 )	6 ( 1.2 )	5 ( 0.8 )	-3 ( -0.5 )
檮原町	2 ( 0.5 )	1 ( 0.2 )	1 ( 0.2 )	1 ( 0.3 )
日高村	2 ( 0.5 )	5 ( 1.0 )	3 ( 0.5 )	-3 ( -0.6 )
津野町	2 ( 0.5 )	4 ( 0.8 )	1 ( 0.2 )	-2 ( -0.4 )
四万十町	13 ( 3.0 )	16 ( 3.3 )	13 ( 2.0 )	-3 ( -0.3 )
大月町	3 ( 0.7 )	2 ( 0.4 )	3 ( 0.5 )	1 ( 0.3 )
三原村	1 ( 0.2 )	5 ( 1.0 )	0 ( 0.0 )	-4 ( -0.8 )
黒潮町	1 ( 0.2 )	8 ( 1.6 )	3 ( 0.5 )	-7 ( -1.4 )
無回答	2 ( 0.5 )	12 ( 2.5 )	29 ( 4.5 )	-10 ( -2.0 )
合計	438 ( 100.0 )	488 ( 100.0 )	646 ( 100.0 )	-50 ( 0.0 )

回答企業の主たる事業所の所在市町村は、「高知市」が55.7%を占め、前回から0.4ポイント増となった。前回との合計の差をみると、回答数が50件少なくなっているが、高知市を除いても、二桁以上となっている市町村もいくつかある。

## 問4 業種

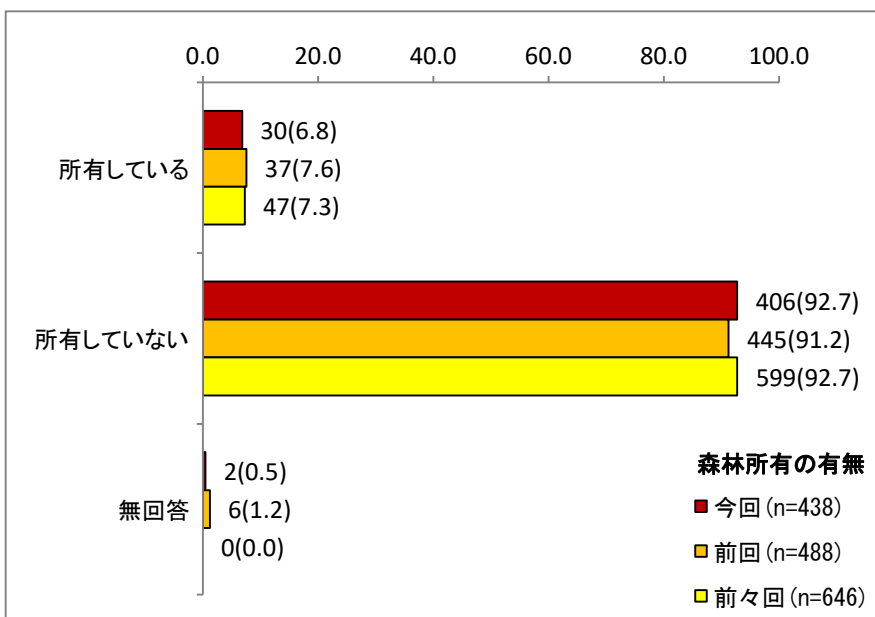
業種 (図) 件数、( ) は% (複数回答)



回答企業の業種は、「その他の業種」が30.8%と最も高い割合を占めた。次いで、「建設業」、「サービス業」、「卸売小売飲食業」、「製造業」、「保険金融不動産業」、「運輸通信業」、「電気ガス水道業」と続いた。

## 問5 森林所有の有無

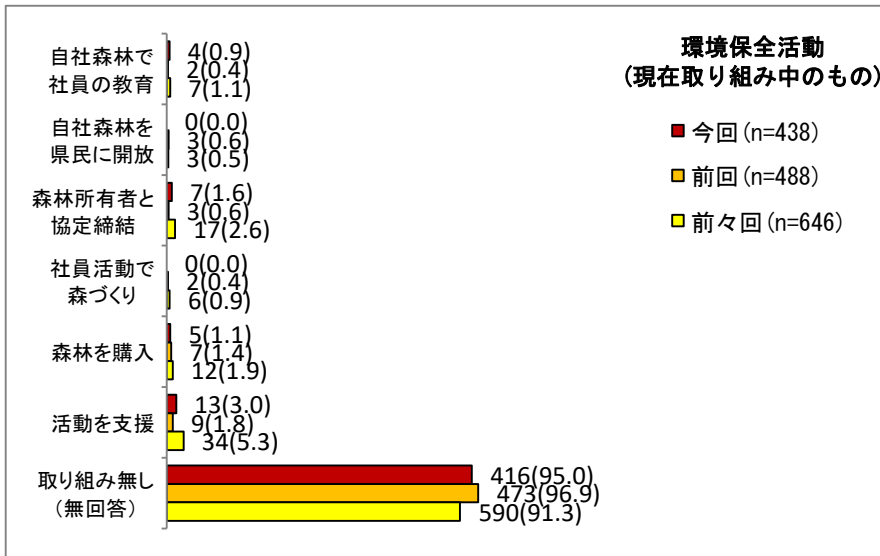
森林所有の有無 (図) 件数、( ) は%



回答企業の森林所有の有無は、「所有している」が6.8%で前回から0.8ポイント減、「所有していない」が92.7%で、前回から1.5ポイント増という結果になった。

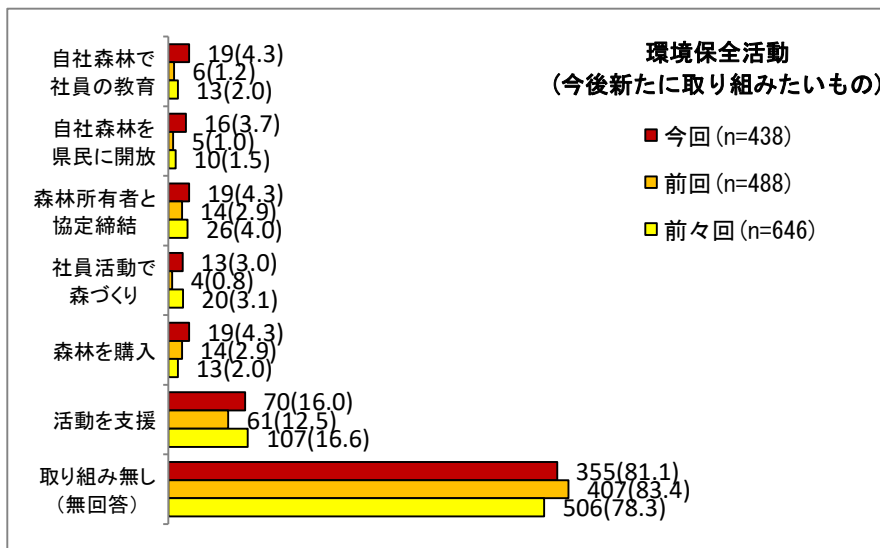
## 問6 環境保全活動

環境保全活動（現在取り組み中のもの） 件数、（ ）は% （複数回答）



回答企業の環境保全活動（現在取り組み中のもの）を見ると、最も割合の高い活動は、「活動を支援」が3.0%で前回より1.2ポイント増となっている。次いで、「森林所有者と協定締結」が1.6%で前回より1.0ポイント増となっている。

環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの） 件数、（ ）は% （複数回答）



回答企業の環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）は、前回同様に現在取り組み中のものに比べ、どの活動も割合が増加し、「活動を支援」においては、16.0%となっている。企業が社会貢献活動などの一環として、今後、森づくりを間接的に支援しようという意識が表れている。取り組み無し（無回答）は81.1%となっている。

- 自社森林で社員の教育 = 自社の所有する森林を、社員の環境教育の場として森づくりに取り組む
- 自社森林を県民に開放 = 自社の所有する森林を県民（森林ボランティア等）に開放し、森づくりに取り組む
- 森林所有者と協定締結 = 森林の所有者と協定を締結し、その森林で社員や顧客などと環境貢献活動として森づくりに取り組む
- 社員活動で森づくり = 社員のサークル活動として、森林ボランティア団体を結成し、森づくりに取り組む
- 森林を購入 = 森林を購入し、自ら森づくりに取り組む（森林組合等への委託を含む）
- 活動を支援 = 森林ボランティア団体の活動支援等を通して、森づくりに取り組む

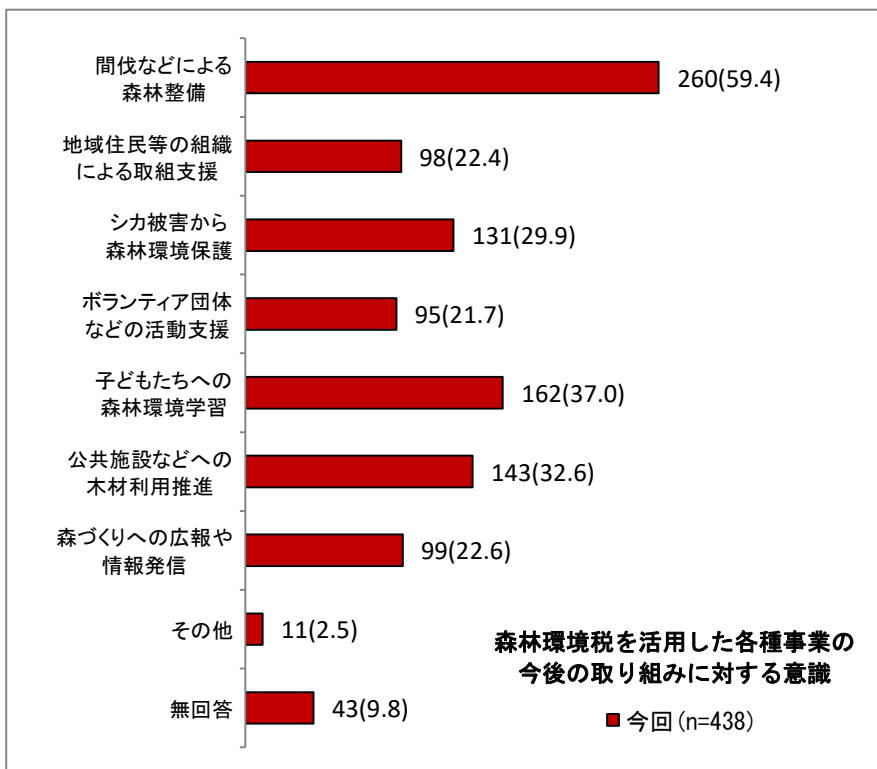
問6には、回答企業が行っているその他の森林保全活動があれば記載する項目がある。以下、記載があった主なものを列記する。

- お客様に林業を業として営む個人・法人が複数者あり、また相続税案件で森林を相続する個人をお客様としてお迎えすることが多数機会あり、教示することが可能。
- 県内企業連携（組織化）による取組。
- 当社としては、海洋での仕事なので、特に森林に取り組んではない。
- 税金に頼らず、マンパワーで若い人等のボランティア活動を積極的に活用し、高知の自然の豊かさをアピールする。課外授業等で山へ入る。
- 当社は森林とは特に関係なし。
- 業種的に当てはまるものはなさそうです。
- 建設業、建売住宅、注文住宅に県産材木を使う。
- 良質の品種（樹種）での植林を行い、建築資材として育林に努める。
- 自社の敷地に木をたくさん植えて森を作っている。
- 個人所有の山林の間伐を高知森林組合に依頼し、間伐をした。
- 現在87才の為活動できておりません
- 森林環境保全活動は必要と思うが、実行する余裕がない。
- 森林を所有するような余裕がない。
- 森林等は個人の所有が大部分と思われます。各人で整備したらいかがか。（補助金を出すとかして）
- 現在の我が社では活動することが難しい。
- 個人的に山を所有して杉ヒノキ他。
- 高知県森と緑の会へ店頭での募金活動実施。高知県産間伐材の積極的な使用。店舗にて四万十ヒノキを使った店頭リサイクルBOXの設置（四万十店）。
- 建設（建築）業で少人数でやっているため森林関係には手が回らない。取り組んでもいないしこれからの予定もない。
- 個人的活動に位置付けている。
- 当社は、昨年SDGs宣言を行い、廃棄物の削減やエネルギー利用の効率化など環境面においても各種取り組んでいる。

- 保育中の山林の育成、保全管理を続け地域の環境保全と経済的基盤の強化を図る。
- 人が少なくなり、本業でもたくさんの負担があり、林業の方に頑張ってもらいたい。
- 現状では特に取組していることはないですが、県民みんなが森のサポーターの思いを持ち、できることを考えていきたいと思います。
- 有害鳥獣捕獲、鹿の駆除に取り組んでいる。
- 森林は業種と余り関係がないので活動をする予定はない。
- 佐喜浜小学校の子供たちと段の杉の見学に行っている。
- どのように活用するか検討中です。
- 森林環境保全活動に取り組む企業さんの製品を購入し、新商品の開発を行う予定。
- 森林だけに限らない大地と人を含めたランドスケープの活動に興味がある。
- 地球温暖化軽減には森林保全は重要な事と思います。
- 間伐等で出た木材をチップ化した木質チップを、バイオマスボイラの燃料として積極的に利用する。
- 直七の試験栽培に使ってもらっています。

## 問7 森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識

森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識（図）  
件数、（ ）は% （複数回答）



回答企業の森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識は、「間伐などによる森林整備」が59.4%と最も多く、次いで、「子どもたちへの森林環境学習」が37.0%と続いた。

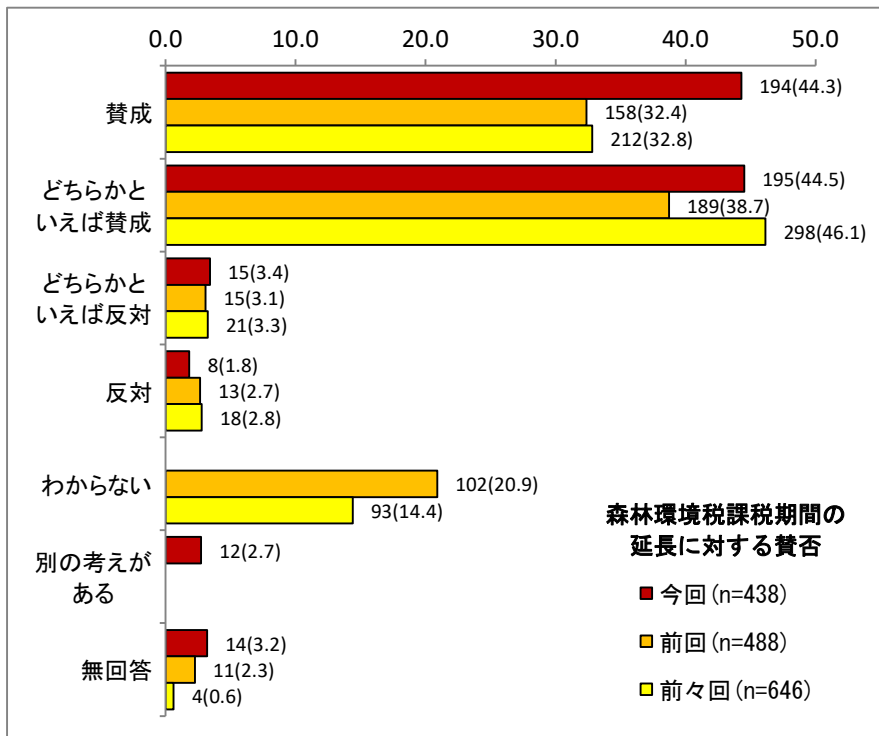
- |                 |   |                               |
|-----------------|---|-------------------------------|
| 間伐などによる森林整備     | = | 森林環境の保全を進める間伐などによる森林整備への支援    |
| 地域住民等の組織による取組支援 | = | 地域住民等の組織による里山林の保全や利活用等の取組への支援 |
| シカ被害から森林環境保護    | = | シカによる被害から森林環境を守る対策への支援        |
| ボランティア団体などの活動支援 | = | 森林保全ボランティア団体などの活動への支援         |
| 子どもたちへの森林環境学習   | = | 将来を担う子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援  |
| 公共施設などへの木材利用推進  | = | 公共的な施設などへの木材利用の推進への支援         |
| 森づくりへの広報や情報発信   | = | 森づくりへの理解と参加を促す広報や情報発信         |

問8は、問7の事業以外で、森林環境税を使って取り組んだ方がよいと思うことを記入する設問である。以下、記載された主なものを列記する。

- 毎木調査などは一挙手一投足にできる事業ではないが、後進を育成、後継者を創る観点からいえば、山林の現状を知る作業は林業を支える基幹情報である。森林環境税では育成の観点のみならず情報の洗い替えがスムーズになるように資していただきたい。
- 山林（私有林を含む）入山規約と遵守条項の約款。森林ガイドの養成と組織化。
- 川への影響も同時に対策が必要ではないか。国として河川、森林、協力し合うべき。
- 放棄された山林の所有者を探し出し、周辺を団地化した上で整備し保全する取組を加速化すべき。
- 水源地周辺の整備（防災対策を含む）
- ボランティアを当てにするのではなく、この税から雇用を生み出せるようにすればいいと思う。（職員としての正規雇用等）
- ジビエ料理に対する推進及び援助等。
- 森林の開発をしない。森の中に公共な建物等を建てない。自然を壊さないこと。
- 国産（県産）の木材が気軽に（手頃な価格で）使えるようになったら良いと思います。
- ①、②防災の面からも、山林所有者とともに、地域（団地）の住民の組織による里山林の保全や利活用等取組への支援。
- 県が山を購入し、自然林を増やす（環境税で）。個人の山の10%は自然林として残すこと条件で。
- 以前のように林業で生きていける、という環境を作ることが一番今取り組まなければいけないことなのでは？
- 森林整備、間伐等に必要な林道（簡易作業道でない）整備。
- 建設会社やリフォーム会社と組んで、建設・内装・インテリア等の間伐材グッズの製造販売。（輸出も視野）
- 路面電車の外装ラッピングや内装の木質化。担い手不足対策（外国人材支援）。
- 仁淀川町が進めるCLT木材の需要増に関われば良いと思います。
- ジビエなどの食育
- 全ての生物（人間）は自然（山林）とは無関係ではなく共存していくことの必然性、重要性を知識のみではなく本質的（本能的）に身につけていく大切さをあらゆる機会を通じて啓発すること。

- 森林作業道開設の現在の施業方法は木材搬出のための一時的なものである。長期的視野に立った（50年～100年）計画性のあるものが必要。今のやり方は山の荒廃と河川環境の悪化につながっている。
- 野根山街道、佐喜浜段線登山道、蛇谷林道の整備を行ってほしい。トイレの修理してほしい。
- 森林オーナーの計画を策定し、県内全体の森づくり計画を森林所有率の高い自治体ごとに活動していき→県民に示す。
- 私の所有林で間伐できていない所は、谷向こうとか、林道からのルートが急で道を入れにくい所です。もっと中腹林道を整備してもらいたい。国の譲与税を使えないですか。
- 「多様性のある森づくり」「利活用の難しい森の自然林への転換」など、新しい森づくり、経営にも取り組んでほしい。
- 森林－山－水－人間－動植物。総合的な視点を持つ活動（学びの）。
- 端材や廃材の木質チップ化。
- 公的施設だけでなく、民間の建築会社等への木材提供販売。
- 木育などの活動への支援
- 竹林の整備
- 木質チップに限らず、森林資源利用業者への補助金など。
- 環境調査、環境変化の見える化、森林と水との災害対策支援
- 四季折々に森林に親んでもらえるような一般に開放した環境作り（カブトムシやクワガタなどが集まる環境づくり、紅葉に適した木々を植える、竹林を整備し、筍掘り体験など）

## 問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否



回答企業の森林環境税課税期間の延長に対する賛否は、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて88.8%となり、前回から、17.7ポイント増となった。また、「別の考えがある」の割合が、2.7%あった。

### 回答5. 別の考えがある

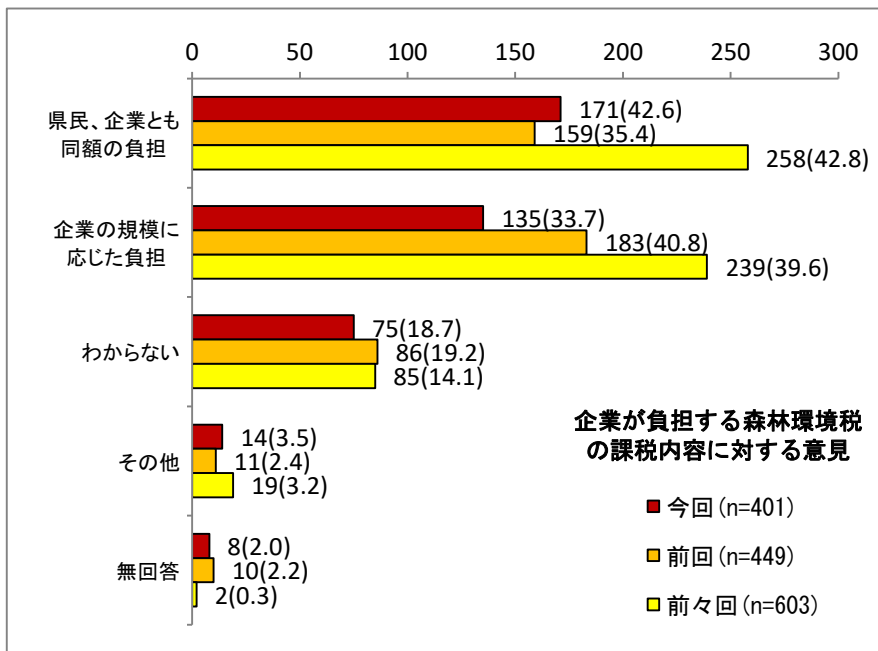
- どちらでもない。
- ボランティアを当てにするのではなく、この税から雇用を生み出せるようにすればいいと思う。（職員としての正規雇用等）
- 高知県下の森林組合がどれだけの面積（県下）の間伐ができてきているのか？ 現在の状態が分からないので答えようができません。
- 分かりません。
- 様々な課題。危機的状況がもっと分かりやすく表現されるべきでは？ 鹿被害しか分からない。現在の取組は分かるがどうして取り組んでいるのか。
- 森林を守ることも大切だが、それを利用して利益を生む取組を進めないと税収ばかり大きくなり、結果子供たち次世代の負担にしかならないと思います。
- 分からない。
- 企業から取るのは賛成。個人は反対。
- よく分からない。
- もっと長期的な視野で取り組むべきではないか。
- 分かりません

## 問10 企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）

（問9で「賛成」、「どちらかといえば賛成」、「別の考えがある」を選択した企業のみが回答）

### 企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）（図） 件数、（ ）は％（複数回答）

※今回の設問には、前回の設問にあった「企業は県民とは別の定額」という選択肢がない。  
よって集計の際は、今回の回答と一致する選択肢だけ比較している。



企業が負担する森林環境税の額について、回答企業の意見は「県民、企業とも同額の負担」が42.6%と最も高い結果となった。次いで、「企業の規模に応じた負担」が33.7%、「わからない」18.7%、「その他」3.5%と続いた。前回と比較すると、「企業の規模に応じた負担」が減少している。

問10には、選択肢を選んだ理由を記入する欄がある。  
以下、その主な理由を選択肢別で列記する。

#### 回答1. 県民、企業とも同額の負担でよい

- 森林は皆のものと考えするためです。
- 森林環境税等自体が国民、県民から100%理解を得ているとは考えにくい点と、高知県のような産業自体がまだまだ弱小な地域では優良企業の多い他県の制度を一律に導入するのは無理があると思われる。
- 県内企業の大部分は中小零細企業のため必要財源確保は負担に対する優遇措置を講じることで解決可能であると考え。
- 山林はほとんどが個人所有なので、税の公平性で問題があると思う。
- 公平性の上からも同額の負担で良い。

- 負担は大きくないほうが継続できると思う。
- 今以上に税額を増やして欲しくない。
- 資本金額が公平な基準だと思えないから。まずはみんなを対象に平等で実施して、賛同者からプラスの寄付の形が良いと思う。
- 単純かつ低負担のほうが理解が得られる。高収益企業が少ない本県なので、広く浅くでよいと思う。
- 極端に山が多い地域に住む住民の責務として、第一に土砂崩れなど災害を防ぐ観点から県民、企業から公平に負担するのが妥当と考える。

## 回答2. 企業の規模に応じた負担でよい

- 国土の保全なく企業は成り立たない。
- 財源確保
- 分相応の負担
- 大きい企業はそれなりに環境への負荷も大きいので。
- 定額にする必要ない。森林環境を良くするため、金額の強制はせず自由投資が望ましい。
- 正しく税を使用してもらえれば協力して森林を大切にできると良いですね。
- 高知県内で事業を行っているのであれば、それなりの負担は当然と考えます。企業と県民が同額というのはおかしい。ただ、過度に大きな負担にならないよう配慮は欲しいです。
- 田舎のすたれている山が活用されたら良いと思うから
- 規模に応じて便益を受けていると思うから
- 規模に応じた社会貢献の義務があるとおもいます。

## 回答3. わからない

- 企業に負担にならない程度。
- 森林の区分判断により、植林地と自然林地(森)とでは考え方が変わると思うのですが。植林地に森林環境税を使うのは疑問です。過去に植林を推奨され投資して来ましたが、原木価値が下がり何の利益も得る事は無く、次の植林は出来ない状態。50年育て大きくなり過ぎた杉は伐採すら拒否される現状です。森の保全には賛同出来ます。

- 税収の規模と、支出の優先順位がわからないため。環境整備を放置すると、将来より大きな支出につながる可能性があるなら、現状である程度の負担増は理解できなくもないが、業績とのバランスもある。
- 使途について譲与税とすみ分けが十分に出来ているか疑問に思う。重複する負担は好ましくない。

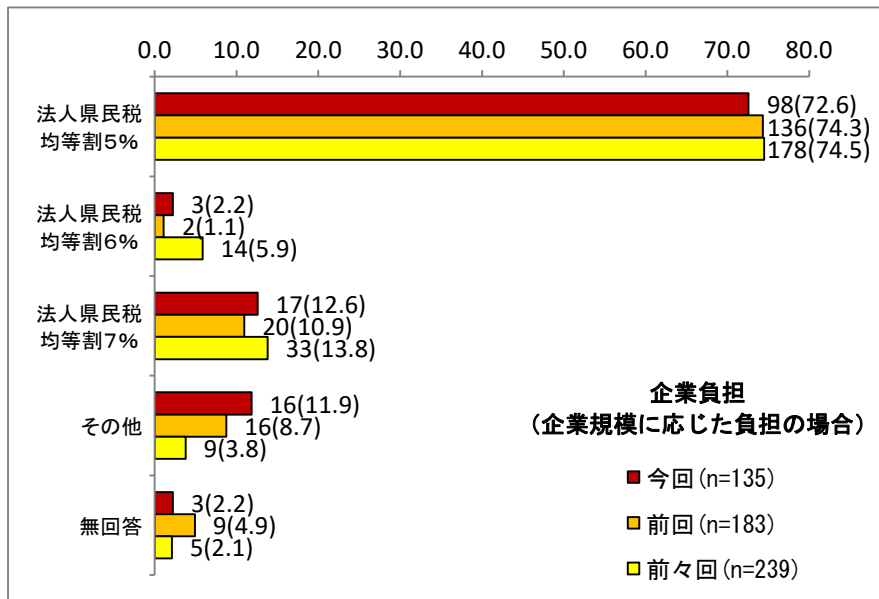
#### 回答4. その他

- 徴収した税総額が不明なので500円以上徴収しなければならない事情が読めない。森林整備の必要性は分かるので最低年額500円は必要と思う。
- 貧乏県です。県民の理解と協力のある範囲で。
- 資本金で税率を決めるのはおかしい。
- 森林に関係深い企業は規模に応じて良いのでは。

## 問11 企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見 (企業規模に応じた負担の場合)

(問10で「企業の規模に応じた負担でよい」を選択した企業のみが回答)

### 企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見 (企業規模の応じた負担の場合) (図) 件数、( )は% (複数回答)



回答企業が考える企業負担(企業規模に応じた負担の場合)では、「法人県民税均等割5%」が72.6%と前回同様、最も高い割合を占めた。次いで、「法人県民税均等割7%」が12.6%、「その他」が11.9%と続いた。現状で「法人県民税均等割5%」が多数派と見てよいだろう。

問11には、選択肢を選んだ理由を記入する欄がある。  
以下、その主な理由を選択肢別で列記する。

#### 回答1. 法人県民税均等割5%

- 特にこだわりなし。
- 緑を守ることは国民一人一人の義務と考えるから。
- まずは区切りの良い数字から始めて、適切な数字の変更を行う。
- 税率は低いほうが良い。
- 余り多額になると中止になると思います。
- 無かったものを始めるにあたってはまずは。

#### 回答3. 法人県民税均等割7%

- 法人は、その業務において、大なり小なり、森林環境の恩恵にあずかっているから。
- 雇用について使われるのであれば、10%でも構わない。それ以外の広報事業(パンフや情報誌)とかへ回すのであれば、払いたくはない。
- 環境保全に要する額は多大であると思われるから。地球環境を守る(維持、持続)ために、全ての人々が、協力しなければ未来が不安な状況まで来ていると感じている。
- この程度なら負担増とは感じない程度なので支払できる。

問11 「回答4. その他」には、具体的な内容を記入する欄がある。  
以下に、記載があった主なものを、その理由とともに列記する。

その他

- 上記以上の割合（％）

理由

- 大企業にとっては何でもない金額だから。

その他

- 利益より

理由

- 直接林業とつながりがないのもうけない中で取られるのはどうか？ 正しく使われているか分からない。

その他

- 0.03

理由

- 5%以上は今までの500円からすると高過ぎるのでは？

その他

- 100%でもいいと思う……。

理由

- うちの分で計算してみると、7%でも1,500円程度でした。問8の回答が実現するのであれば、法人県民税均等割と同程度でも喜んで納めたいと思います。

その他

- 法人均等割の3%

理由

- 金額が少ない方が理解が得られやすい。

## ■クロス集計

問1「従業者数」、問2「資本金等」、問3「主たる事業所の所在市町村」、問4「業種」、問5「森林所有の有無」など、回答があった企業の属性を軸にして、次の設問とのクロス集計を行う。

- 問6 “環境保全活動（現在取り組み中のもの）”
- 問6 “環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”
- 問7 “森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”
- 問9 “森林環境税課税期間の延長に対する賛否”
- 問10 “企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”

表は、件数、（ ）は%で表示し、グラフはすべて%表記で統一している。前回と比較ができる表に限っては、「前回との差」を記載している。単一回答のクロス集計の%は、件数をそれぞれの軸の要素の合計で割ったものを、小数点第2位で四捨五入表記しているため、合計が100%にならない場合がある。また複数回答の問は、軸の要素の総数で割ったものを、調整せず小数点第2位で四捨五入している。

問3「主たる事業所の所在市町村」は、広域市町村圏別という区分で分類のうえ軸としており、区分は以下の通りである。

高知市（高知市）

安芸広域圏（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）

南国・香美広域圏（南国市、香南市、香美市）

嶺北広域圏（本山町、大豊町、土佐町、大川村）

仁淀川広域圏（土佐市、いの町、日高村）

高吾北広域圏（仁淀川町、佐川町、越知町）

高幡広域圏（須崎市、中土佐町、禰原町、津野町、四万十町）

幡多広域圏（宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町）

# 問1「従業者数」を軸にしたクロス集計

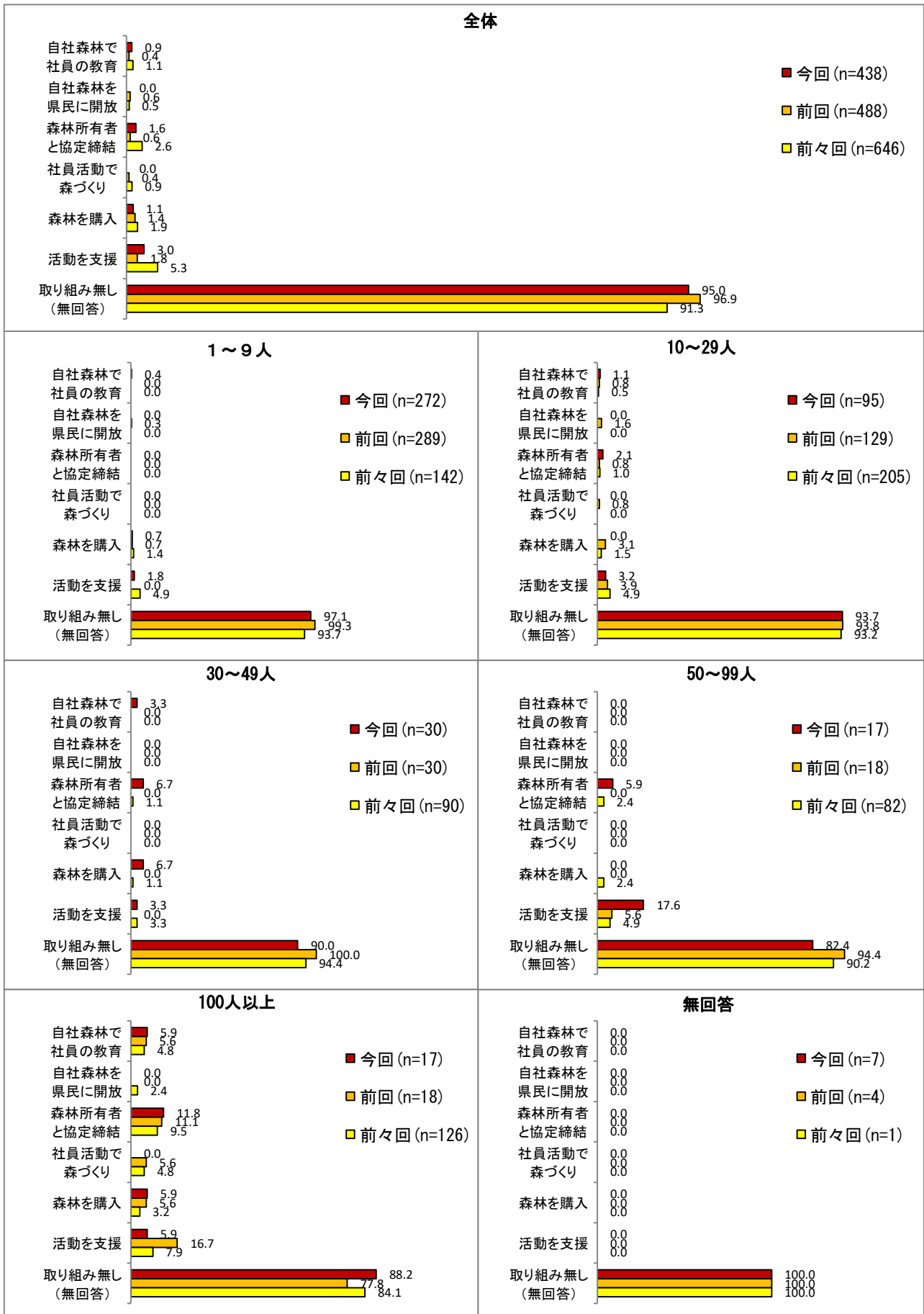
問1「従業者数」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（表）（複数回答）

		問6 環境保全活動（現在取り組み中のもの）								
		対象件数	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組みなし（無回答）	
問1 従業者数	全体	今回	438 ( 100.0 )	4 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	7 ( 1.6 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.1 )	13 ( 3.0 )	416 ( 95.0 )
		前回	488 ( 100.0 )	2 ( 0.4 )	3 ( 0.6 )	3 ( 0.6 )	2 ( 0.4 )	7 ( 1.4 )	9 ( 1.8 )	473 ( 96.9 )
		前々回	646 ( 100.0 )	7 ( 1.1 )	3 ( 0.5 )	17 ( 2.6 )	6 ( 0.9 )	12 ( 1.9 )	34 ( 5.3 )	590 ( 91.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	2 ( 0.5 )	-3 ( -0.6 )	4 ( 1.0 )	-2 ( -0.4 )	-2 ( -0.3 )	4 ( 1.1 )	-57 ( -1.9 )
	1～9人	今回	272 ( 100.0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.7 )	5 ( 1.8 )	264 ( 97.1 )
		前回	289 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.7 )	0 ( 0.0 )	287 ( 99.3 )
		前々回	142 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.4 )	7 ( 4.9 )	133 ( 93.7 )
		前回との差	-17 ( 0.0 )	1 ( 0.4 )	-1 ( -0.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.8 )	-23 ( -2.2 )
	10～29人	今回	95 ( 100.0 )	1 ( 1.1 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 3.2 )	89 ( 93.7 )
		前回	129 ( 100.0 )	1 ( 0.8 )	2 ( 1.6 )	1 ( 0.8 )	1 ( 0.8 )	4 ( 3.1 )	5 ( 3.9 )	121 ( 93.8 )
		前々回	205 ( 100.0 )	1 ( 0.5 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 1.5 )	10 ( 4.9 )	191 ( 93.2 )
		前回との差	-34 ( 0.0 )	0 ( 0.3 )	-2 ( -1.6 )	1 ( 1.3 )	-1 ( -0.8 )	-4 ( -3.1 )	-2 ( -0.7 )	-32 ( -0.1 )
	30～49人	今回	30 ( 100.0 )	1 ( 3.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 6.7 )	0 ( 0.0 )	2 ( 6.7 )	1 ( 3.3 )	27 ( 90.0 )
		前回	30 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	30 ( 100.0 )
		前々回	90 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.1 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.1 )	3 ( 3.3 )	85 ( 94.4 )
		前回との差	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 6.7 )	0 ( 0.0 )	2 ( 6.7 )	1 ( 3.3 )	-3 ( -10.0 )
	50～99人	今回	17 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 17.6 )	14 ( 82.4 )
		前回	18 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.6 )	17 ( 94.4 )
		前々回	82 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.4 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.4 )	4 ( 4.9 )	74 ( 90.2 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 12.1 )	-3 ( -12.1 )
	100人以上	今回	17 ( 100.0 )	1 ( 5.9 )	0 ( 0.0 )	2 ( 11.8 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	15 ( 88.2 )
		前回	18 ( 100.0 )	1 ( 5.6 )	0 ( 0.0 )	2 ( 11.1 )	1 ( 5.6 )	1 ( 5.6 )	3 ( 16.7 )	14 ( 77.8 )
		前々回	126 ( 100.0 )	6 ( 4.8 )	3 ( 2.4 )	12 ( 9.5 )	6 ( 4.8 )	4 ( 3.2 )	10 ( 7.9 )	106 ( 84.1 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	0 ( 0.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.7 )	-1 ( -5.6 )	0 ( 0.3 )	-2 ( -10.8 )	1 ( 10.5 )
無回答	今回	7 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	7 ( 100.0 )	
	前回	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 100.0 )	
	前々回	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	
	前回との差	3 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 0.0 )	

- 自社森林で社員の教育 = 自社の所有する森林で、社員の環境教育の場として森づくりに取り組む
  - 自社森林を県民に開放 = 自社の所有する森林を県民（森林ボランティア等）に開放し、森づくりに取り組む
  - 森林所有者と協定締結 = 森林所有者と協定を締結し、社員や顧客などと環境貢献活動として森づくりに取り組む
  - 社員活動で森づくり = 社員のサークル活動として、森林ボランティア団体を結成し、森づくりに取り組む
  - 森林を購入 = 森林を購入し、自ら森づくりに取り組む（森林組合等への委託を含む）
  - 活動を支援 = 森林ボランティア団体の活動支援を通して、森づくりに取り組む
- 以下のクロス集計表も同様

問1「従業者数」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性を見ると、「10～29人」、「100人以上」を除いた従業者数の“活動を支援”の割合が前回より増えている。前回と比較すると、「30～49人」で、増加した項目が多くなっている。

問1「従業者数」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（図）（複数回答）

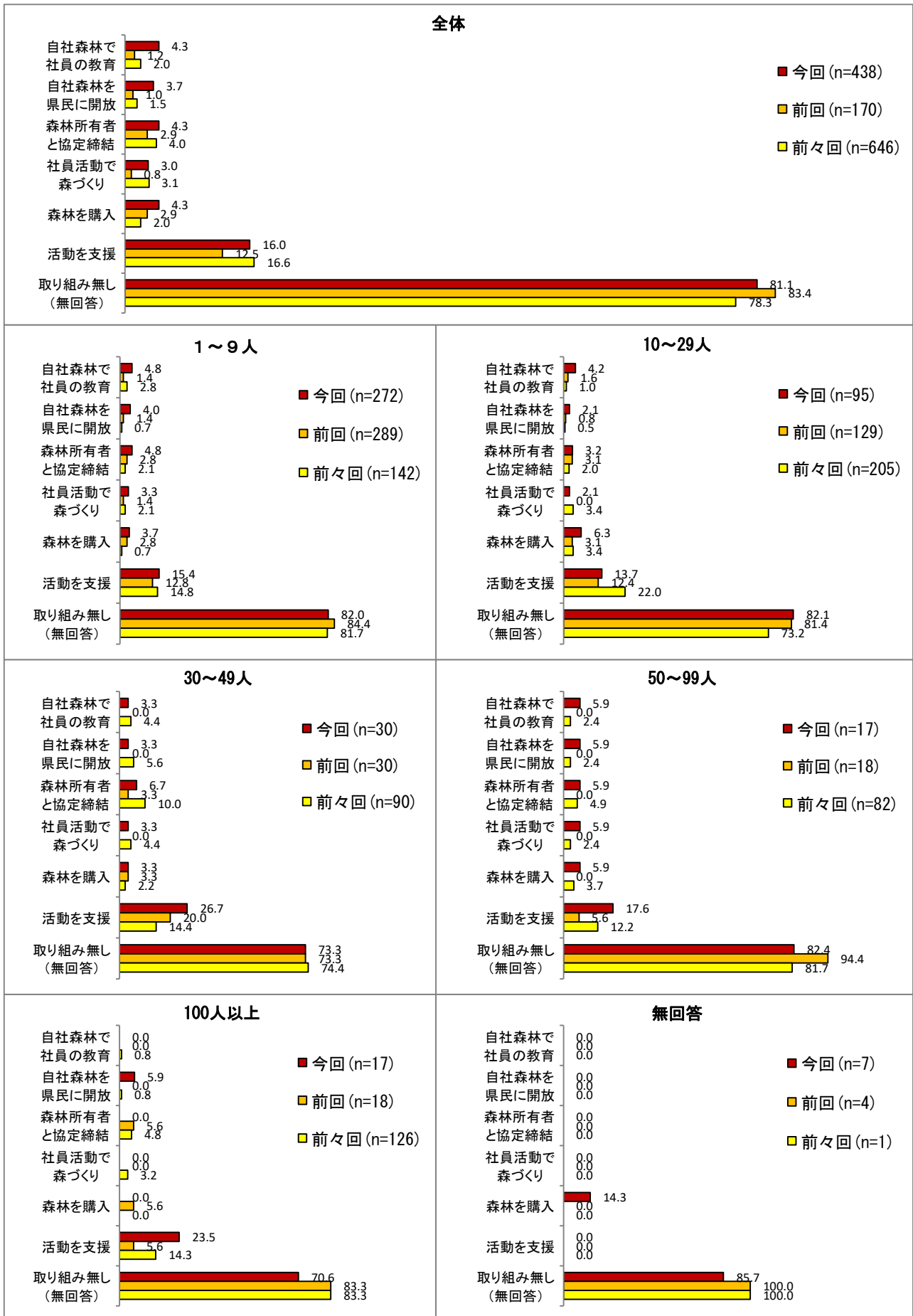


問1「従業員数」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（表）  
（複数回答）

		問6 環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）								
		対象件数	自社森林で 社員教育	自社森林を 県民に開放	森林所有者 と協定締結	社員活動で 森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組みなし （無回答）	
問1 従業員数	全体	今回	438 ( 100.0 )	19 ( 4.3 )	16 ( 3.7 )	19 ( 4.3 )	13 ( 3.0 )	19 ( 4.3 )	70 ( 16.0 )	355 ( 81.1 )
		前回	488 ( 100.0 )	6 ( 1.2 )	5 ( 1.0 )	14 ( 2.9 )	4 ( 0.8 )	14 ( 2.9 )	61 ( 12.5 )	407 ( 83.4 )
		前々回	646 ( 100.0 )	13 ( 2.0 )	10 ( 1.5 )	26 ( 4.0 )	20 ( 3.1 )	13 ( 2.0 )	107 ( 16.6 )	506 ( 78.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	13 ( 3.1 )	11 ( 2.6 )	5 ( 1.5 )	9 ( 2.1 )	5 ( 1.5 )	9 ( 3.5 )	-52 ( -2.4 )
	1～9人	今回	272 ( 100.0 )	13 ( 4.8 )	11 ( 4.0 )	13 ( 4.8 )	9 ( 3.3 )	10 ( 3.7 )	42 ( 15.4 )	223 ( 82.0 )
		前回	289 ( 100.0 )	4 ( 1.4 )	4 ( 1.4 )	8 ( 2.8 )	4 ( 1.4 )	8 ( 2.8 )	37 ( 12.8 )	244 ( 84.4 )
		前々回	142 ( 100.0 )	4 ( 2.8 )	1 ( 0.7 )	3 ( 2.1 )	3 ( 2.1 )	1 ( 0.7 )	21 ( 14.8 )	116 ( 81.7 )
		前回との差	-17 ( 0.0 )	9 ( 3.4 )	7 ( 2.7 )	5 ( 2.0 )	5 ( 1.9 )	2 ( 0.9 )	5 ( 2.6 )	-21 ( -2.4 )
	10～29人	今回	95 ( 100.0 )	4 ( 4.2 )	2 ( 2.1 )	3 ( 3.2 )	2 ( 2.1 )	6 ( 6.3 )	13 ( 13.7 )	78 ( 82.1 )
		前回	129 ( 100.0 )	2 ( 1.6 )	1 ( 0.8 )	4 ( 3.1 )	0 ( 0.0 )	4 ( 3.1 )	16 ( 12.4 )	105 ( 81.4 )
		前々回	205 ( 100.0 )	2 ( 1.0 )	1 ( 0.5 )	4 ( 2.0 )	7 ( 3.4 )	7 ( 3.4 )	45 ( 22.0 )	150 ( 73.2 )
		前回との差	-34 ( 0.0 )	2 ( 2.7 )	1 ( 1.3 )	-1 ( 0.1 )	2 ( 2.1 )	2 ( 3.2 )	-3 ( 1.3 )	-27 ( 0.7 )
	30～49人	今回	30 ( 100.0 )	1 ( 3.3 )	1 ( 3.3 )	2 ( 6.7 )	1 ( 3.3 )	1 ( 3.3 )	8 ( 26.7 )	22 ( 73.3 )
		前回	30 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )	6 ( 20.0 )	22 ( 73.3 )
		前々回	90 ( 100.0 )	4 ( 4.4 )	5 ( 5.6 )	9 ( 10.0 )	4 ( 4.4 )	2 ( 2.2 )	13 ( 14.4 )	67 ( 74.4 )
		前回との差	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )	1 ( 3.3 )	1 ( 3.3 )	1 ( 3.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 6.7 )	0 ( 0.0 )
	50～99人	今回	17 ( 100.0 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	3 ( 17.6 )	14 ( 82.4 )
		前回	18 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.6 )	17 ( 94.4 )
		前々回	82 ( 100.0 )	2 ( 2.4 )	2 ( 2.4 )	4 ( 4.9 )	2 ( 2.4 )	3 ( 3.7 )	10 ( 12.2 )	67 ( 81.7 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	2 ( 12.1 )	-3 ( -12.1 )
	100人以上	今回	17 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 23.5 )	12 ( 70.6 )
		前回	18 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.6 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.6 )	1 ( 5.6 )	15 ( 83.3 )
		前々回	126 ( 100.0 )	1 ( 0.8 )	1 ( 0.8 )	6 ( 4.8 )	4 ( 3.2 )	0 ( 0.0 )	18 ( 14.3 )	105 ( 83.3 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )	-1 ( -5.6 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -5.6 )	3 ( 18.0 )	-3 ( -12.7 )
無回答	今回	7 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	6 ( 85.7 )	
	前回	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 100.0 )	
	前々回	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	
	前回との差	3 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( -14.3 )	

問1「従業員数」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性を見ると、どの従業員数でも“活動を支援”の割合が多い。

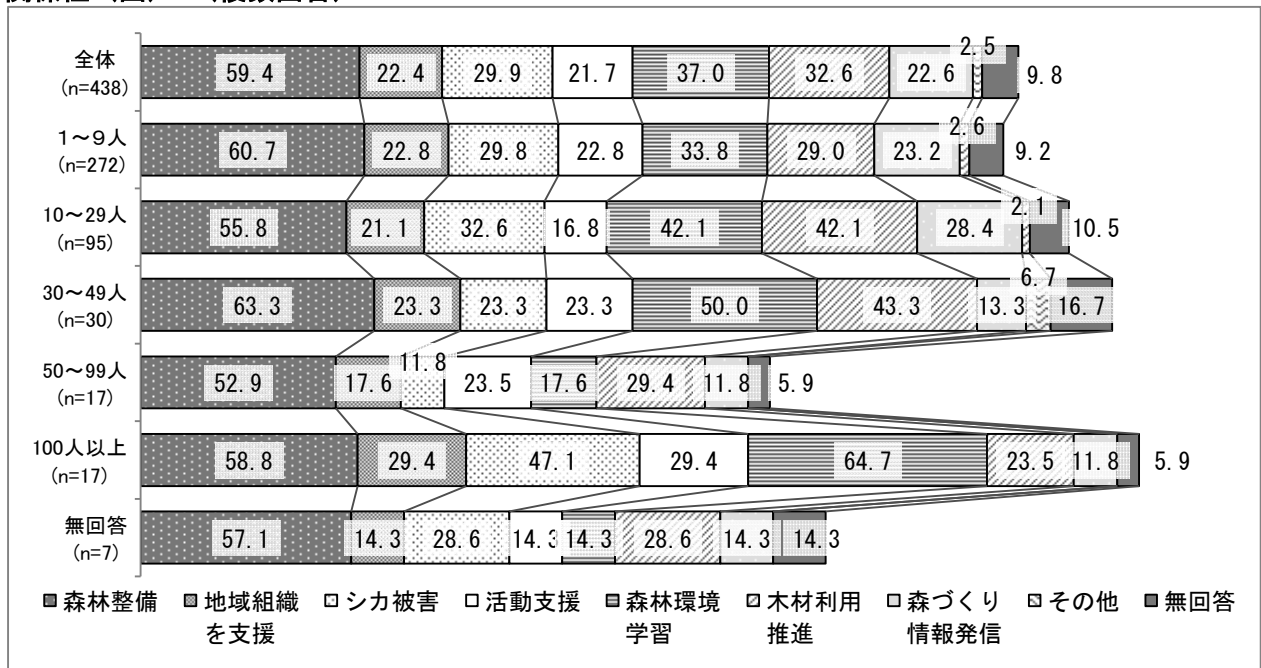
問1「従業者数」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（図）  
（複数回答）



問1「従業者数」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性(表)(複数回答)

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問1 従業者数	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	1～9人	272 ( 100.0 )	165 ( 60.7 )	62 ( 22.8 )	81 ( 29.8 )	62 ( 22.8 )	92 ( 33.8 )	79 ( 29.0 )	63 ( 23.2 )	7 ( 2.6 )	25 ( 9.2 )
	10～29人	95 ( 100.0 )	53 ( 55.8 )	20 ( 21.1 )	31 ( 32.6 )	16 ( 16.8 )	40 ( 42.1 )	40 ( 42.1 )	27 ( 28.4 )	2 ( 2.1 )	10 ( 10.5 )
	30～49人	30 ( 100.0 )	19 ( 63.3 )	7 ( 23.3 )	7 ( 23.3 )	7 ( 23.3 )	15 ( 50.0 )	13 ( 43.3 )	4 ( 13.3 )	2 ( 6.7 )	5 ( 16.7 )
	50～99人	17 ( 100.0 )	9 ( 52.9 )	3 ( 17.6 )	2 ( 11.8 )	4 ( 23.5 )	3 ( 17.6 )	5 ( 29.4 )	2 ( 11.8 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )
	100人以上	17 ( 100.0 )	10 ( 58.8 )	5 ( 29.4 )	8 ( 47.1 )	5 ( 29.4 )	11 ( 64.7 )	4 ( 23.5 )	2 ( 11.8 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.9 )
	無回答	7 ( 100.0 )	4 ( 57.1 )	1 ( 14.3 )	2 ( 28.6 )	1 ( 14.3 )	1 ( 14.3 )	2 ( 28.6 )	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 14.3 )

問1「従業者数」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性(図)(複数回答)



問1「従業者数」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性では、「100人以上」を除く全ての項目で似たような傾向になっており、“森林整備”が多くなっている。「100人以上」では、“森林環境学習”が最も多くなっている。

- 森林整備 = 森林環境の保全を進める間伐などによる森林整備への支援
  - 地域組織を支援 = 地域住民等の組織による里山林の保全や利活用等の取組への支援
  - シカ被害 = シカによる被害から森林環境を守る対策への支援
  - 活動支援 = 森林保全ボランティア団体などの活動への支援
  - 森林環境学習 = 将来を担う子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援
  - 木材利用推進 = 公共的な施設などへの木材利用の推進への支援
  - 森づくり情報発信 = 森づくりへの理解と参加を促す広報や情報発信
- 以下のクロス集計も同様

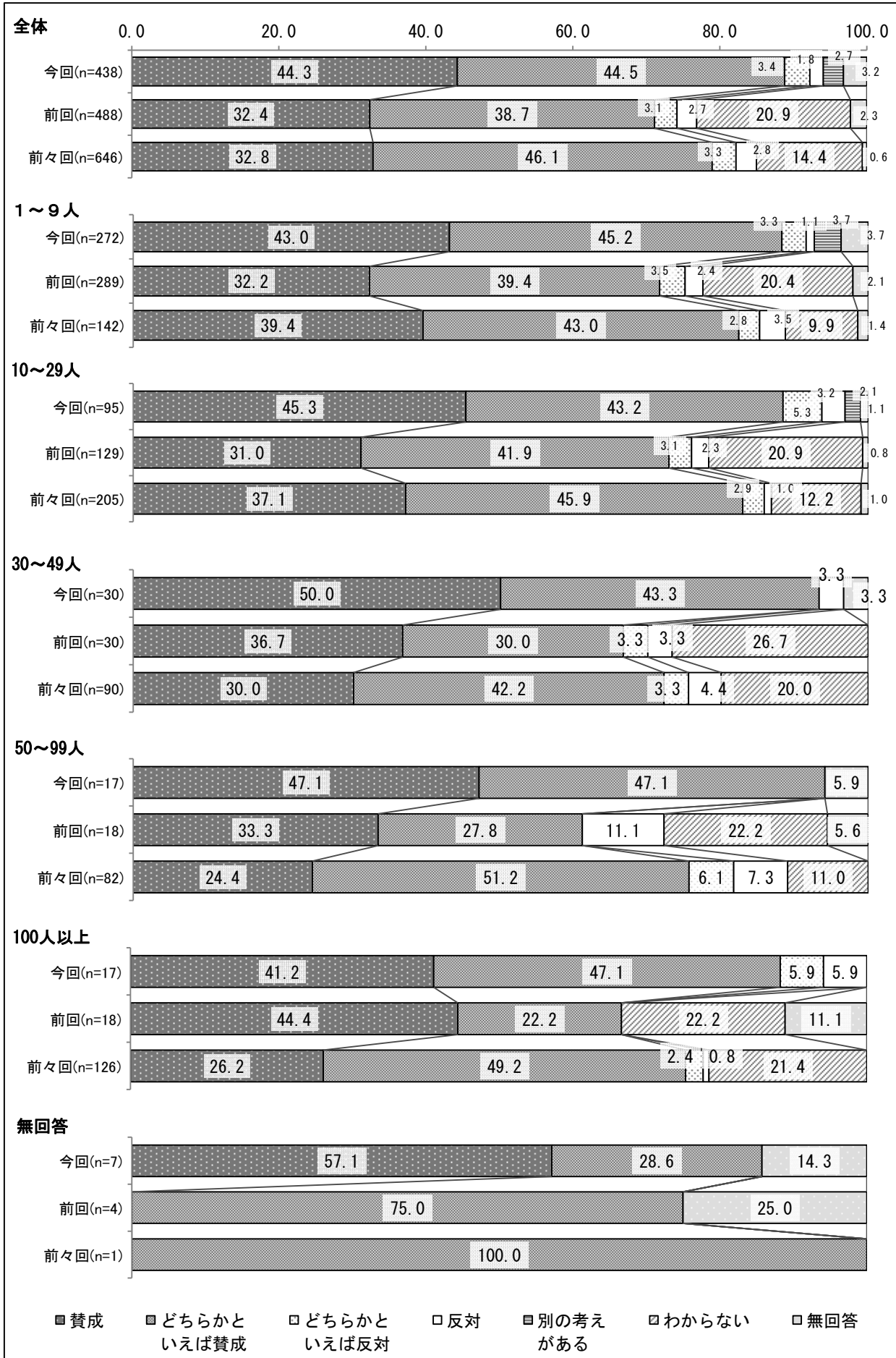
問1「従業者数」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（表）

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否								
		合計	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	別の考 えがある	わからない	無回答	
問1 従業者数	全体	今回	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	— ( — )	14 ( 3.2 )
		前回	488 ( 100.0 )	158 ( 32.4 )	189 ( 38.7 )	15 ( 3.1 )	13 ( 2.7 )	— ( — )	102 ( 20.9 )	11 ( 2.3 )
		前々回	646 ( 100.0 )	212 ( 32.8 )	298 ( 46.1 )	21 ( 3.3 )	18 ( 2.8 )	— ( — )	93 ( 14.4 )	4 ( 0.6 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	36 ( 11.9 )	6 ( 5.8 )	0 ( 0.4 )	-5 ( -0.8 )	— ( — )	— ( — )	3 ( 0.9 )
	1～9人	今回	272 ( 100.0 )	117 ( 43.0 )	123 ( 45.2 )	9 ( 3.3 )	3 ( 1.1 )	10 ( 3.7 )	— ( — )	10 ( 3.7 )
		前回	289 ( 100.0 )	93 ( 32.2 )	114 ( 39.4 )	10 ( 3.5 )	7 ( 2.4 )	— ( — )	59 ( 20.4 )	6 ( 2.1 )
		前々回	142 ( 100.0 )	56 ( 39.4 )	61 ( 43.0 )	4 ( 2.8 )	5 ( 3.5 )	— ( — )	14 ( 9.9 )	2 ( 1.4 )
		前回との差	-17 ( 0.0 )	24 ( 10.8 )	9 ( 5.8 )	-1 ( -0.2 )	-4 ( -1.3 )	— ( — )	— ( — )	4 ( 1.6 )
	10～29人	今回	95 ( 100.0 )	43 ( 45.3 )	41 ( 43.2 )	5 ( 5.3 )	3 ( 3.2 )	2 ( 2.1 )	— ( — )	1 ( 1.1 )
		前回	129 ( 100.0 )	40 ( 31.0 )	54 ( 41.9 )	4 ( 3.1 )	3 ( 2.3 )	— ( — )	27 ( 20.9 )	1 ( 0.8 )
		前々回	205 ( 100.0 )	76 ( 37.1 )	94 ( 45.9 )	6 ( 2.9 )	2 ( 1.0 )	— ( — )	25 ( 12.2 )	2 ( 1.0 )
		前回との差	-34 ( 0.0 )	3 ( 14.3 )	-13 ( 1.3 )	1 ( 2.2 )	0 ( 0.8 )	— ( — )	— ( — )	0 ( 0.3 )
	30～49人	今回	30 ( 100.0 )	15 ( 50.0 )	13 ( 43.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 3.3 )
		前回	30 ( 100.0 )	11 ( 36.7 )	9 ( 30.0 )	1 ( 3.3 )	1 ( 3.3 )	— ( — )	8 ( 26.7 )	0 ( 0.0 )
		前々回	90 ( 100.0 )	27 ( 30.0 )	38 ( 42.2 )	3 ( 3.3 )	4 ( 4.4 )	— ( — )	18 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	0 ( 0.0 )	4 ( 13.3 )	4 ( 13.3 )	-1 ( -3.3 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	1 ( 3.3 )
	50～99人	今回	17 ( 100.0 )	8 ( 47.1 )	8 ( 47.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 5.9 )
		前回	18 ( 100.0 )	6 ( 33.3 )	5 ( 27.8 )	0 ( 0.0 )	2 ( 11.1 )	— ( — )	4 ( 22.2 )	1 ( 5.6 )
		前々回	82 ( 100.0 )	20 ( 24.4 )	42 ( 51.2 )	5 ( 6.1 )	6 ( 7.3 )	— ( — )	9 ( 11.0 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	2 ( 13.7 )	3 ( 19.3 )	0 ( 0.0 )	-2 ( -11.1 )	— ( — )	— ( — )	0 ( 0.3 )
	100人以上	今回	17 ( 100.0 )	7 ( 41.2 )	8 ( 47.1 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	18 ( 100.0 )	8 ( 44.4 )	4 ( 22.2 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	4 ( 22.2 )	2 ( 11.1 )
		前々回	126 ( 100.0 )	33 ( 26.2 )	62 ( 49.2 )	3 ( 2.4 )	1 ( 0.8 )	— ( — )	27 ( 21.4 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	-1 ( -3.3 )	4 ( 24.8 )	1 ( 5.9 )	1 ( 5.9 )	— ( — )	— ( — )	-2 ( -11.1 )
無回答	今回	7 ( 100.0 )	4 ( 57.1 )	2 ( 28.6 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 14.3 )	
	前回	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 75.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	1 ( 25.0 )	
	前々回	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	
	前回との差	3 ( 0.0 )	4 ( 57.1 )	-1 ( -46.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	0 ( -10.7 )	

問1「従業者数」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性では、どの従業者数でも“賛成”と“どちらかといえば賛成”の割合が目立つ。

「1～9人」「10～29人」「30人～49人」、「50～99人」では、“賛成”が前回より割合が高くなっている。

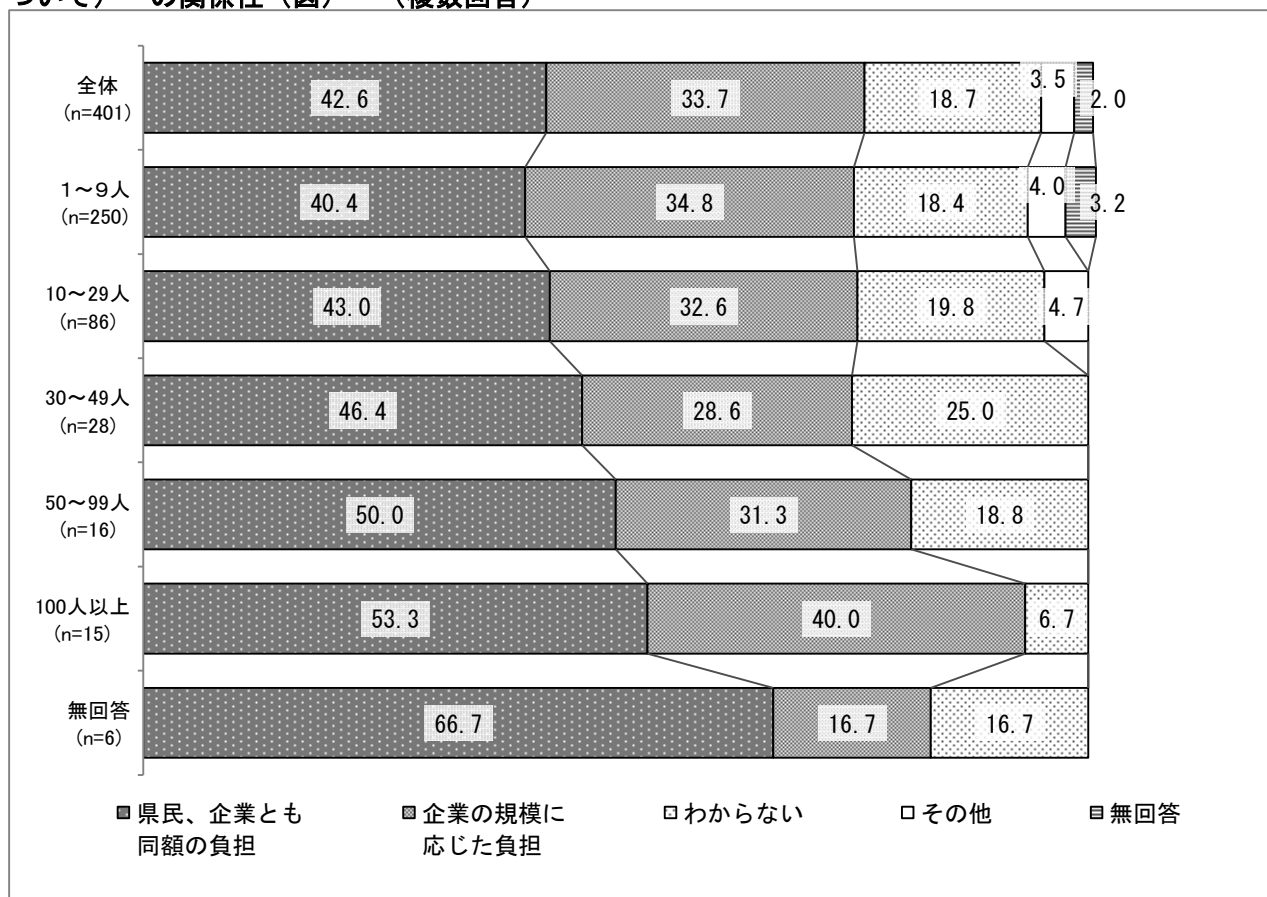
問1「従業者数」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性(図)



問1「従業者数」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（表）（複数回答）

		問10 森林環境税（企業の負担額について）					
		合計	県民、企業とも同額の負担	企業の規模に応じた負担	わからない	その他	無回答
問1 従業者数	全体	401 ( 100.0 )	171 ( 42.6 )	135 ( 33.7 )	75 ( 18.7 )	14 ( 3.5 )	8 ( 2.0 )
	1～9人	250 ( 100.0 )	101 ( 40.4 )	87 ( 34.8 )	46 ( 18.4 )	10 ( 4.0 )	8 ( 3.2 )
	10～29人	86 ( 100.0 )	37 ( 43.0 )	28 ( 32.6 )	17 ( 19.8 )	4 ( 4.7 )	0 ( 0.0 )
	30～49人	28 ( 100.0 )	13 ( 46.4 )	8 ( 28.6 )	7 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	50～99人	16 ( 100.0 )	8 ( 50.0 )	5 ( 31.3 )	3 ( 18.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	100人以上	15 ( 100.0 )	8 ( 53.3 )	6 ( 40.0 )	1 ( 6.7 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	無回答	6 ( 100.0 )	4 ( 66.7 )	1 ( 16.7 )	1 ( 16.7 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )

問1「従業者数」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（図）（複数回答）



問1「従業者数」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性を見ると、どの従業者数でも“県民、企業とも同額の負担”が最も多くなっている。

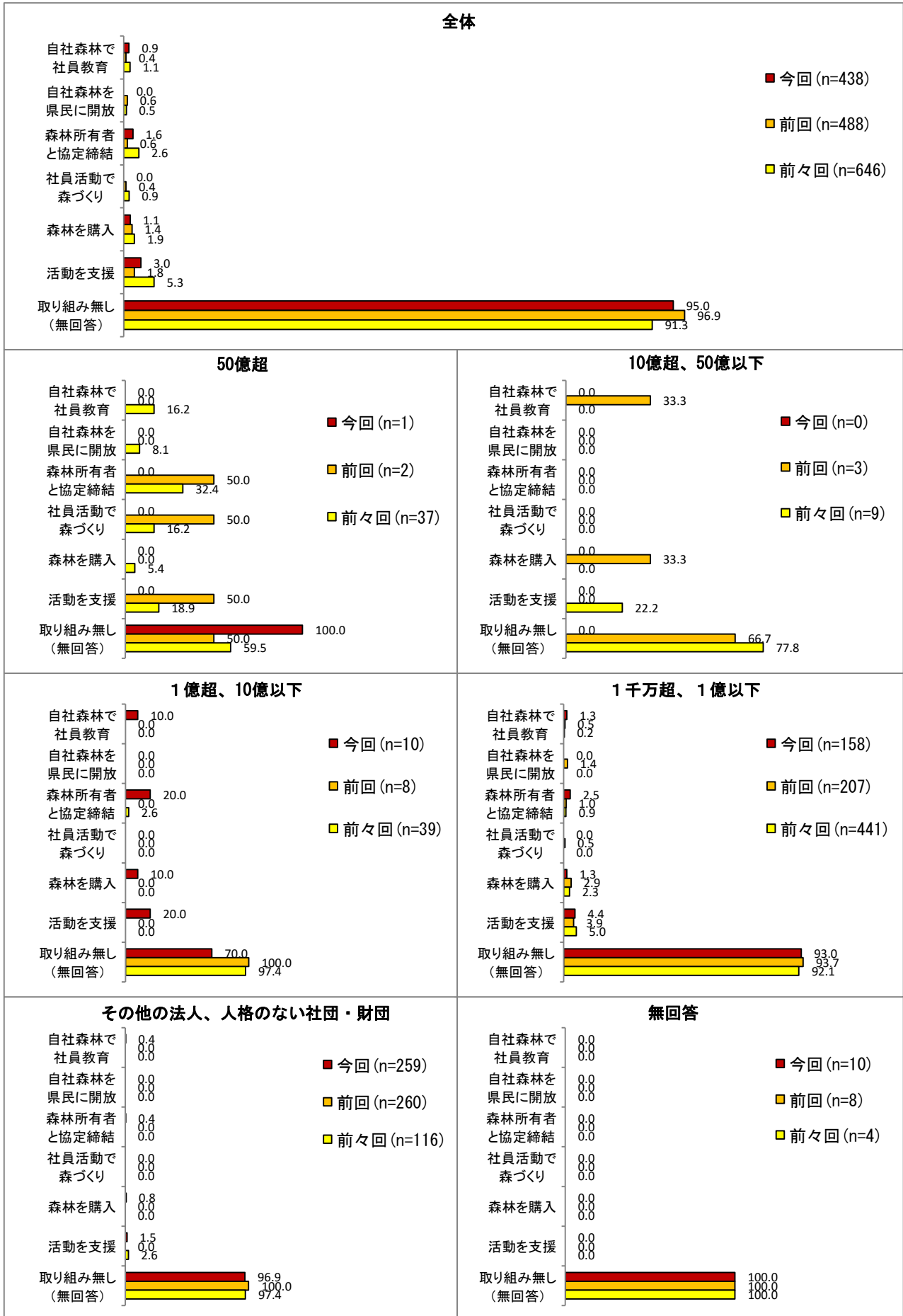
## 問2「資本金等」を軸にしたクロス集計

問2「資本金等」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（表）（複数回答）

		問6 環境保全活動（現在取り組み中のもの）								
		合計	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）	
問2 資本金等	全体	今回	438 ( 100.0 )	4 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	7 ( 1.6 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.1 )	13 ( 3.0 )	416 ( 95.0 )
		前回	488 ( 100.0 )	2 ( 0.4 )	3 ( 0.6 )	3 ( 0.6 )	2 ( 0.4 )	7 ( 1.4 )	9 ( 1.8 )	473 ( 96.9 )
		前々回	646 ( 100.0 )	7 ( 1.1 )	3 ( 0.5 )	17 ( 2.6 )	6 ( 0.9 )	12 ( 1.9 )	34 ( 5.3 )	590 ( 91.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	2 ( 0.5 )	-3 ( -0.6 )	4 ( 1.0 )	-2 ( -0.4 )	-2 ( -0.3 )	4 ( 1.1 )	-57 ( -1.9 )
	50億超	今回	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )
		前回	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 50.0 )	1 ( 50.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 50.0 )	1 ( 50.0 )
		前々回	37 ( 100.0 )	6 ( 16.2 )	3 ( 8.1 )	12 ( 32.4 )	6 ( 16.2 )	2 ( 5.4 )	7 ( 18.9 )	22 ( 59.5 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -50.0 )	-1 ( -50.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -50.0 )	0 ( 50.0 )
	10億超、50億以下	今回	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
		前回	3 ( 100.0 )	1 ( 33.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 33.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 66.7 )
		前々回	9 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 22.2 )	7 ( 77.8 )
		前回との差	-3 ( — )	-1 ( -33.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -33.3 )	0 ( 0.0 )	-2 ( -66.7 )
	1億超、10億以下	今回	10 ( 100.0 )	1 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	2 ( 20.0 )	7 ( 70.0 )
		前回	8 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	8 ( 100.0 )
		前々回	39 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.6 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	38 ( 97.4 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	2 ( 20.0 )	-1 ( -30.0 )
	1千万超、1億以下	今回	158 ( 100.0 )	2 ( 1.3 )	0 ( 0.0 )	4 ( 2.5 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.3 )	7 ( 4.4 )	147 ( 93.0 )
		前回	207 ( 100.0 )	1 ( 0.5 )	3 ( 1.4 )	2 ( 1.0 )	1 ( 0.5 )	6 ( 2.9 )	8 ( 3.9 )	194 ( 93.7 )
		前々回	441 ( 100.0 )	1 ( 0.2 )	0 ( 0.0 )	4 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	10 ( 2.3 )	22 ( 5.0 )	406 ( 92.1 )
		前回との差	-49 ( 0.0 )	1 ( 0.8 )	-3 ( -1.4 )	2 ( 1.6 )	-1 ( -0.5 )	-4 ( -1.6 )	-1 ( 0.6 )	-47 ( -0.7 )
	その他の法人、社団、財団	今回	259 ( 100.0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.8 )	4 ( 1.5 )	251 ( 96.9 )
		前回	260 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	260 ( 100.0 )
		前々回	116 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 2.6 )	113 ( 97.4 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.8 )	4 ( 1.5 )	-9 ( -3.1 )
	無回答	今回	10 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	10 ( 100.0 )
		前回	8 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	8 ( 100.0 )
		前々回	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 100.0 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.0 )

問2「資本金等」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性は、回答数が少ないため一概に増減したとは言いきれない。

問2「資本金等」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（図）（複数回答）

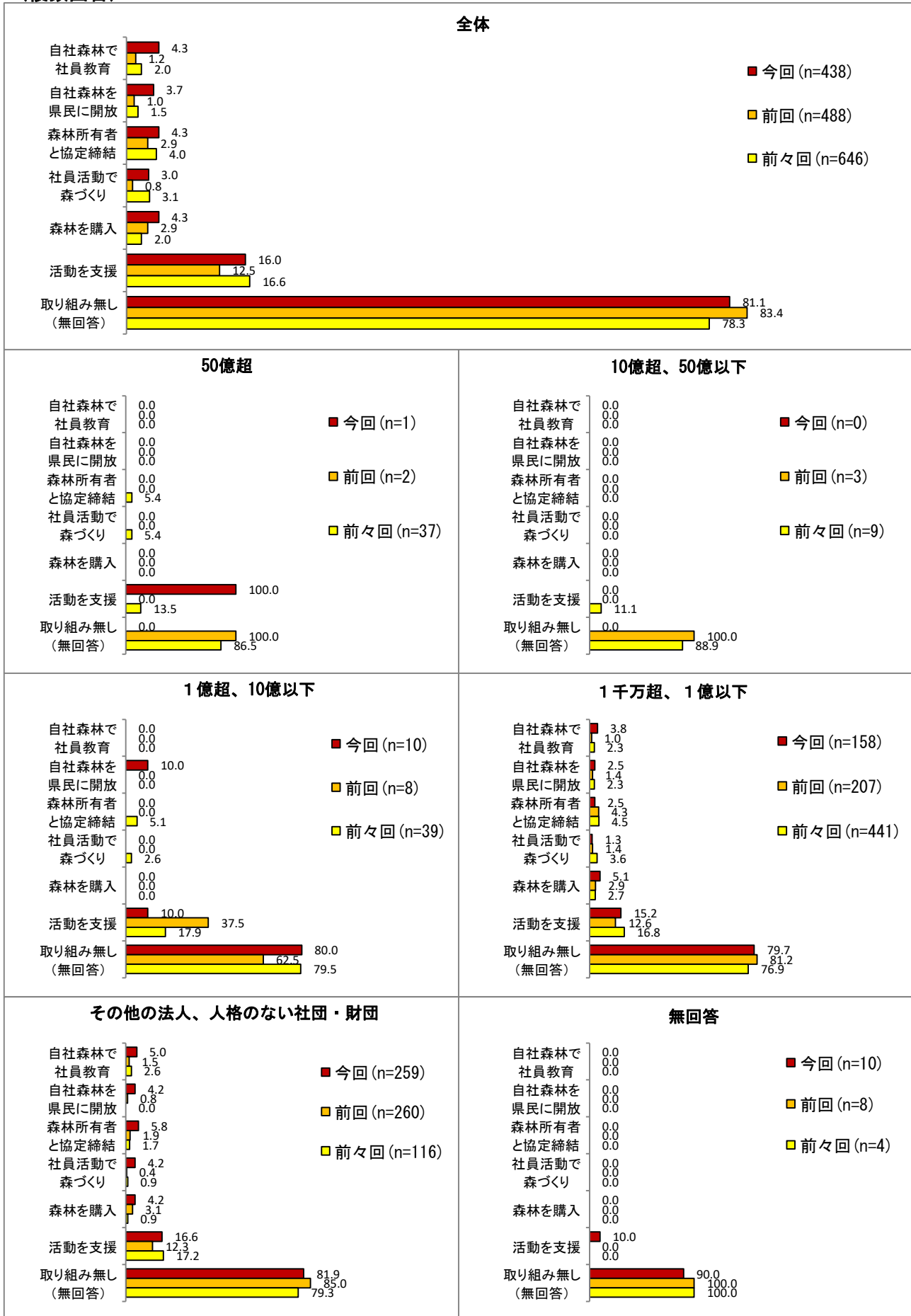


問2「資本金等」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（表）  
（複数回答）

		問6 環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）								
		合計	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）	
問2 資本金等	全体	今回	438 ( 100.0 )	19 ( 4.3 )	16 ( 3.7 )	19 ( 4.3 )	13 ( 3.0 )	19 ( 4.3 )	70 ( 16.0 )	355 ( 81.1 )
		前回	488 ( 100.0 )	6 ( 1.2 )	5 ( 1.0 )	14 ( 2.9 )	4 ( 0.8 )	14 ( 2.9 )	61 ( 12.5 )	407 ( 83.4 )
		前々回	646 ( 100.0 )	13 ( 2.0 )	10 ( 1.5 )	26 ( 4.0 )	20 ( 3.1 )	13 ( 2.0 )	107 ( 16.6 )	506 ( 78.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	13 ( 3.1 )	11 ( 2.6 )	5 ( 1.5 )	9 ( 2.1 )	5 ( 1.5 )	9 ( 3.5 )	-52 ( -2.4 )
	50億超	今回	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )
		前回	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 100.0 )
		前々回	37 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 5.4 )	2 ( 5.4 )	0 ( 0.0 )	5 ( 13.5 )	32 ( 86.5 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	-2 ( -100.0 )
	10億超、50億以下	今回	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
		前回	3 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 100.0 )
		前々回	9 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 11.1 )	8 ( 88.9 )
		前回との差	-3 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-3 ( -100.0 )
	1億超、10億以下	今回	10 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	8 ( 80.0 )
		前回	8 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 37.5 )	5 ( 62.5 )
		前々回	39 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 5.1 )	1 ( 2.6 )	0 ( 0.0 )	7 ( 17.9 )	31 ( 79.5 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-2 ( -27.5 )	3 ( 17.5 )
	1千万超、1億以下	今回	158 ( 100.0 )	6 ( 3.8 )	4 ( 2.5 )	4 ( 2.5 )	2 ( 1.3 )	8 ( 5.1 )	24 ( 15.2 )	126 ( 79.7 )
		前回	207 ( 100.0 )	2 ( 1.0 )	3 ( 1.4 )	9 ( 4.3 )	3 ( 1.4 )	6 ( 2.9 )	26 ( 12.6 )	168 ( 81.2 )
		前々回	441 ( 100.0 )	10 ( 2.3 )	10 ( 2.3 )	20 ( 4.5 )	16 ( 3.6 )	12 ( 2.7 )	74 ( 16.8 )	339 ( 76.9 )
		前回との差	-49 ( 0.0 )	4 ( 2.8 )	1 ( 1.1 )	-5 ( -1.8 )	-1 ( -0.2 )	2 ( 2.2 )	-2 ( 2.6 )	-42 ( -1.4 )
	その他の法人・財団	今回	259 ( 100.0 )	13 ( 5.0 )	11 ( 4.2 )	15 ( 5.8 )	11 ( 4.2 )	11 ( 4.2 )	43 ( 16.6 )	212 ( 81.9 )
		前回	260 ( 100.0 )	4 ( 1.5 )	2 ( 0.8 )	5 ( 1.9 )	1 ( 0.4 )	8 ( 3.1 )	32 ( 12.3 )	221 ( 85.0 )
		前々回	116 ( 100.0 )	3 ( 2.6 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.7 )	1 ( 0.9 )	1 ( 0.9 )	20 ( 17.2 )	92 ( 79.3 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	9 ( 3.5 )	9 ( 3.5 )	10 ( 3.9 )	10 ( 3.9 )	3 ( 1.2 )	11 ( 4.3 )	-9 ( -3.1 )
	無回答	今回	10 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	9 ( 90.0 )
		前回	8 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	8 ( 100.0 )
		前々回	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 100.0 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	1 ( -10.0 )

問2「資本金等」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性では、前回同様、全ての資本金等で“活動を支援”が高い割合となっている。

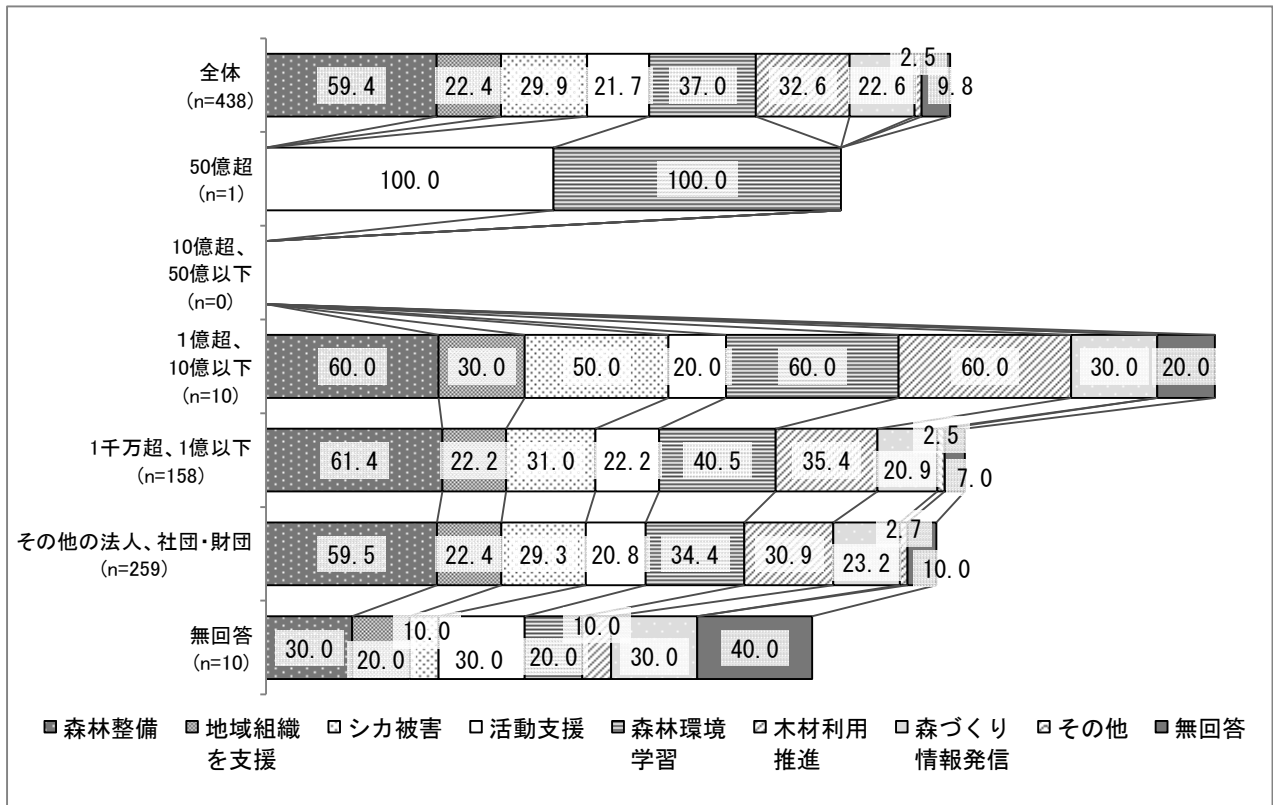
問2「資本金等」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（図）  
（複数回答）



問2「資本金等」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性（表）（複数回答）

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問2 資本金等	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	50億超	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	10億超、50億以下	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	1億超、10億以下	10 ( 100.0 )	6 ( 60.0 )	3 ( 30.0 )	5 ( 50.0 )	2 ( 20.0 )	6 ( 60.0 )	6 ( 60.0 )	3 ( 30.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 20.0 )
	1千万超、1億以下	158 ( 100.0 )	97 ( 61.4 )	35 ( 22.2 )	49 ( 31.0 )	35 ( 22.2 )	64 ( 40.5 )	56 ( 35.4 )	33 ( 20.9 )	4 ( 2.5 )	11 ( 7.0 )
	その他の法人、社団・財団	259 ( 100.0 )	154 ( 59.5 )	58 ( 22.4 )	76 ( 29.3 )	54 ( 20.8 )	89 ( 34.4 )	80 ( 30.9 )	60 ( 23.2 )	7 ( 2.7 )	26 ( 10.0 )
	無回答	10 ( 100.0 )	3 ( 30.0 )	2 ( 20.0 )	1 ( 10.0 )	3 ( 30.0 )	2 ( 20.0 )	1 ( 10.0 )	3 ( 30.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 40.0 )

問2「資本金等」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性（図）（複数回答）



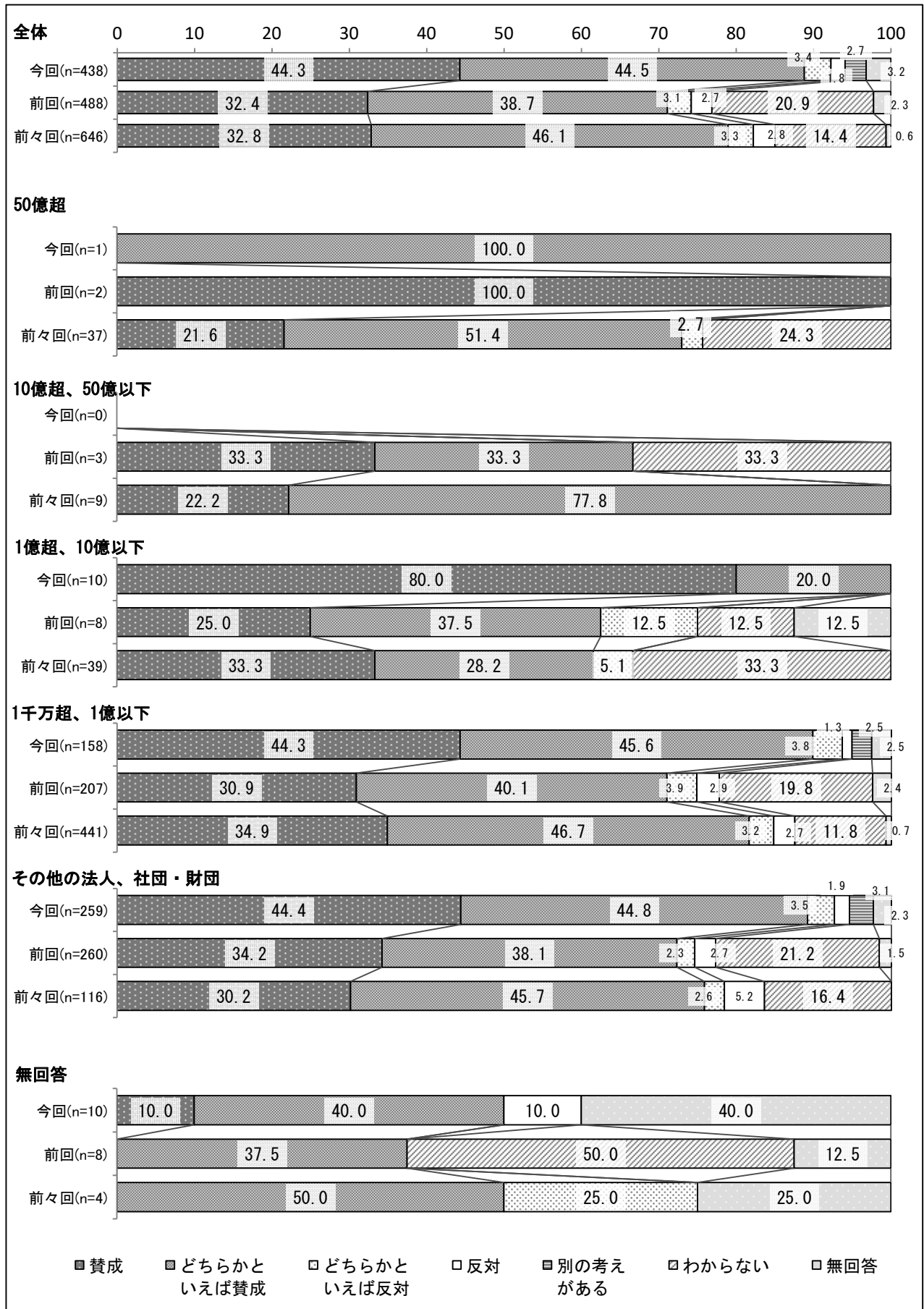
問2「資本金等」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性では、全体を見ても“森林整備”の割合が高い。「50億超」、「1億超、10億以下」では回答数が同じ割合となっているところがあるが、回答数が少ないため高い結果となっている。「10億超、50億以下」は回答なしとなっている。

問2「資本金等」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（表）

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否								
		合計	賛成	どちらかといえは賛成	どちらかといえは反対	反対	別の考えがある	わからない	無回答	
問2 資本金等	全体	今回	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	— ( — )	14 ( 3.2 )
		前回	488 ( 100.0 )	158 ( 32.4 )	189 ( 38.7 )	15 ( 3.1 )	13 ( 2.7 )	— ( — )	102 ( 20.9 )	11 ( 2.3 )
		前々回	646 ( 100.0 )	212 ( 32.8 )	298 ( 46.1 )	21 ( 3.3 )	18 ( 2.8 )	— ( — )	93 ( 14.4 )	4 ( 0.6 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	36 ( 11.9 )	6 ( 5.8 )	0 ( 0.4 )	-5 ( -0.8 )	— ( — )	— ( — )	3 ( 0.9 )
	50億超	今回	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	2 ( 100.0 )	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
		前々回	37 ( 100.0 )	8 ( 21.6 )	19 ( 51.4 )	1 ( 2.7 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	9 ( 24.3 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	-2 ( -100.0 )	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	0 ( 0.0 )
	10億超、50億以下	今回	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	3 ( 100.0 )	1 ( 33.3 )	1 ( 33.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 33.3 )	0 ( 0.0 )
		前々回	9 ( 100.0 )	2 ( 22.2 )	7 ( 77.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-3 ( — )	-1 ( -33.3 )	-1 ( -33.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	0 ( 0.0 )
	1億超、10億以下	今回	10 ( 100.0 )	8 ( 80.0 )	2 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	8 ( 100.0 )	2 ( 25.0 )	3 ( 37.5 )	1 ( 12.5 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 12.5 )	1 ( 12.5 )
		前々回	39 ( 100.0 )	13 ( 33.3 )	11 ( 28.2 )	2 ( 5.1 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	13 ( 33.3 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	6 ( 55.0 )	-1 ( -17.5 )	-1 ( -12.5 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	-1 ( -12.5 )
	1千万超、1億以下	今回	158 ( 100.0 )	70 ( 44.3 )	72 ( 45.6 )	6 ( 3.8 )	2 ( 1.3 )	4 ( 2.5 )	— ( — )	4 ( 2.5 )
		前回	207 ( 100.0 )	64 ( 30.9 )	83 ( 40.1 )	8 ( 3.9 )	6 ( 2.9 )	— ( — )	41 ( 19.8 )	5 ( 2.4 )
		前々回	441 ( 100.0 )	154 ( 34.9 )	206 ( 46.7 )	14 ( 3.2 )	12 ( 2.7 )	— ( — )	52 ( 11.8 )	3 ( 0.7 )
		前回との差	-49 ( 0.0 )	6 ( 13.4 )	-11 ( 5.5 )	-2 ( -0.1 )	-4 ( -1.6 )	— ( — )	— ( — )	-1 ( 0.1 )
その他の法人・社団・財団	今回	259 ( 100.0 )	115 ( 44.4 )	116 ( 44.8 )	9 ( 3.5 )	5 ( 1.9 )	8 ( 3.1 )	— ( — )	6 ( 2.3 )	
	前回	260 ( 100.0 )	89 ( 34.2 )	99 ( 38.1 )	6 ( 2.3 )	7 ( 2.7 )	— ( — )	55 ( 21.2 )	4 ( 1.5 )	
	前々回	116 ( 100.0 )	35 ( 30.2 )	53 ( 45.7 )	3 ( 2.6 )	6 ( 5.2 )	— ( — )	19 ( 16.4 )	0 ( 0.0 )	
	前回との差	-1 ( 0.0 )	26 ( 10.2 )	17 ( 6.7 )	3 ( 1.2 )	-2 ( -0.8 )	— ( — )	— ( — )	2 ( 0.8 )	
無回答	今回	10 ( 100.0 )	1 ( 10.0 )	4 ( 40.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	4 ( 40.0 )	
	前回	8 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 37.5 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	4 ( 50.0 )	1 ( 12.5 )	
	前々回	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 50.0 )	1 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	1 ( 25.0 )	
	前回との差	2 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	1 ( 2.5 )	0 ( 0.0 )	1 ( 10.0 )	— ( — )	— ( — )	3 ( 27.5 )	

問2「資本金等」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性では、前回と比べると、“賛成”が「1億超、10億以下」、「1千万超、1億以下」、「その他の法人、社団・財団」で増加している。

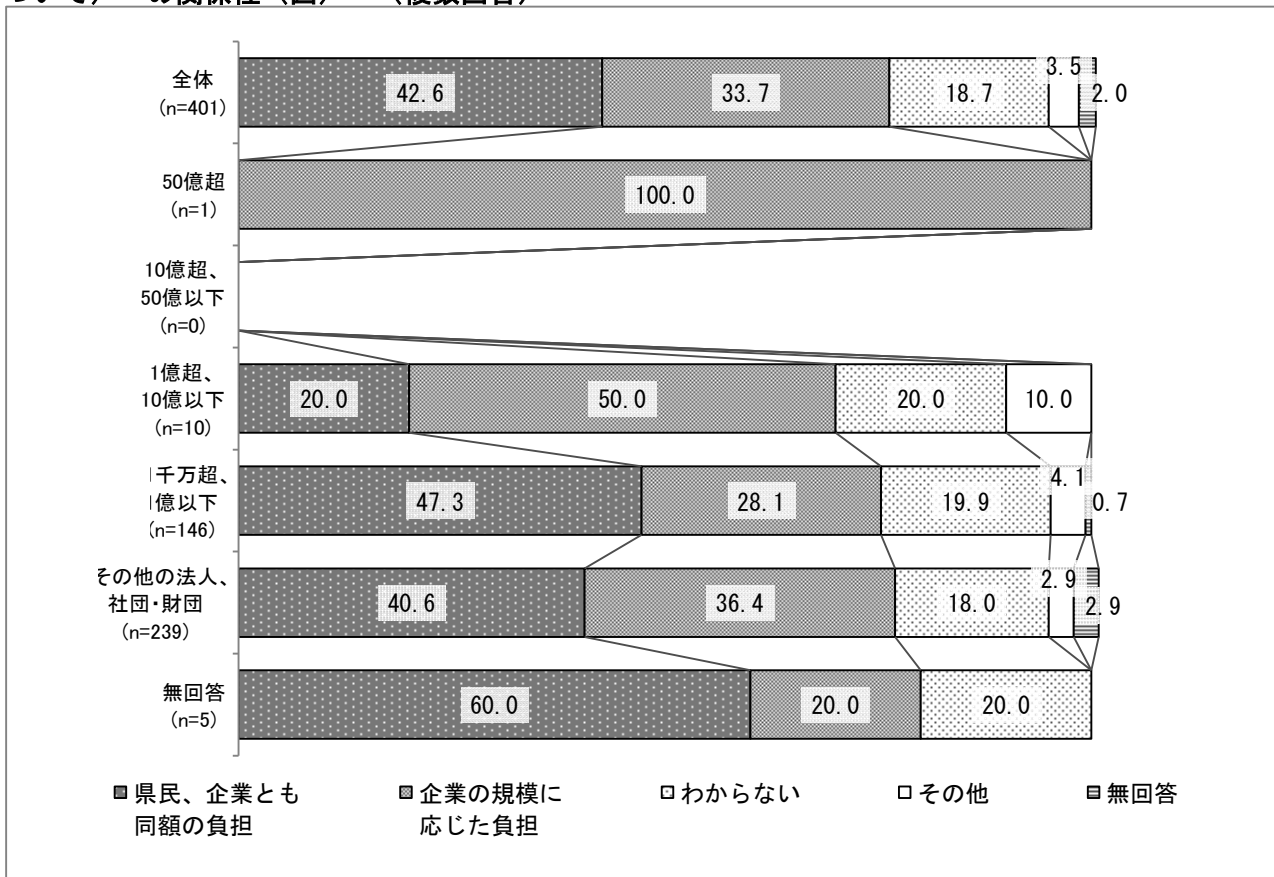
問2「資本金等」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（図）



問2「資本金等」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（表）（複数回答）

		問10 森林環境税（企業の負担額について）					
		合計	県民、企業とも同額の負担	企業の規模に応じた負担	わからない	その他	無回答
問2 資本金等	全体	401 ( 100.0 )	171 ( 42.6 )	135 ( 33.7 )	75 ( 18.7 )	14 ( 3.5 )	8 ( 2.0 )
	50億超	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	10億超、50億以下	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	1億超、10億以下	10 ( 100.0 )	2 ( 20.0 )	5 ( 50.0 )	2 ( 20.0 )	1 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )
	1千万超、1億以下	146 ( 100.0 )	69 ( 47.3 )	41 ( 28.1 )	29 ( 19.9 )	6 ( 4.1 )	1 ( 0.7 )
	その他の法人、社団・財団	239 ( 100.0 )	97 ( 40.6 )	87 ( 36.4 )	43 ( 18.0 )	7 ( 2.9 )	7 ( 2.9 )
	無回答	5 ( 100.0 )	3 ( 60.0 )	1 ( 20.0 )	1 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )

問2「資本金等」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（図）（複数回答）



問2「資本金等」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性では、「1千万超、1億以下」、「その他の法人、社団・財団」で、“県民、企業とも同額の負担”が高い割合になっている。

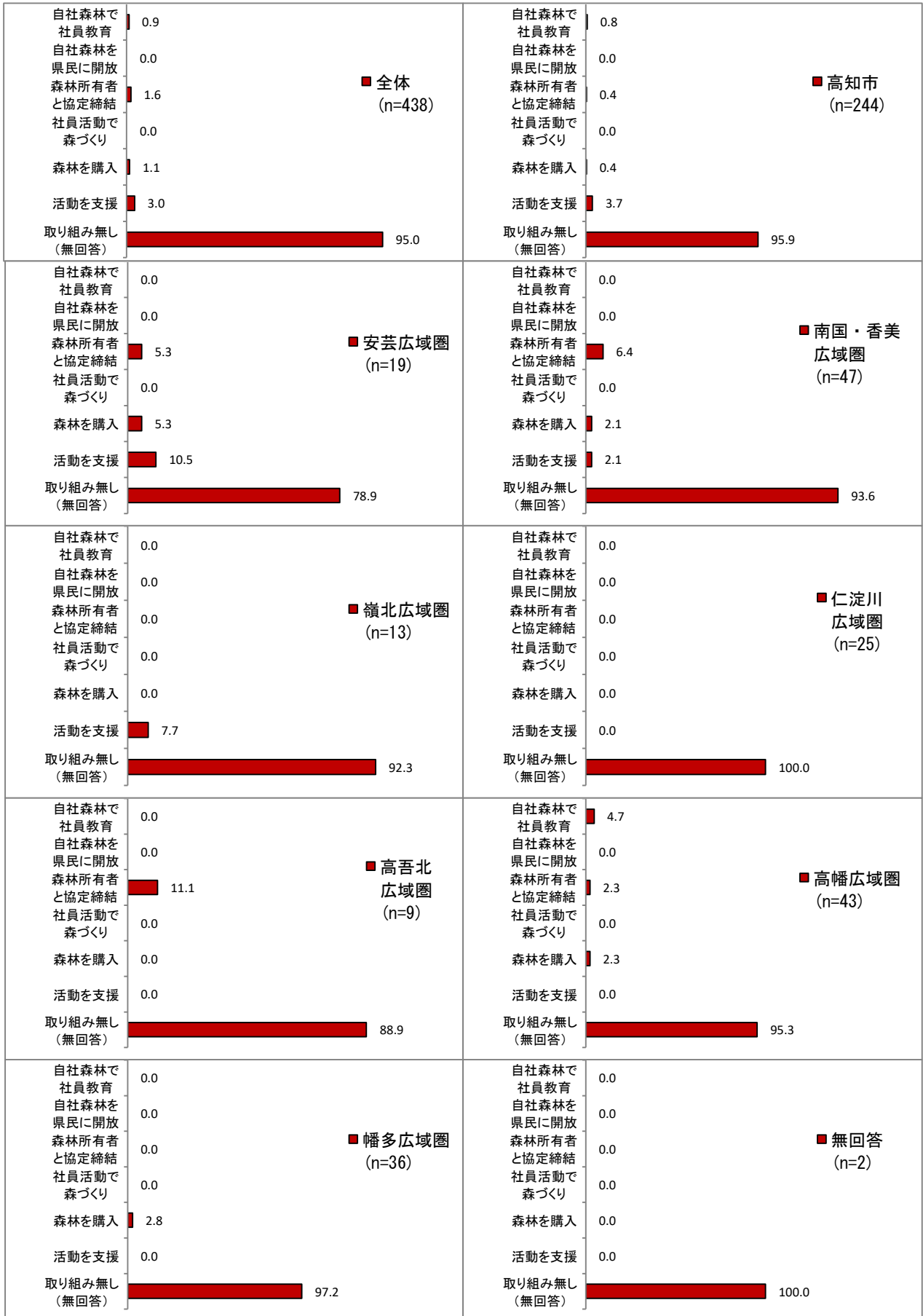
### 問3「広域市町村圏別」を軸にしたクロス集計

問3「広域市町村圏別」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（表）  
（複数回答）

		問6 環境保全活動（現在取り組み中のもの）							
		対象件数	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）
問3 広域市町村圏別	全体	438 ( 100.0 )	4 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	7 ( 1.6 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.1 )	13 ( 3.0 )	416 ( 95.0 )
	高知市	244 ( 100.0 )	2 ( 0.8 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.4 )	9 ( 3.7 )	234 ( 95.9 )
	安芸広域圏	19 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.3 )	2 ( 10.5 )	15 ( 78.9 )
	南国・香美広域圏	47 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 6.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.1 )	1 ( 2.1 )	44 ( 93.6 )
	嶺北広域圏	13 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 7.7 )	12 ( 92.3 )
	仁淀川広域圏	25 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	25 ( 100.0 )
	高吾北広域圏	9 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 11.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	8 ( 88.9 )
	高幡広域圏	43 ( 100.0 )	2 ( 4.7 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.3 )	0 ( 0.0 )	41 ( 95.3 )
	幡多広域圏	36 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.8 )	0 ( 0.0 )	35 ( 97.2 )
	無回答	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 100.0 )

問3「広域市町村圏別」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性を見ると、回答数が少ないため、特に多く目立った活動というものはないように思われる。

問3「広域市町村圏別」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（図）  
（複数回答）

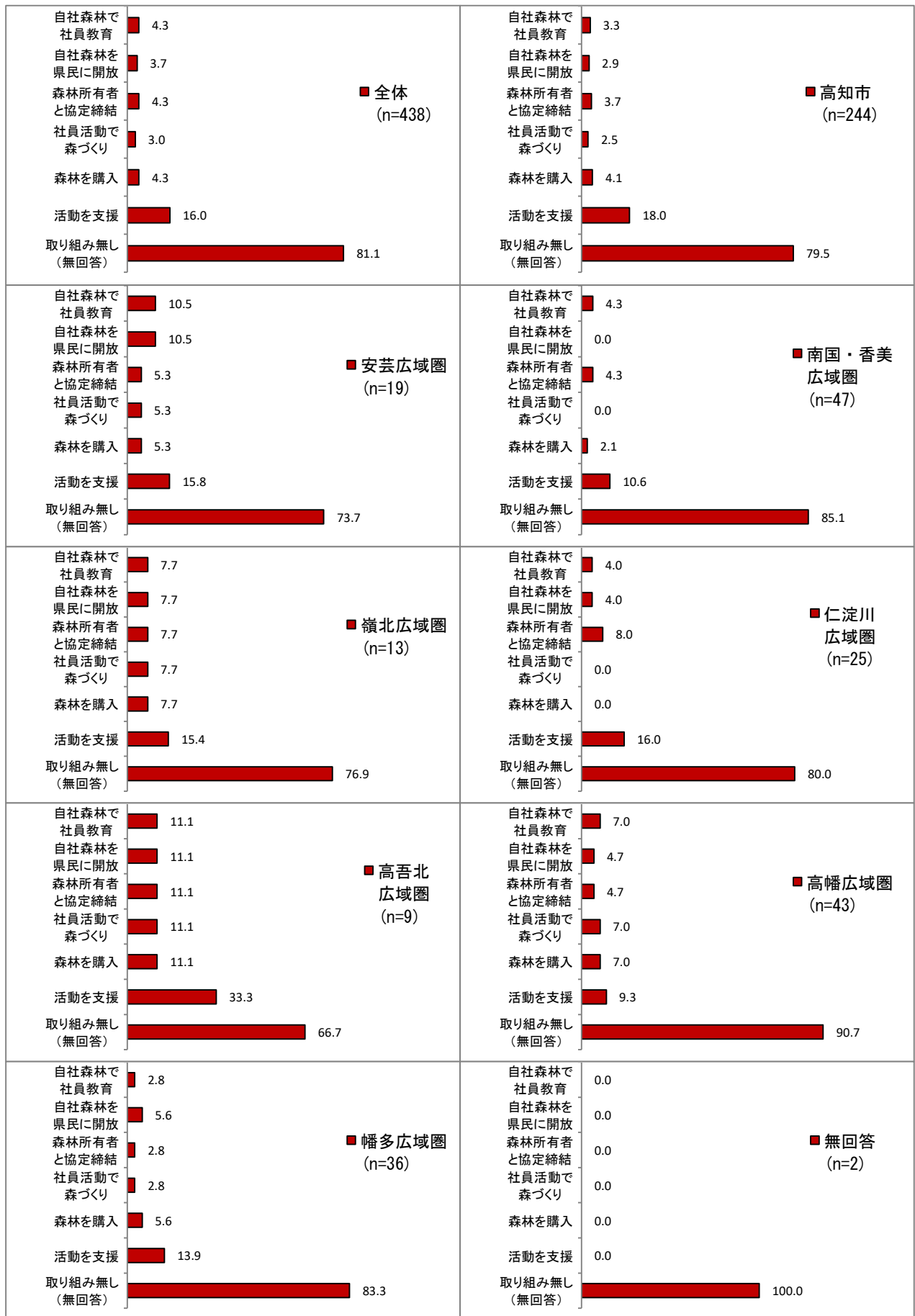


問3「広域市町村圏別」と問6“環境保全活動（今後新たに組みたいもの）”の関係性（表）  
（複数回答）

		問6 環境保全活動（今後新たに組みたいもの）							
		対象件数	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）
問3 広域市町村圏別	全体	438 ( 100.0 )	19 ( 4.3 )	16 ( 3.7 )	19 ( 4.3 )	13 ( 3.0 )	19 ( 4.3 )	70 ( 16.0 )	355 ( 81.1 )
	高知市	244 ( 100.0 )	8 ( 3.3 )	7 ( 2.9 )	9 ( 3.7 )	6 ( 2.5 )	10 ( 4.1 )	44 ( 18.0 )	194 ( 79.5 )
	安芸広域圏	19 ( 100.0 )	2 ( 10.5 )	2 ( 10.5 )	1 ( 5.3 )	1 ( 5.3 )	1 ( 5.3 )	3 ( 15.8 )	14 ( 73.7 )
	南国・香美広域圏	47 ( 100.0 )	2 ( 4.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 4.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.1 )	5 ( 10.6 )	40 ( 85.1 )
	嶺北広域圏	13 ( 100.0 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	2 ( 15.4 )	10 ( 76.9 )
	仁淀川広域圏	25 ( 100.0 )	1 ( 4.0 )	1 ( 4.0 )	2 ( 8.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 16.0 )	20 ( 80.0 )
	高吾北広域圏	9 ( 100.0 )	1 ( 11.1 )	1 ( 11.1 )	1 ( 11.1 )	1 ( 11.1 )	1 ( 11.1 )	3 ( 33.3 )	6 ( 66.7 )
	高幡広域圏	43 ( 100.0 )	3 ( 7.0 )	2 ( 4.7 )	2 ( 4.7 )	3 ( 7.0 )	3 ( 7.0 )	4 ( 9.3 )	39 ( 90.7 )
	幡多広域圏	36 ( 100.0 )	1 ( 2.8 )	2 ( 5.6 )	1 ( 2.8 )	1 ( 2.8 )	2 ( 5.6 )	5 ( 13.9 )	30 ( 83.3 )
	無回答	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 100.0 )

問3「広域市町村圏別」と問6“環境保全活動（今後新たに組みたいもの）”の関係性では、全ての圏域で“活動を支援”の割合が高い。「高知市」、「安芸広域圏」、「嶺北広域圏」、「高吾北広域圏」、「高幡広域圏」、「幡多広域圏」は各活動全てに回答があった。

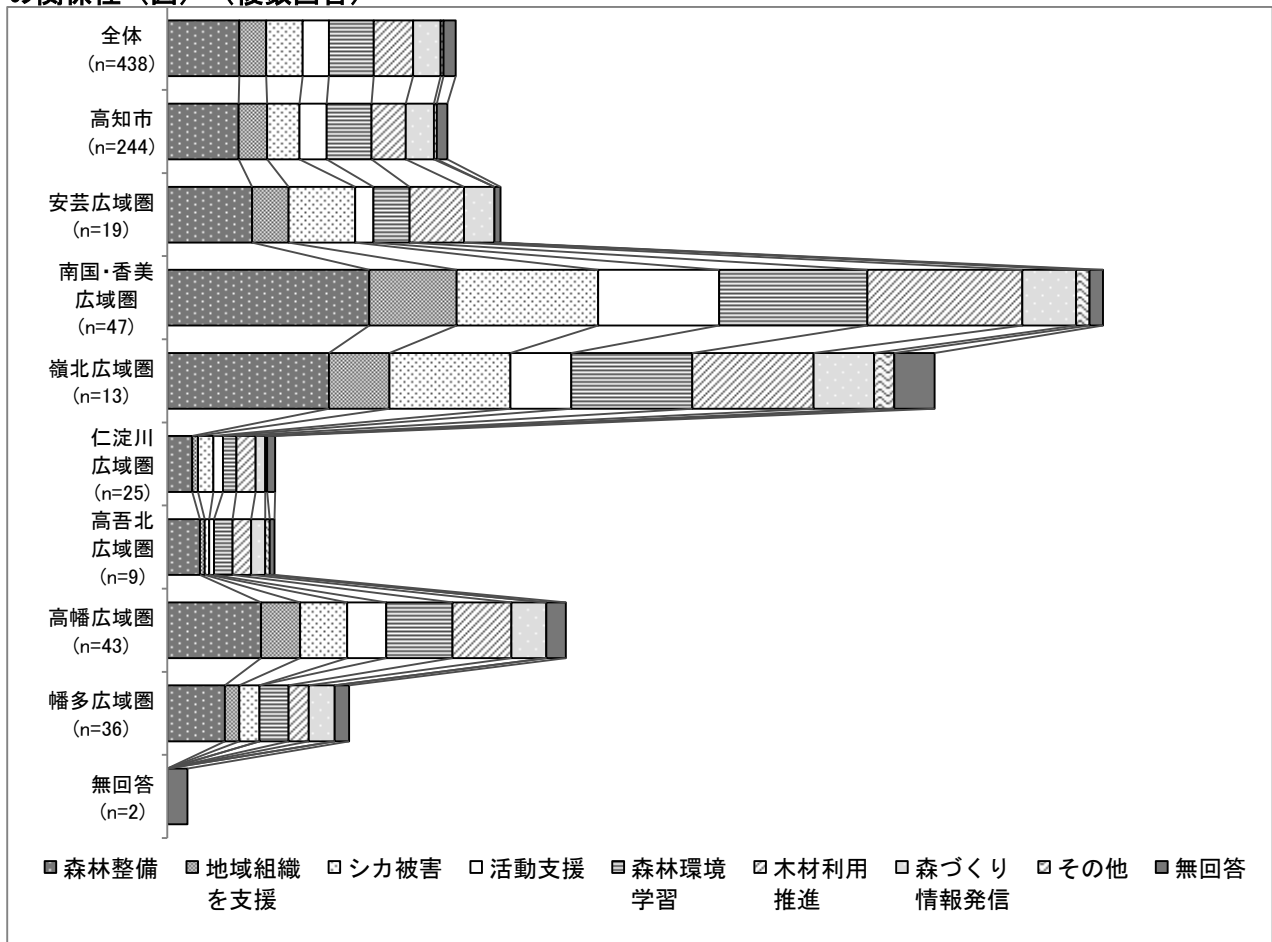
問3「広域市町村圏別」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（表）  
（複数回答）



問3「広域市町村圏別」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性(表)(複数回答)

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問3 広域市町村圏別	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	高知市	244 ( 100.0 )	144 ( 59.0 )	57 ( 23.4 )	65 ( 26.6 )	55 ( 22.5 )	90 ( 36.9 )	69 ( 28.3 )	57 ( 23.4 )	6 ( 2.5 )	21 ( 8.6 )
	安芸広域圏	19 ( 100.0 )	14 ( 70.0 )	6 ( 30.0 )	11 ( 55.0 )	3 ( 15.0 )	6 ( 30.0 )	9 ( 45.0 )	5 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.0 )
	南国・香美広域圏	47 ( 100.0 )	30 ( 166.7 )	13 ( 72.2 )	21 ( 116.7 )	18 ( 100.0 )	22 ( 122.2 )	23 ( 127.8 )	8 ( 44.4 )	2 ( 11.1 )	2 ( 11.1 )
	嶺北広域圏	13 ( 100.0 )	8 ( 133.3 )	3 ( 50.0 )	6 ( 100.0 )	3 ( 50.0 )	6 ( 100.0 )	6 ( 100.0 )	3 ( 50.0 )	1 ( 16.7 )	2 ( 33.3 )
	仁淀川広域圏	25 ( 100.0 )	13 ( 20.6 )	3 ( 4.8 )	8 ( 12.7 )	5 ( 7.9 )	7 ( 11.1 )	10 ( 15.9 )	5 ( 7.9 )	1 ( 1.6 )	4 ( 6.3 )
	高吾北広域圏	9 ( 100.0 )	7 ( 26.9 )	1 ( 3.8 )	1 ( 3.8 )	1 ( 3.8 )	4 ( 15.4 )	4 ( 15.4 )	3 ( 11.5 )	1 ( 3.8 )	1 ( 3.8 )
	高幡広域圏	43 ( 100.0 )	24 ( 77.4 )	10 ( 32.3 )	12 ( 38.7 )	10 ( 32.3 )	17 ( 54.8 )	15 ( 48.4 )	9 ( 29.0 )	0 ( 0.0 )	5 ( 16.1 )
	幡多広域圏	36 ( 100.0 )	20 ( 47.6 )	5 ( 11.9 )	7 ( 16.7 )	0 ( 0.0 )	10 ( 23.8 )	7 ( 16.7 )	9 ( 21.4 )	0 ( 0.0 )	5 ( 11.9 )
	無回答	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 16.7 )

問3「広域市町村圏別」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性(図)(複数回答)

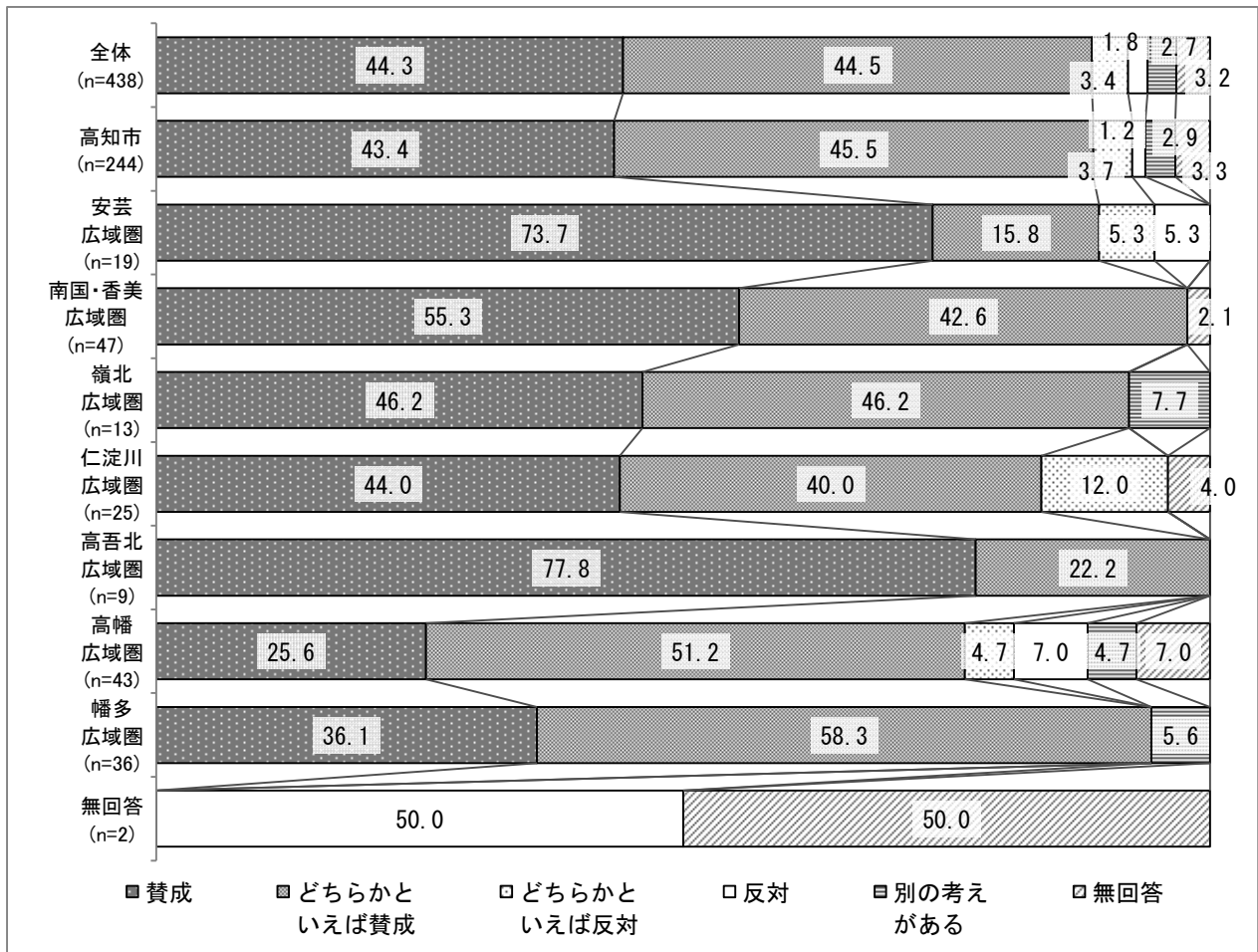


問3「広域市町村圏別」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性では、全ての圏域で“森林整備”が高い割合となっている。

問3「広域市町村圏別」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（表）

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否						
		合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	別の考えがある	無回答
問3 広域市町村圏別	全体	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	14 ( 3.2 )
	高知市	244 ( 100.0 )	106 ( 43.4 )	111 ( 45.5 )	9 ( 3.7 )	3 ( 1.2 )	7 ( 2.9 )	8 ( 3.3 )
	安芸 広域圏	19 ( 100.0 )	14 ( 73.7 )	3 ( 15.8 )	1 ( 5.3 )	1 ( 5.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	南国・香美 広域圏	47 ( 100.0 )	26 ( 55.3 )	20 ( 42.6 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.1 )
	嶺北 広域圏	13 ( 100.0 )	6 ( 46.2 )	6 ( 46.2 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 7.7 )	0 ( 0.0 )
	仁淀川 広域圏	25 ( 100.0 )	11 ( 44.0 )	10 ( 40.0 )	3 ( 12.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 4.0 )
	高吾北 広域圏	9 ( 100.0 )	7 ( 77.8 )	2 ( 22.2 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	高幡 広域圏	43 ( 100.0 )	11 ( 25.6 )	22 ( 51.2 )	2 ( 4.7 )	3 ( 7.0 )	2 ( 4.7 )	3 ( 7.0 )
	幡多 広域圏	36 ( 100.0 )	13 ( 36.1 )	21 ( 58.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 5.6 )	0 ( 0.0 )
	無回答	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 50.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 50.0 )

問3「広域市町村圏別」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（図）

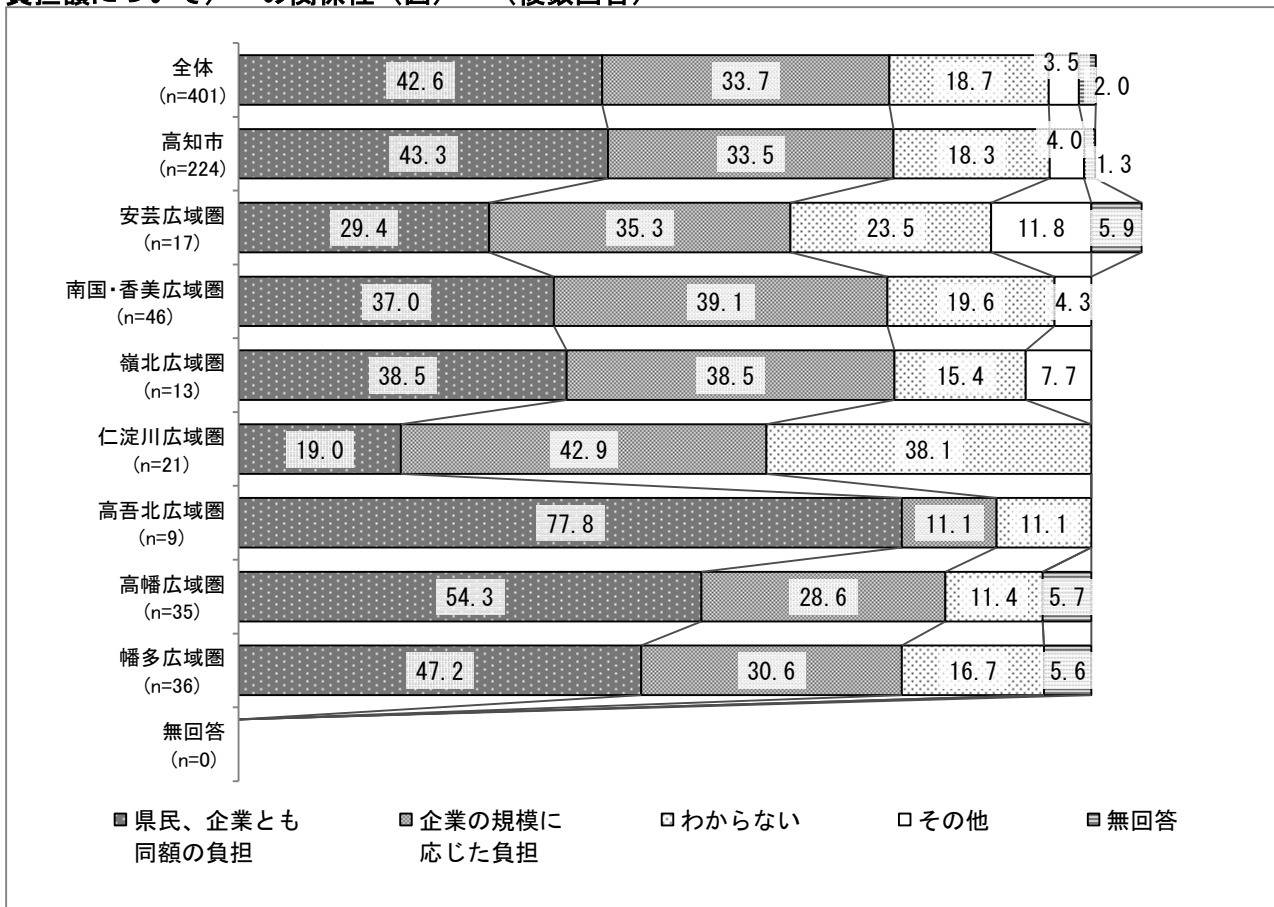


問3「広域市町村圏別」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性では、“賛成” “どちらかといえば賛成”が高い割合を占める。

問3「広域市町村圏別」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（表）（複数回答）

		問10 森林環境税（企業の負担額について）					
		合計	県民、企業とも同額の負担	企業の規模に応じた負担	わからない	その他	無回答
問3 広域市町村圏別	全体	401 ( 100.0 )	171 ( 42.6 )	135 ( 33.7 )	75 ( 18.7 )	14 ( 3.5 )	8 ( 2.0 )
	高知市	224 ( 100.0 )	97 ( 43.3 )	75 ( 33.5 )	41 ( 18.3 )	9 ( 4.0 )	3 ( 1.3 )
	安芸広域圏	17 ( 100.0 )	5 ( 29.4 )	6 ( 35.3 )	4 ( 23.5 )	2 ( 11.8 )	1 ( 5.9 )
	南国・香美広域圏	46 ( 100.0 )	17 ( 37.0 )	18 ( 39.1 )	9 ( 19.6 )	2 ( 4.3 )	0 ( 0.0 )
	嶺北広域圏	13 ( 100.0 )	5 ( 38.5 )	5 ( 38.5 )	2 ( 15.4 )	1 ( 7.7 )	0 ( 0.0 )
	仁淀川広域圏	21 ( 100.0 )	4 ( 19.0 )	9 ( 42.9 )	8 ( 38.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	高吾北広域圏	9 ( 100.0 )	7 ( 77.8 )	1 ( 11.1 )	1 ( 11.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	高幡広域圏	35 ( 100.0 )	19 ( 54.3 )	10 ( 28.6 )	4 ( 11.4 )	0 ( 0.0 )	2 ( 5.7 )
	幡多広域圏	36 ( 100.0 )	17 ( 47.2 )	11 ( 30.6 )	6 ( 16.7 )	0 ( 0.0 )	2 ( 5.6 )
	無回答	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )

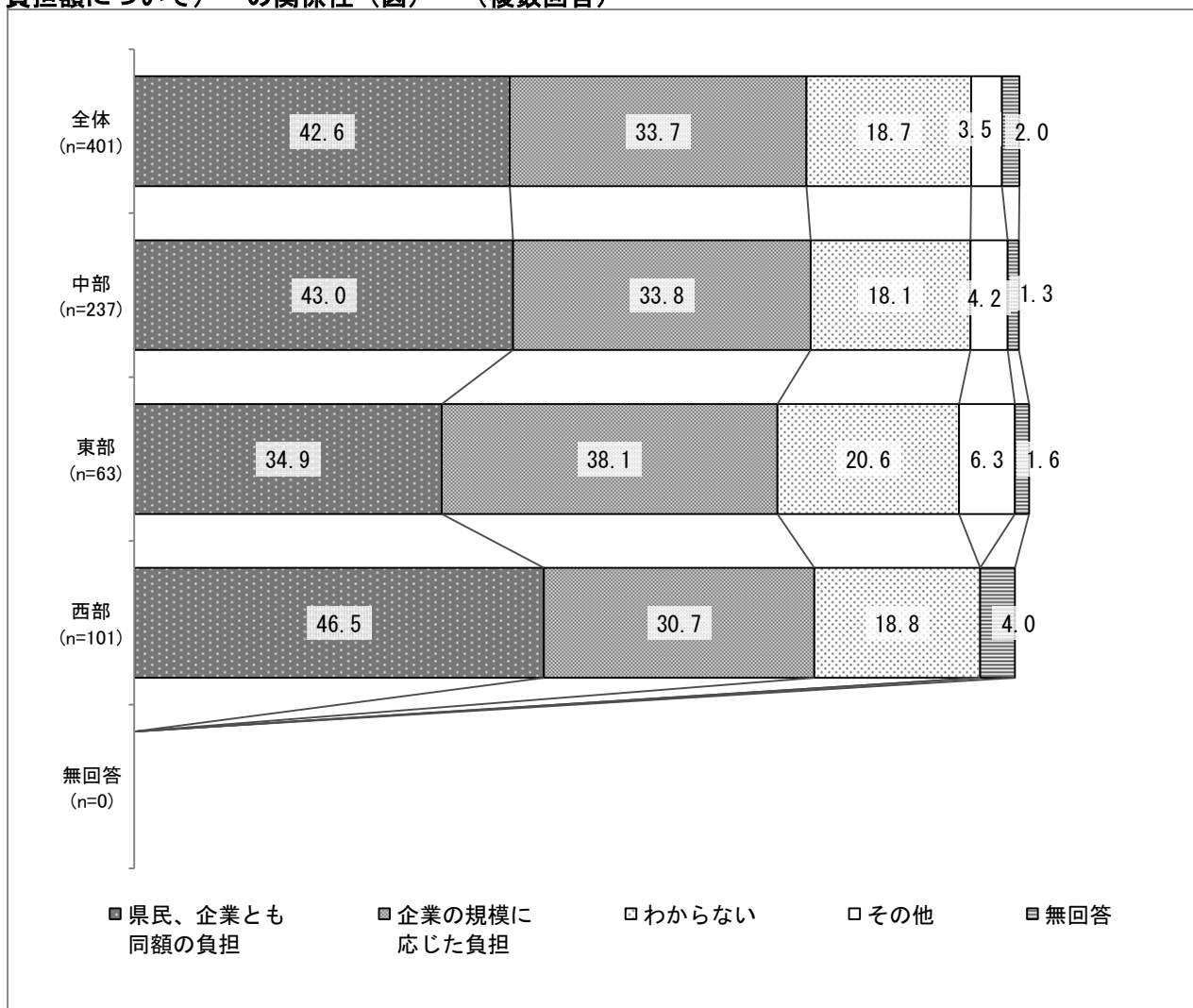
問3「広域市町村圏別」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（図）（複数回答）



問3「広域市町村圏別」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性では、「高吾北広域圏」の“企業の規模に応じた負担”が77.8%と突出しているが、これは回答数が少ないためである。全てにおいて“県民、企業とも同額の負担”“企業の規模に応じた負担”の割合が多い。「高知市」、「高幡広域圏」、「幡多広域圏」では、“県民、企業とも同額の負担”が多少高い。

【参考】

問3「高知県3地域区分」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（図）（複数回答）



中部・・・高知市、嶺北広域圏

東部・・・安芸広域圏、南国・香美広域圏

西部・・・仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏

【参考】問3「高知県3地域区分」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性を見ると、中部、西部では“県民、企業とも同額の負担”の割合が高いが、東部では“企業の規模に応じた負担”の割合が高くなっている。

問4「業種」を軸にしたクロス集計

問4「業種」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（表）（複数回答）

		問6 環境保全活動（現在取り組み中のもの）								
		対象件数	自社森林で 社員教育	自社森林を 県民に開放	森林所有者 と協定締結	社員活動で 森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し （無回答）	
問4 業種	全体	今回	438 ( 100.0 )	4 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	7 ( 1.6 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.1 )	13 ( 3.0 )	416 ( 95.0 )
		前回	488 ( 100.0 )	2 ( 0.4 )	3 ( 0.6 )	3 ( 0.6 )	2 ( 0.4 )	7 ( 1.4 )	9 ( 1.8 )	473 ( 96.9 )
		前々回	646 ( 100.0 )	7 ( 1.1 )	3 ( 0.5 )	17 ( 2.6 )	6 ( 0.9 )	12 ( 1.9 )	34 ( 5.3 )	590 ( 91.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	2 ( 0.5 )	-3 ( -0.6 )	4 ( 1.0 )	-2 ( -0.4 )	-2 ( -0.3 )	4 ( 1.1 )	-57 ( -1.9 )
		建設業	今回	80 ( 100.0 )	1 ( 1.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.5 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.3 )	5 ( 6.3 )
	前回	111 ( 100.0 )	1 ( 0.9 )	2 ( 1.8 )	1 ( 0.9 )	1 ( 0.9 )	2 ( 1.8 )	6 ( 5.4 )	104 ( 93.7 )	
	前々回	103 ( 100.0 )	1 ( 1.0 )	1 ( 1.0 )	4 ( 3.9 )	2 ( 1.9 )	2 ( 1.9 )	9 ( 8.7 )	90 ( 87.4 )	
	前回との差	-31 ( 0.0 )	0 ( 0.3 )	-2 ( -1.8 )	1 ( 1.6 )	-1 ( -0.9 )	-1 ( -0.6 )	-1 ( 0.8 )	-30 ( -1.2 )	
	製造業	今回	42 ( 100.0 )	1 ( 2.4 )	0 ( 0.0 )	2 ( 4.8 )	0 ( 0.0 )	3 ( 7.1 )	2 ( 4.8 )	38 ( 90.5 )
	前回	56 ( 100.0 )	1 ( 1.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 5.4 )	1 ( 1.8 )	52 ( 92.9 )	
	前々回	107 ( 100.0 )	1 ( 0.9 )	1 ( 0.9 )	3 ( 2.8 )	2 ( 1.9 )	2 ( 1.9 )	3 ( 2.8 )	100 ( 93.5 )	
	前回との差	-14 ( 0.0 )	0 ( 0.6 )	0 ( 0.0 )	2 ( 4.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 1.8 )	1 ( 3.0 )	-14 ( -2.4 )	
	電気 ガス 水道業	今回	11 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	11 ( 100.0 )
	前回	12 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	12 ( 100.0 )	
	前々回	7 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	5 ( 71.4 )	
	前回との差	-1 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( 0.0 )	
	運輸 通信業	今回	15 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	15 ( 100.0 )
	前回	13 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	13 ( 100.0 )	
	前々回	20 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 10.0 )	18 ( 90.0 )	
	前回との差	2 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.0 )	
卸売 小売 飲食業	今回	53 ( 100.0 )	1 ( 1.9 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.9 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 3.8 )	49 ( 92.5 )	
前回	82 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.2 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.2 )	81 ( 98.8 )		
前々回	130 ( 100.0 )	1 ( 0.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.5 )	6 ( 4.6 )	122 ( 93.8 )		
前回との差	-29 ( 0.0 )	1 ( 1.9 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.7 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.6 )	-32 ( -6.3 )		
保険 金融 不動産業	今回	31 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	31 ( 100.0 )	
前回	38 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.6 )	1 ( 2.6 )	1 ( 2.6 )	1 ( 2.6 )	1 ( 2.6 )	36 ( 94.7 )		
前々回	28 ( 100.0 )	4 ( 14.3 )	1 ( 3.6 )	6 ( 21.4 )	2 ( 7.1 )	1 ( 3.6 )	5 ( 17.9 )	19 ( 67.9 )		
前回との差	-7 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -2.6 )	-1 ( -2.6 )	-1 ( -2.6 )	-1 ( -2.6 )	-1 ( -2.6 )	-5 ( 5.3 )		
サービス業	今回	73 ( 100.0 )	1 ( 1.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.7 )	69 ( 94.5 )	
前回	76 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	76 ( 100.0 )		
前々回	99 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.0 )	2 ( 2.0 )	95 ( 96.0 )		
前回との差	-3 ( 0.0 )	1 ( 1.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.7 )	-7 ( -5.5 )		
その他の業種	今回	135 ( 100.0 )	2 ( 1.5 )	0 ( 0.0 )	4 ( 3.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 2.2 )	4 ( 3.0 )	128 ( 94.8 )	
前回	94 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.1 )	0 ( 0.0 )	93 ( 98.9 )		
前々回	132 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 2.3 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.5 )	7 ( 5.3 )	121 ( 91.7 )		
前回との差	41 ( 0.0 )	2 ( 1.5 )	0 ( 0.0 )	4 ( 3.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.2 )	4 ( 3.0 )	35 ( -4.1 )		
無回答	今回	11 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 9.1 )	10 ( 90.9 )	
前回	6 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	6 ( 100.0 )		
前々回	20 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	20 ( 100.0 )		
前回との差	5 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 9.1 )	4 ( -9.1 )		

問4「業種」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性では、「建設業」で“活動を支援”が多少高くなっているが、他の業種では微妙な差があるが特に目立って多い活動はない。「製造業」で“森林を購入が”高くなっているが、これは回答数が少ないためである。



問4「業種」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（表）（複数回答）

		問6 環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）								
		対象件数	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）	
問4 業種	全体	今回	438 ( 100.0 )	19 ( 4.3 )	16 ( 3.7 )	19 ( 4.3 )	13 ( 3.0 )	19 ( 4.3 )	70 ( 16.0 )	355 ( 81.1 )
		前回	488 ( 100.0 )	6 ( 1.2 )	5 ( 1.0 )	14 ( 2.9 )	4 ( 0.8 )	14 ( 2.9 )	61 ( 12.5 )	407 ( 83.4 )
		前々回	646 ( 100.0 )	13 ( 2.0 )	10 ( 1.5 )	26 ( 4.0 )	20 ( 3.1 )	13 ( 2.0 )	107 ( 16.6 )	506 ( 78.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	13 ( 3.1 )	11 ( 2.6 )	5 ( 1.5 )	9 ( 2.1 )	5 ( 1.5 )	9 ( 3.5 )	-52 ( -2.4 )
	建設業	今回	80 ( 100.0 )	5 ( 6.3 )	5 ( 6.3 )	4 ( 5.0 )	3 ( 3.8 )	5 ( 6.3 )	18 ( 22.5 )	59 ( 73.8 )
		前回	111 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.9 )	1 ( 0.9 )	2 ( 1.8 )	17 ( 15.3 )	92 ( 82.9 )
		前々回	103 ( 100.0 )	2 ( 1.9 )	2 ( 1.9 )	7 ( 6.8 )	3 ( 2.9 )	3 ( 2.9 )	22 ( 21.4 )	71 ( 68.9 )
		前回との差	-31 ( 0.0 )	5 ( 6.3 )	5 ( 6.3 )	3 ( 4.1 )	2 ( 2.8 )	3 ( 4.4 )	1 ( 7.2 )	-33 ( -9.1 )
	製造業	今回	42 ( 100.0 )	1 ( 2.4 )	1 ( 2.4 )	1 ( 2.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.4 )	5 ( 11.9 )	34 ( 81.0 )
		前回	56 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.8 )	3 ( 5.4 )	0 ( 0.0 )	2 ( 3.6 )	8 ( 14.3 )	45 ( 80.4 )
		前々回	107 ( 100.0 )	2 ( 1.9 )	2 ( 1.9 )	3 ( 2.8 )	4 ( 3.7 )	4 ( 3.7 )	13 ( 12.1 )	91 ( 85.0 )
		前回との差	-14 ( 0.0 )	1 ( 2.4 )	0 ( 0.6 )	-2 ( -3.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -1.2 )	-3 ( -2.4 )	-11 ( 0.6 )
	電気ガス水道業	今回	11 ( 100.0 )	1 ( 9.1 )	2 ( 18.2 )	2 ( 18.2 )	1 ( 9.1 )	1 ( 9.1 )	2 ( 18.2 )	8 ( 72.7 )
		前回	12 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 8.3 )	11 ( 91.7 )
		前々回	7 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 28.6 )	5 ( 71.4 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	1 ( 9.1 )	2 ( 18.2 )	2 ( 18.2 )	1 ( 9.1 )	1 ( 9.1 )	1 ( 9.8 )	-3 ( -18.9 )
	運輸通信業	今回	15 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 20.0 )	12 ( 80.0 )
		前回	13 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	1 ( 7.7 )	11 ( 84.6 )
		前々回	20 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.0 )	1 ( 5.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.0 )	19 ( 95.0 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -7.7 )	-1 ( -7.7 )	-1 ( -7.7 )	2 ( 12.3 )	1 ( -4.6 )
卸売小売飲食業	今回	53 ( 100.0 )	3 ( 5.7 )	1 ( 1.9 )	4 ( 7.5 )	1 ( 1.9 )	2 ( 3.8 )	6 ( 11.3 )	44 ( 83.0 )	
	前回	82 ( 100.0 )	1 ( 1.2 )	0 ( 0.0 )	3 ( 3.7 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.2 )	7 ( 8.5 )	72 ( 87.8 )	
	前々回	130 ( 100.0 )	2 ( 1.5 )	1 ( 0.8 )	3 ( 2.3 )	3 ( 2.3 )	2 ( 1.5 )	26 ( 20.0 )	101 ( 77.7 )	
	前回との差	-29 ( 0.0 )	2 ( 4.4 )	1 ( 1.9 )	1 ( 3.9 )	1 ( 1.9 )	1 ( 2.6 )	-1 ( 2.8 )	-28 ( -4.8 )	
保険金融不動産業	今回	31 ( 100.0 )	1 ( 3.2 )	1 ( 3.2 )	1 ( 3.2 )	1 ( 3.2 )	1 ( 3.2 )	6 ( 19.4 )	25 ( 80.6 )	
	前回	38 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.6 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.6 )	6 ( 15.8 )	30 ( 78.9 )	
	前々回	28 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.6 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 10.7 )	25 ( 89.3 )	
	前回との差	-7 ( 0.0 )	1 ( 3.2 )	1 ( 3.2 )	0 ( 0.6 )	1 ( 3.2 )	0 ( 0.6 )	0 ( 3.6 )	-5 ( 1.7 )	
サービス業	今回	73 ( 100.0 )	4 ( 5.5 )	3 ( 4.1 )	3 ( 4.1 )	3 ( 4.1 )	5 ( 6.8 )	14 ( 19.2 )	56 ( 76.7 )	
	前回	76 ( 100.0 )	1 ( 1.3 )	2 ( 2.6 )	3 ( 3.9 )	1 ( 1.3 )	4 ( 5.3 )	14 ( 18.4 )	60 ( 78.9 )	
	前々回	99 ( 100.0 )	3 ( 3.0 )	3 ( 3.0 )	6 ( 6.1 )	3 ( 3.0 )	1 ( 1.0 )	20 ( 20.2 )	72 ( 72.7 )	
	前回との差	-3 ( 0.0 )	3 ( 4.2 )	1 ( 1.5 )	0 ( 0.2 )	2 ( 2.8 )	1 ( 1.6 )	0 ( 0.8 )	-4 ( -2.2 )	
その他の業種	今回	135 ( 100.0 )	5 ( 3.7 )	6 ( 4.4 )	5 ( 3.7 )	5 ( 3.7 )	5 ( 3.7 )	18 ( 13.3 )	115 ( 85.2 )	
	前回	94 ( 100.0 )	4 ( 4.3 )	2 ( 2.1 )	2 ( 2.1 )	1 ( 1.1 )	3 ( 3.2 )	7 ( 7.4 )	80 ( 85.1 )	
	前々回	132 ( 100.0 )	4 ( 3.0 )	2 ( 1.5 )	4 ( 3.0 )	5 ( 3.8 )	2 ( 1.5 )	18 ( 13.6 )	106 ( 80.3 )	
	前回との差	41 ( 0.0 )	1 ( -0.6 )	4 ( 2.3 )	3 ( 1.6 )	4 ( 2.6 )	2 ( 0.5 )	11 ( 5.9 )	35 ( 0.1 )	
無回答	今回	11 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	11 ( 100.0 )	
	前回	6 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	6 ( 100.0 )	
	前々回	20 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.0 )	1 ( 5.0 )	1 ( 5.0 )	2 ( 10.0 )	16 ( 80.0 )	
	前回との差	5 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	5 ( 0.0 )	

問4「業種」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性では、全ての業種で“活動を支援”の割合が高くなっている。前回と比べて、「建設業」、「電気ガス水道業」、「卸売小売飲食業」、「保険金融不動産業」、「サービス業」において、全ての項目で割合が増加している。

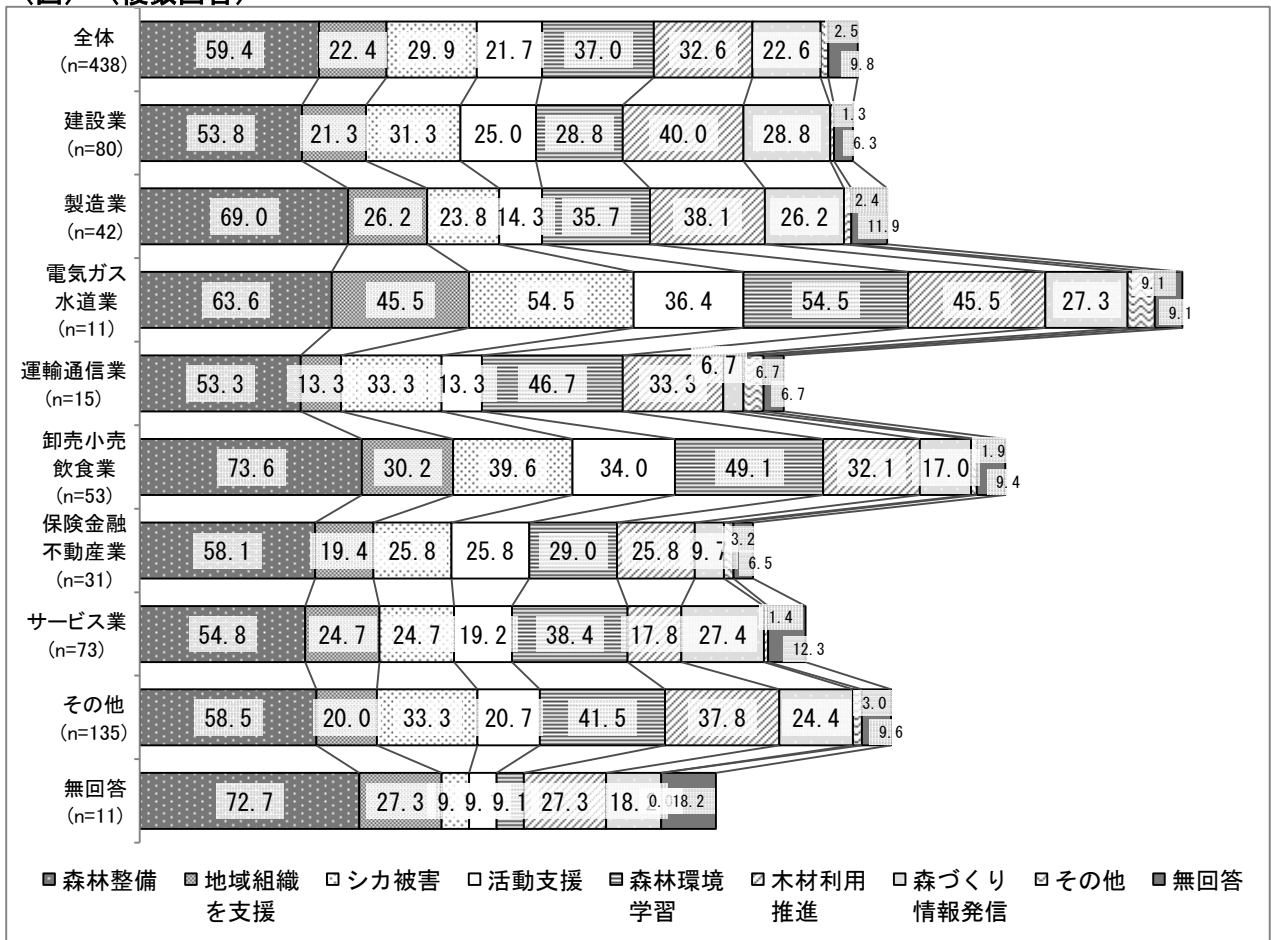
問4「業種」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（図）（複数回答）



問4「業種」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性  
(表) (複数回答)

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問4業種	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	建設業	80 ( 100.0 )	43 ( 53.8 )	17 ( 21.3 )	25 ( 31.3 )	20 ( 25.0 )	23 ( 28.8 )	32 ( 40.0 )	23 ( 28.8 )	1 ( 1.3 )	5 ( 6.3 )
	製造業	42 ( 100.0 )	29 ( 69.0 )	11 ( 26.2 )	10 ( 23.8 )	6 ( 14.3 )	15 ( 35.7 )	16 ( 38.1 )	11 ( 26.2 )	1 ( 2.4 )	5 ( 11.9 )
	電気ガス水道業	11 ( 100.0 )	7 ( 63.6 )	5 ( 45.5 )	6 ( 54.5 )	4 ( 36.4 )	6 ( 54.5 )	5 ( 45.5 )	3 ( 27.3 )	1 ( 9.1 )	1 ( 9.1 )
	運輸通信業	15 ( 100.0 )	8 ( 53.3 )	2 ( 13.3 )	5 ( 33.3 )	2 ( 13.3 )	7 ( 46.7 )	5 ( 33.3 )	1 ( 6.7 )	1 ( 6.7 )	1 ( 6.7 )
	卸売小売飲食業	53 ( 100.0 )	39 ( 73.6 )	16 ( 30.2 )	21 ( 39.6 )	18 ( 34.0 )	26 ( 49.1 )	17 ( 32.1 )	9 ( 17.0 )	1 ( 1.9 )	5 ( 9.4 )
	保険金融不動産業	31 ( 100.0 )	18 ( 58.1 )	6 ( 19.4 )	8 ( 25.8 )	8 ( 25.8 )	9 ( 29.0 )	8 ( 25.8 )	3 ( 9.7 )	1 ( 3.2 )	2 ( 6.5 )
	サービス業	73 ( 100.0 )	40 ( 54.8 )	18 ( 24.7 )	18 ( 24.7 )	14 ( 19.2 )	28 ( 38.4 )	13 ( 17.8 )	20 ( 27.4 )	1 ( 1.4 )	9 ( 12.3 )
	その他	135 ( 100.0 )	79 ( 58.5 )	27 ( 20.0 )	45 ( 33.3 )	28 ( 20.7 )	56 ( 41.5 )	51 ( 37.8 )	33 ( 24.4 )	4 ( 3.0 )	13 ( 9.6 )
	無回答	11 ( 100.0 )	8 ( 72.7 )	3 ( 27.3 )	1 ( 9.1 )	1 ( 9.1 )	1 ( 9.1 )	3 ( 27.3 )	2 ( 18.2 )	0 ( 0.0 )	2 ( 18.2 )

問4「業種」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性  
(図) (複数回答)



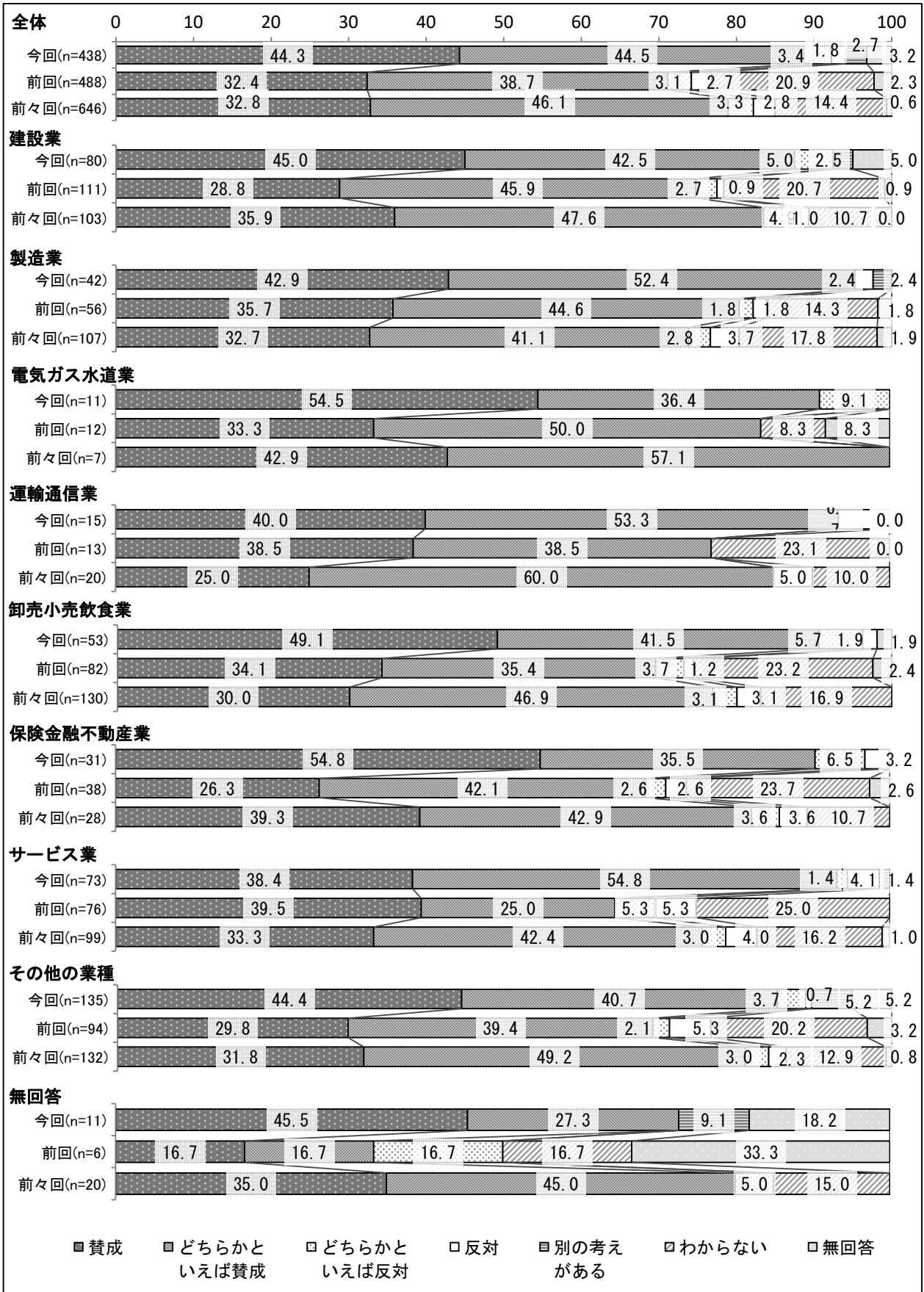
問4「業種」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性では、全ての業種で“森林整備”の割合が高い。次いで、多くの業種で、“森林環境学習”、“木材利用促進”、“シカ被害”と続いている。

問4「業種」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性(表)

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否								
		合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	別の考えがある	わからない	無回答	
問4 業種	全体	今回	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	— ( — )	14 ( 3.2 )
		前回	488 ( 100.0 )	158 ( 32.4 )	189 ( 38.7 )	15 ( 3.1 )	13 ( 2.7 )	— ( — )	102 ( 20.9 )	11 ( 2.3 )
		前々回	646 ( 100.0 )	212 ( 32.8 )	298 ( 46.1 )	21 ( 3.3 )	18 ( 2.8 )	— ( — )	93 ( 14.4 )	4 ( 0.6 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	36 ( 11.9 )	6 ( 5.8 )	0 ( 0.4 )	-5 ( -0.8 )	— ( — )	— ( — )	3 ( 0.9 )
	建設業	今回	80 ( 100.0 )	36 ( 45.0 )	34 ( 42.5 )	4 ( 5.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.5 )	— ( — )	4 ( 5.0 )
		前回	111 ( 100.0 )	32 ( 28.8 )	51 ( 45.9 )	3 ( 2.7 )	1 ( 0.9 )	— ( — )	23 ( 20.7 )	1 ( 0.9 )
		前々回	103 ( 100.0 )	37 ( 35.9 )	49 ( 47.6 )	5 ( 4.9 )	1 ( 1.0 )	— ( — )	11 ( 10.7 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-31 ( 0.0 )	4 ( 16.2 )	-17 ( -3.4 )	1 ( 2.3 )	-1 ( -0.9 )	— ( — )	— ( — )	3 ( 4.1 )
	製造業	今回	42 ( 100.0 )	18 ( 42.9 )	22 ( 52.4 )	0 ( 0.0 )	1 ( 2.4 )	1 ( 2.4 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	56 ( 100.0 )	20 ( 35.7 )	25 ( 44.6 )	1 ( 1.8 )	1 ( 1.8 )	— ( — )	8 ( 14.3 )	1 ( 1.8 )
		前々回	107 ( 100.0 )	35 ( 32.7 )	44 ( 41.1 )	3 ( 2.8 )	4 ( 3.7 )	— ( — )	19 ( 17.8 )	2 ( 1.9 )
		前回との差	-14 ( 0.0 )	-2 ( 7.1 )	-3 ( 7.7 )	-1 ( -1.8 )	0 ( 0.6 )	— ( — )	— ( — )	-1 ( -1.8 )
	電気ガス水道業	今回	11 ( 100.0 )	6 ( 54.5 )	4 ( 36.4 )	1 ( 9.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	12 ( 100.0 )	4 ( 33.3 )	6 ( 50.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 8.3 )	1 ( 8.3 )
		前々回	7 ( 100.0 )	3 ( 42.9 )	4 ( 57.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-1 ( 0.0 )	2 ( 21.2 )	-2 ( -13.6 )	1 ( 9.1 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	-1 ( -8.3 )
	運輸 通信業	今回	15 ( 100.0 )	6 ( 40.0 )	8 ( 53.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 6.7 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	13 ( 100.0 )	5 ( 38.5 )	5 ( 38.5 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	3 ( 23.1 )	0 ( 0.0 )
		前々回	20 ( 100.0 )	5 ( 25.0 )	12 ( 60.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 5.0 )	— ( — )	2 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	2 ( 0.0 )	1 ( 1.5 )	3 ( 14.9 )	0 ( 0.0 )	1 ( 6.7 )	— ( — )	— ( — )	0 ( 0.0 )
	卸売 小売 飲食業	今回	53 ( 100.0 )	26 ( 49.1 )	22 ( 41.5 )	3 ( 5.7 )	1 ( 1.9 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 1.9 )
		前回	82 ( 100.0 )	28 ( 34.1 )	29 ( 35.4 )	3 ( 3.7 )	1 ( 1.2 )	— ( — )	19 ( 23.2 )	2 ( 2.4 )
		前々回	130 ( 100.0 )	39 ( 30.0 )	61 ( 46.9 )	4 ( 3.1 )	4 ( 3.1 )	— ( — )	22 ( 16.9 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-29 ( 0.0 )	-2 ( 14.9 )	-7 ( 6.1 )	0 ( 2.0 )	0 ( 0.7 )	— ( — )	— ( — )	-1 ( -0.6 )
	保険 金融 不動産業	今回	31 ( 100.0 )	17 ( 54.8 )	11 ( 35.5 )	2 ( 6.5 )	1 ( 3.2 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	0 ( 0.0 )
		前回	38 ( 100.0 )	10 ( 26.3 )	16 ( 42.1 )	1 ( 2.6 )	1 ( 2.6 )	— ( — )	9 ( 23.7 )	1 ( 2.6 )
		前々回	28 ( 100.0 )	11 ( 39.3 )	12 ( 42.9 )	1 ( 3.6 )	1 ( 3.6 )	— ( — )	3 ( 10.7 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-7 ( 0.0 )	7 ( 28.5 )	-5 ( -6.6 )	1 ( 3.8 )	0 ( 0.6 )	— ( — )	— ( — )	-1 ( -2.6 )
サービス業	今回	73 ( 100.0 )	28 ( 38.4 )	40 ( 54.8 )	1 ( 1.4 )	3 ( 4.1 )	1 ( 1.4 )	— ( — )	0 ( 0.0 )	
	前回	76 ( 100.0 )	30 ( 39.5 )	19 ( 25.0 )	4 ( 5.3 )	4 ( 5.3 )	— ( — )	19 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	
	前々回	99 ( 100.0 )	33 ( 33.3 )	42 ( 42.4 )	3 ( 3.0 )	4 ( 4.0 )	— ( — )	16 ( 16.2 )	1 ( 1.0 )	
	前回との差	-3 ( 0.0 )	-2 ( -1.1 )	21 ( 29.8 )	-3 ( -3.9 )	-1 ( -1.2 )	— ( — )	— ( — )	0 ( 0.0 )	
その他の業種	今回	135 ( 100.0 )	60 ( 44.4 )	55 ( 40.7 )	5 ( 3.7 )	1 ( 0.7 )	7 ( 5.2 )	— ( — )	7 ( 5.2 )	
	前回	94 ( 100.0 )	28 ( 29.8 )	37 ( 39.4 )	2 ( 2.1 )	5 ( 5.3 )	— ( — )	19 ( 20.2 )	3 ( 3.2 )	
	前々回	132 ( 100.0 )	42 ( 31.8 )	65 ( 49.2 )	4 ( 3.0 )	3 ( 2.3 )	— ( — )	17 ( 12.9 )	1 ( 0.8 )	
	前回との差	41 ( 0.0 )	32 ( 14.7 )	18 ( 1.4 )	3 ( 1.6 )	-4 ( -4.6 )	— ( — )	— ( — )	4 ( 2.0 )	
無回答	今回	11 ( 100.0 )	5 ( 45.5 )	3 ( 27.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 9.1 )	— ( — )	2 ( 18.2 )	
	前回	6 ( 100.0 )	1 ( 16.7 )	1 ( 16.7 )	1 ( 16.7 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	1 ( 16.7 )	2 ( 33.3 )	
	前々回	20 ( 100.0 )	7 ( 35.0 )	9 ( 45.0 )	1 ( 5.0 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	3 ( 15.0 )	0 ( 0.0 )	
	前回との差	5 ( 0.0 )	4 ( 28.8 )	2 ( 10.6 )	-1 ( -16.7 )	0 ( 0.0 )	— ( — )	— ( — )	0 ( -15.2 )	

問4「業種」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性では、「建設業」、「電気ガス水道業」、「卸売小売飲食業」、「保険金融不動産業」、「その他の業種」で“賛成”が最も高い割合を占めた。全てにおいて“賛成”、“どちらかといえば賛成”が高い割合を占める。

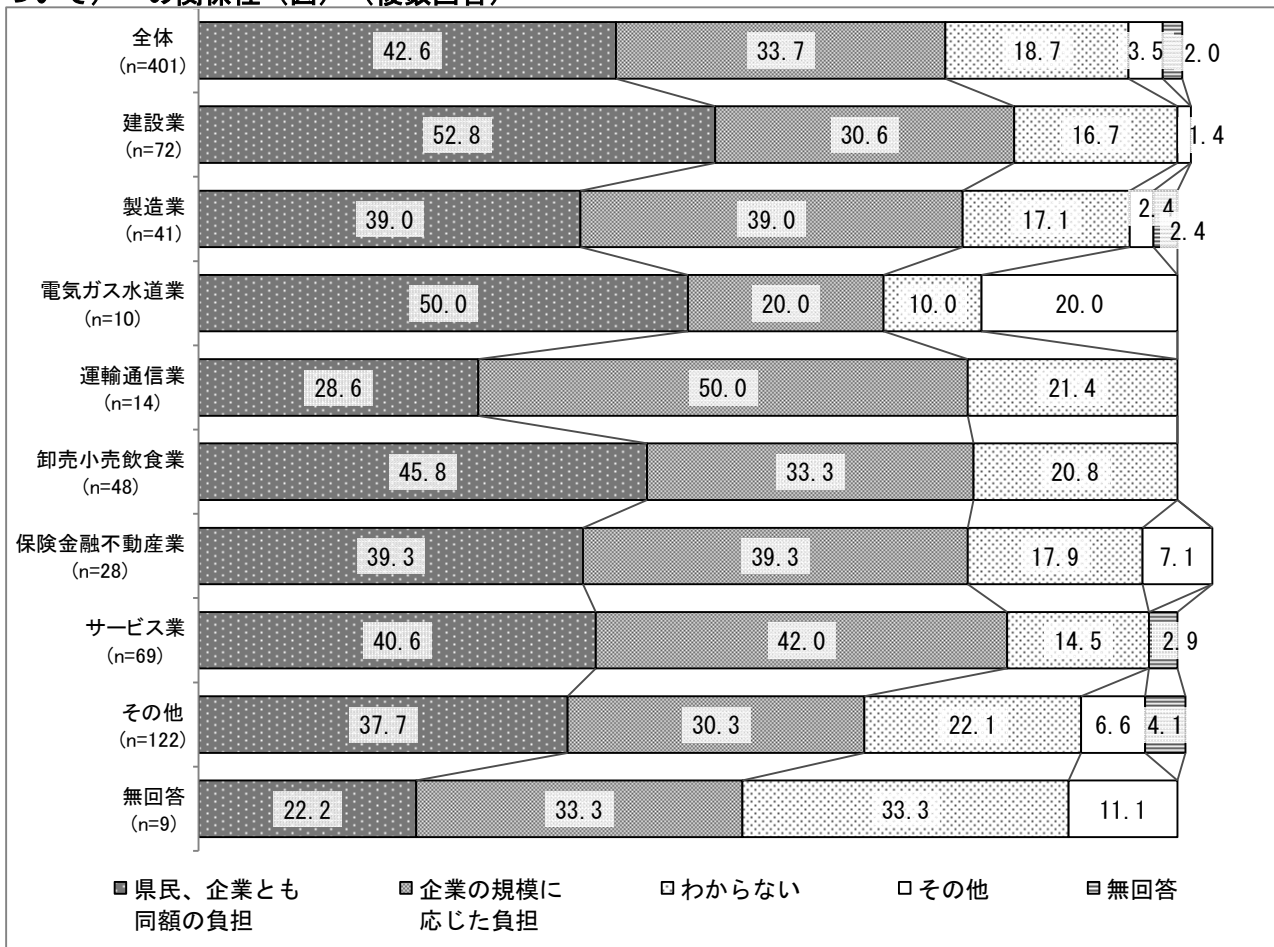
問4「業種」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性(図)



問4「業種」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（表）（複数回答）

		問10 森林環境税（企業の負担額について）					
		合計	県民、企業とも同額の負担	企業の規模に応じた負担	わからない	その他	無回答
問4 業種	全体	401 ( 100.0 )	171 ( 42.6 )	135 ( 33.7 )	75 ( 18.7 )	14 ( 3.5 )	8 ( 2.0 )
	建設業	72 ( 100.0 )	38 ( 52.8 )	22 ( 30.6 )	12 ( 16.7 )	1 ( 1.4 )	0 ( 0.0 )
	製造業	41 ( 100.0 )	16 ( 39.0 )	16 ( 39.0 )	7 ( 17.1 )	1 ( 2.4 )	1 ( 2.4 )
	電気ガス水道業	10 ( 100.0 )	5 ( 50.0 )	2 ( 20.0 )	1 ( 10.0 )	2 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )
	運輸通信業	14 ( 100.0 )	4 ( 28.6 )	7 ( 50.0 )	3 ( 21.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	卸売小売飲食業	48 ( 100.0 )	22 ( 45.8 )	16 ( 33.3 )	10 ( 20.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	保険金融不動産業	28 ( 100.0 )	11 ( 39.3 )	11 ( 39.3 )	5 ( 17.9 )	2 ( 7.1 )	0 ( 0.0 )
	サービス業	69 ( 100.0 )	28 ( 40.6 )	29 ( 42.0 )	10 ( 14.5 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.9 )
	その他	122 ( 100.0 )	46 ( 37.7 )	37 ( 30.3 )	27 ( 22.1 )	8 ( 6.6 )	5 ( 4.1 )
	無回答	9 ( 100.0 )	2 ( 22.2 )	3 ( 33.3 )	3 ( 33.3 )	1 ( 11.1 )	0 ( 0.0 )

問4「業種」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（図）（複数回答）



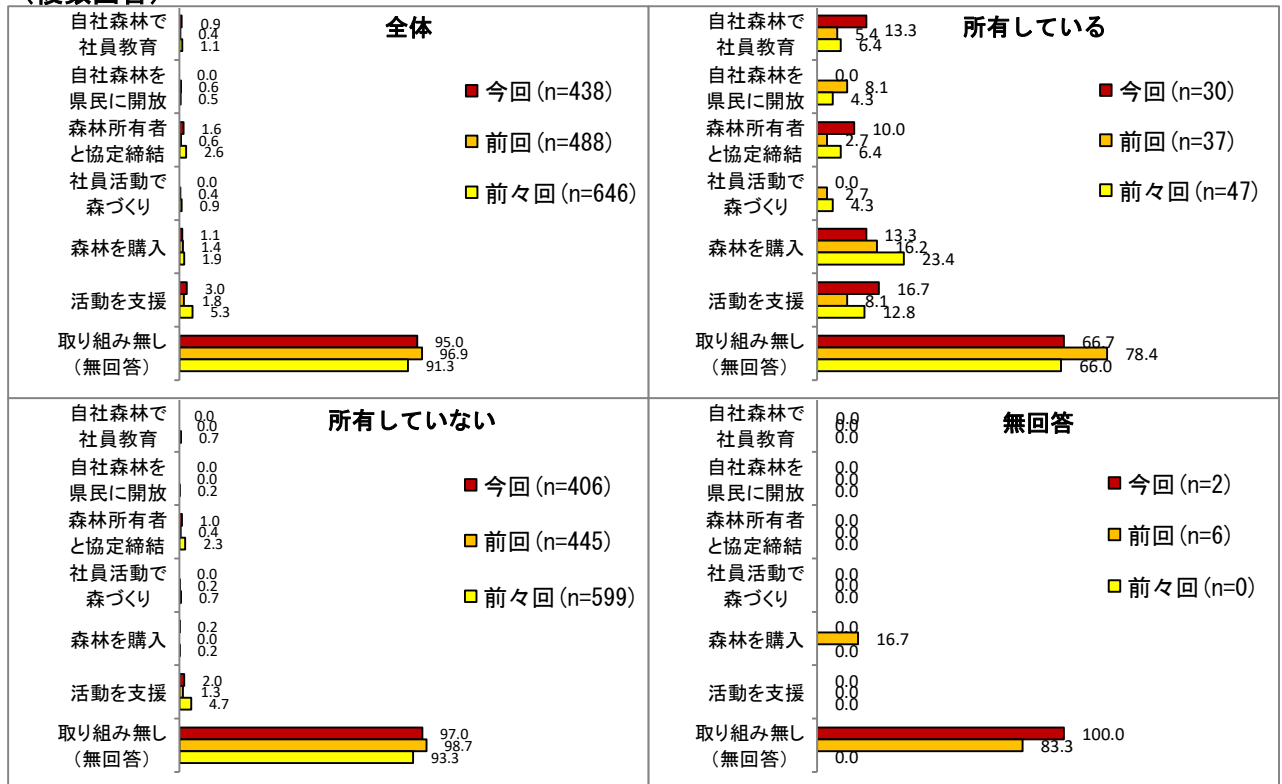
問4「業種」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性では、「建設業」における“県民、企業とも同額の負担”の比率は52.8%を占め、全業種で最も高い。

## 問5「森林所有の有無」を軸にしたクロス集計

問5「森林所有の有無」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（表）  
（複数回答）

		問6 環境保全活動（現在取り組み中のもの）								
		対象件数	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）	
問5 森林所有の有無	全体	今回	438 ( 100.0 )	4 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	7 ( 1.6 )	0 ( 0.0 )	5 ( 1.1 )	13 ( 3.0 )	416 ( 95.0 )
		前回	488 ( 100.0 )	2 ( 0.4 )	3 ( 0.6 )	3 ( 0.6 )	2 ( 0.4 )	7 ( 1.4 )	9 ( 1.8 )	473 ( 96.9 )
		前々回	646 ( 100.0 )	7 ( 1.1 )	3 ( 0.5 )	17 ( 2.6 )	6 ( 0.9 )	12 ( 1.9 )	34 ( 5.3 )	590 ( 91.3 )
		前回との差	-50 ( 0.0 )	2 ( 0.5 )	-3 ( -0.6 )	4 ( 1.0 )	-2 ( -0.4 )	-2 ( -0.3 )	4 ( 1.1 )	-57 ( -11.9 )
	所有している	今回	30 ( 100.0 )	4 ( 13.3 )	0 ( 0.0 )	3 ( 10.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 13.3 )	5 ( 16.7 )	20 ( 66.7 )
		前回	37 ( 100.0 )	2 ( 5.4 )	3 ( 8.1 )	1 ( 2.7 )	1 ( 2.7 )	6 ( 16.2 )	3 ( 8.1 )	29 ( 78.4 )
		前々回	47 ( 100.0 )	3 ( 6.4 )	2 ( 4.3 )	3 ( 6.4 )	2 ( 4.3 )	11 ( 23.4 )	6 ( 12.8 )	31 ( 66.0 )
		前回との差	-7 ( 0.0 )	2 ( 7.9 )	-3 ( -8.1 )	2 ( 7.3 )	-1 ( -2.7 )	-2 ( -2.9 )	2 ( 8.6 )	-9 ( -11.7 )
	所有していない	今回	406 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	4 ( 1.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.2 )	8 ( 2.0 )	394 ( 97.0 )
		前回	445 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.4 )	1 ( 0.2 )	0 ( 0.0 )	6 ( 1.3 )	439 ( 98.7 )
		前々回	599 ( 100.0 )	4 ( 0.7 )	1 ( 0.2 )	14 ( 2.3 )	4 ( 0.7 )	1 ( 0.2 )	28 ( 4.7 )	559 ( 93.3 )
		前回との差	-39 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.5 )	-1 ( -0.2 )	1 ( 0.2 )	2 ( 0.6 )	-45 ( -11.6 )
	無回答	今回	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 100.0 )
		前回	6 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 16.7 )	0 ( 0.0 )	5 ( 83.3 )
		前々回	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
		前回との差	-4 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	-1 ( -16.7 )	0 ( 0.0 )	-3 ( 16.7 )

問5「森林所有の有無」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性（図）  
（複数回答）

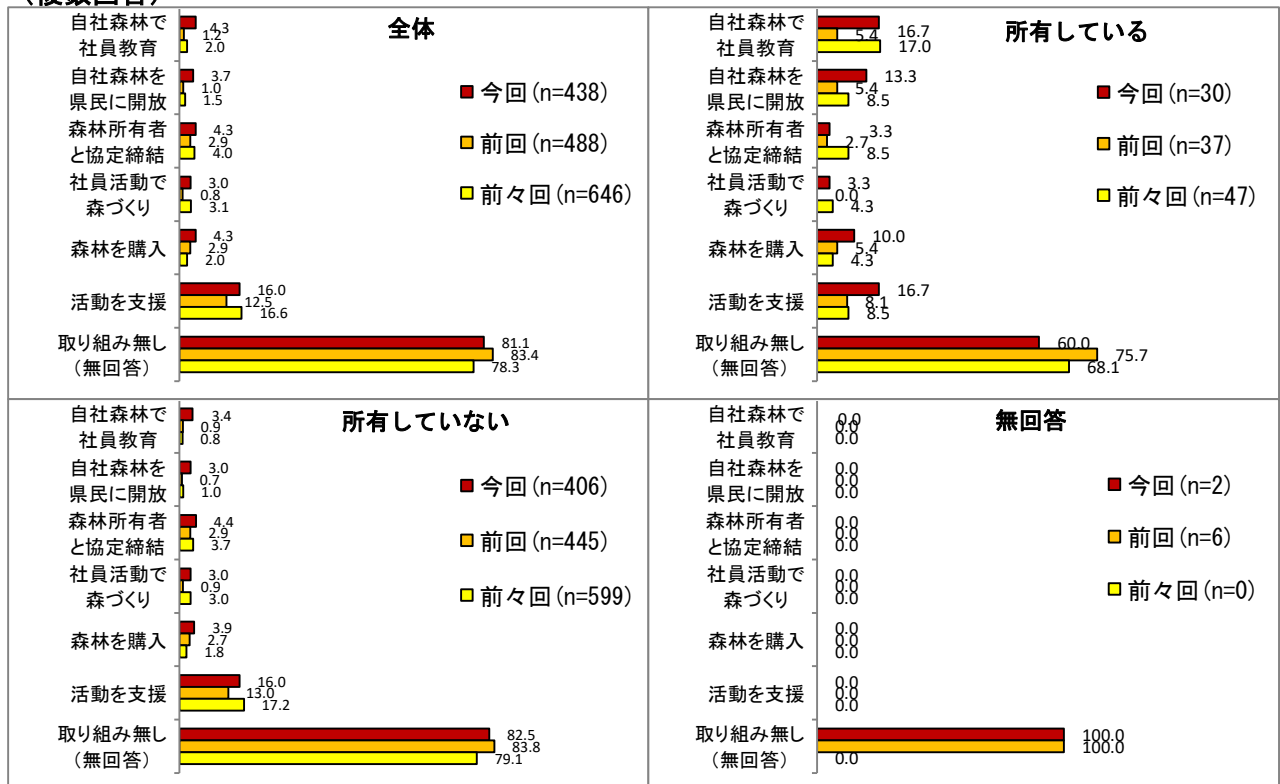


問5「森林所有の有無」と問6“環境保全活動（現在取り組み中のもの）”の関係性では、「所有している」では、“活動を支援”が高い割合となっており、前回と比べると、8.6ポイント高くなっている。次いで“自社森林で社員教育”、“森林を購入”となっている。「所有していない」では、“活動を支援”が高い割合となっており、前回と比べると、0.7ポイント高くなっている。

問5「森林所有の有無」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（表）  
（複数回答）

		問6 環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）								
		対象件数	自社森林で社員教育	自社森林を県民に開放	森林所有者と協定締結	社員活動で森づくり	森林を購入	活動を支援	取り組み無し（無回答）	
問5 森林所有の有無	全体	今回	438 (100.0)	19 (4.3)	16 (3.7)	19 (4.3)	13 (3.0)	19 (4.3)	70 (16.0)	355 (81.1)
		前回	488 (100.0)	6 (1.2)	5 (1.0)	14 (2.9)	4 (0.8)	14 (2.9)	61 (12.5)	407 (83.4)
		前々回	646 (100.0)	13 (2.0)	10 (1.5)	26 (4.0)	20 (3.1)	13 (2.0)	107 (16.6)	506 (78.3)
		前回との差	-50 (0.0)	13 (3.1)	11 (2.6)	5 (1.5)	9 (2.1)	5 (1.5)	9 (3.5)	-52 (-2.4)
	所有している	今回	30 (100.0)	5 (16.7)	4 (13.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	3 (10.0)	5 (16.7)	18 (60.0)
		前回	37 (100.0)	2 (5.4)	2 (5.4)	1 (2.7)	0 (0.0)	2 (5.4)	3 (8.1)	28 (75.7)
		前々回	47 (100.0)	8 (17.0)	4 (8.5)	4 (8.5)	2 (4.3)	2 (4.3)	4 (8.5)	32 (68.1)
		前回との差	-7 (0.0)	3 (11.3)	2 (7.9)	0 (0.6)	1 (3.3)	1 (4.6)	2 (8.6)	-10 (-15.7)
	所有していない	今回	406 (100.0)	14 (3.4)	12 (3.0)	18 (4.4)	12 (3.0)	16 (3.9)	65 (16.0)	335 (82.5)
		前回	445 (100.0)	4 (0.9)	3 (0.7)	13 (2.9)	4 (0.9)	12 (2.7)	58 (13.0)	373 (83.8)
		前々回	599 (100.0)	5 (0.8)	6 (1.0)	22 (3.7)	18 (3.0)	11 (1.8)	103 (17.2)	474 (79.1)
		前回との差	-39 (0.0)	10 (2.5)	9 (2.3)	5 (1.5)	8 (2.1)	4 (1.2)	7 (3.0)	-38 (-1.3)
	無回答	今回	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)
		前回	6 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (100.0)
		前々回	0 (—)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		前回との差	-4 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	-4 (0.0)

問5「森林所有の有無」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性（図）  
（複数回答）

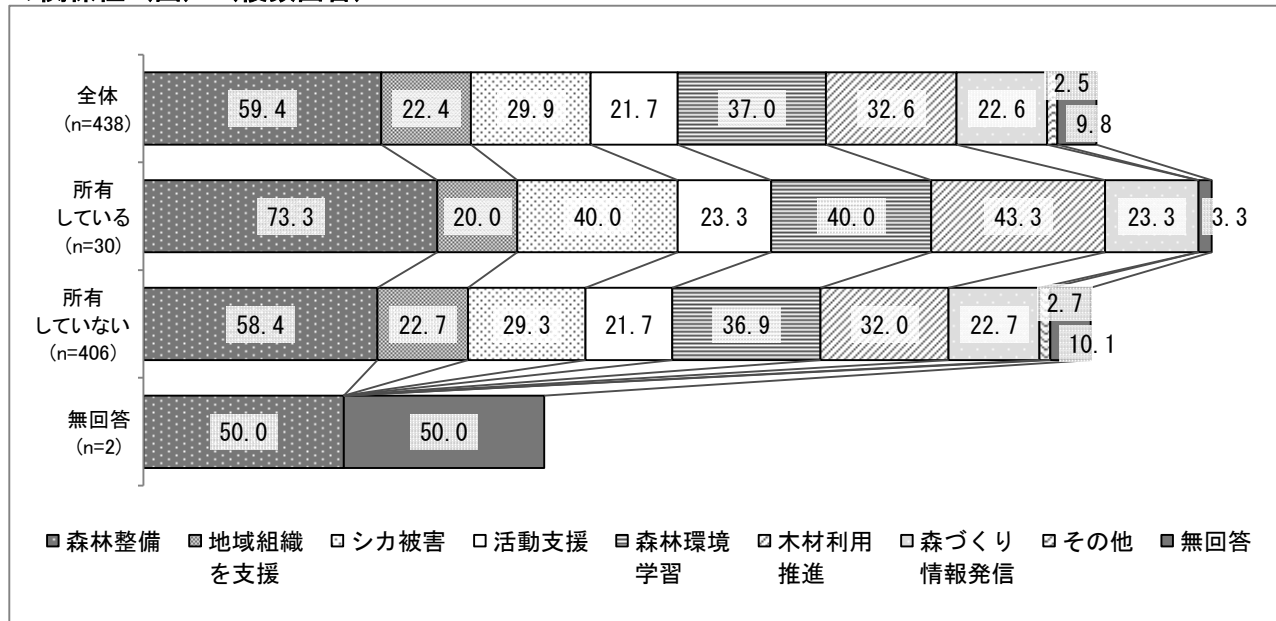


問5「森林所有の有無」と問6“環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）”の関係性では、「所有している」、「所有していない」共に全ての項目で前回より増加している。特に「所有している」の“自社森林で社員教育”は、前回より11.3ポイントと増加率が高い。

問5「森林所有の有無」と問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」の関係性（表）（複数回答）

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問5 森林所有の有無	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	所有している	30 ( 100.0 )	22 ( 73.3 )	6 ( 20.0 )	12 ( 40.0 )	7 ( 23.3 )	12 ( 40.0 )	13 ( 43.3 )	7 ( 23.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )
	所有していない	406 ( 100.0 )	237 ( 58.4 )	92 ( 22.7 )	119 ( 29.3 )	88 ( 21.7 )	150 ( 36.9 )	130 ( 32.0 )	92 ( 22.7 )	11 ( 2.7 )	41 ( 10.1 )
	無回答	2 ( 100.0 )	1 ( 50.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 50.0 )

問5「森林所有の有無」と問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」の関係性（図）（複数回答）

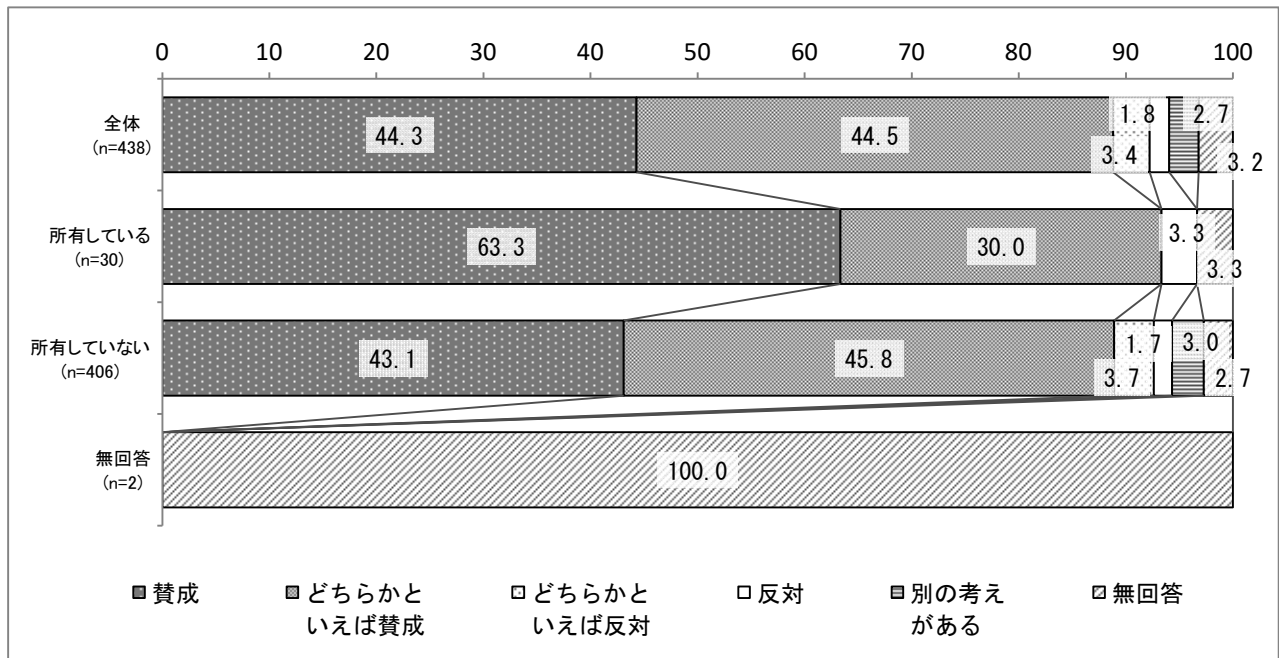


問5「森林所有の有無」と問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」の関係性では、「所有している」と回答した中では「森林整備」、次いで「木材利用推進」の回答が高い。「所有していない」と回答した中では「森林整備」の割合が高く、次いで「森林環境学習」が高くなっている。

問5「森林所有の有無」と問9「森林環境税課税期間の延長に対する賛否」の関係性（表）

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否						
		合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	別の考えがある	無回答
問5 森林所有の有無	全体	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	14 ( 3.2 )
	所有している	30 ( 100.0 )	19 ( 63.3 )	9 ( 30.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.3 )
	所有していない	406 ( 100.0 )	175 ( 43.1 )	186 ( 45.8 )	15 ( 3.7 )	7 ( 1.7 )	12 ( 3.0 )	11 ( 2.7 )
	無回答	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 100.0 )

問5「森林所有の有無」と問9「森林環境税課税期間の延長に対する賛否」の関係性（図）

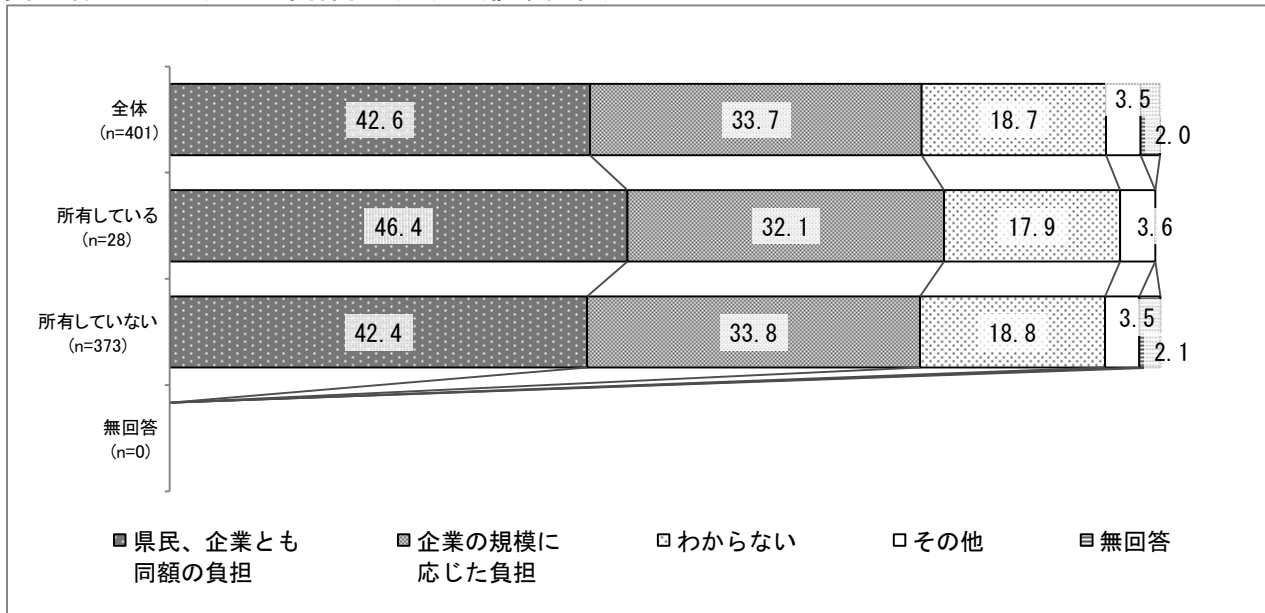


問5「森林所有の有無」と問9「森林環境税課税期間の延長に対する賛否」の関係性では、「所有している」で“賛成”が63.3%となっている。「所有していない」で、“どちらかといえば賛成”は45.8%となっている。“賛成”、“どちらかといえば賛成”が高い割合を占める。

問5「森林所有の有無」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（表）（複数回答）

		問10 森林環境税（企業の負担額について）					
		合計	県民、企業とも同額の負担	企業の規模に応じた負担	わからない	その他	無回答
問5 森林所有の有無	全体	401 ( 100.0 )	171 ( 42.6 )	135 ( 33.7 )	75 ( 18.7 )	14 ( 3.5 )	8 ( 2.0 )
	所有している	28 ( 100.0 )	13 ( 46.4 )	9 ( 32.1 )	5 ( 17.9 )	1 ( 3.6 )	0 ( 0.0 )
	所有していない	373 ( 100.0 )	158 ( 42.4 )	126 ( 33.8 )	70 ( 18.8 )	13 ( 3.5 )	8 ( 2.1 )
	無回答	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )

問5「森林所有の有無」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性（図）（複数回答）



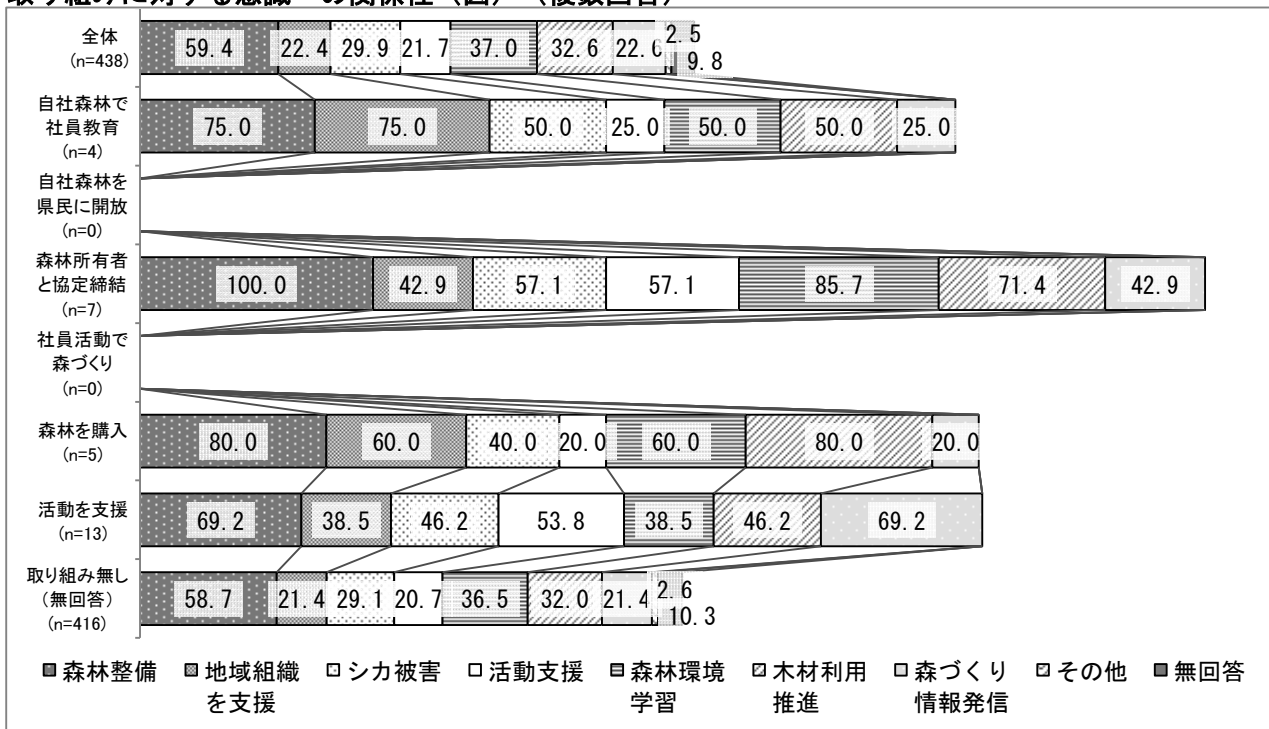
問5「森林所有の有無」と問10“企業が負担する森林環境税の課税内容に対する意見（企業の負担額について）”の関係性では、「所有している」、「所有していない」共に“県民、企業とも同額の負担”の割合が高くなっている。

## 問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」を軸にしたクロス集計

問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性（表）（複数回答）

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問6 環境保全活動 (現在)	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	自社森林で社員教育	4 ( 100.0 )	3 ( 75.0 )	3 ( 75.0 )	2 ( 50.0 )	1 ( 25.0 )	2 ( 50.0 )	2 ( 50.0 )	1 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	自社森林を県民に開放	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	森林所有者と協定締結	7 ( 100.0 )	7 ( 100.0 )	3 ( 42.9 )	4 ( 57.1 )	4 ( 57.1 )	6 ( 85.7 )	5 ( 71.4 )	3 ( 42.9 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	社員活動で森づくり	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	森林を購入	5 ( 100.0 )	4 ( 80.0 )	3 ( 60.0 )	2 ( 40.0 )	1 ( 20.0 )	3 ( 60.0 )	4 ( 80.0 )	1 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	活動を支援	13 ( 100.0 )	9 ( 69.2 )	5 ( 38.5 )	6 ( 46.2 )	7 ( 53.8 )	5 ( 38.5 )	6 ( 46.2 )	9 ( 69.2 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	取り組み無し（無回答）	416 ( 100.0 )	244 ( 58.7 )	89 ( 21.4 )	121 ( 29.1 )	86 ( 20.7 )	152 ( 36.5 )	133 ( 32.0 )	89 ( 21.4 )	11 ( 2.6 )	43 ( 10.3 )

問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性（図）（複数回答）

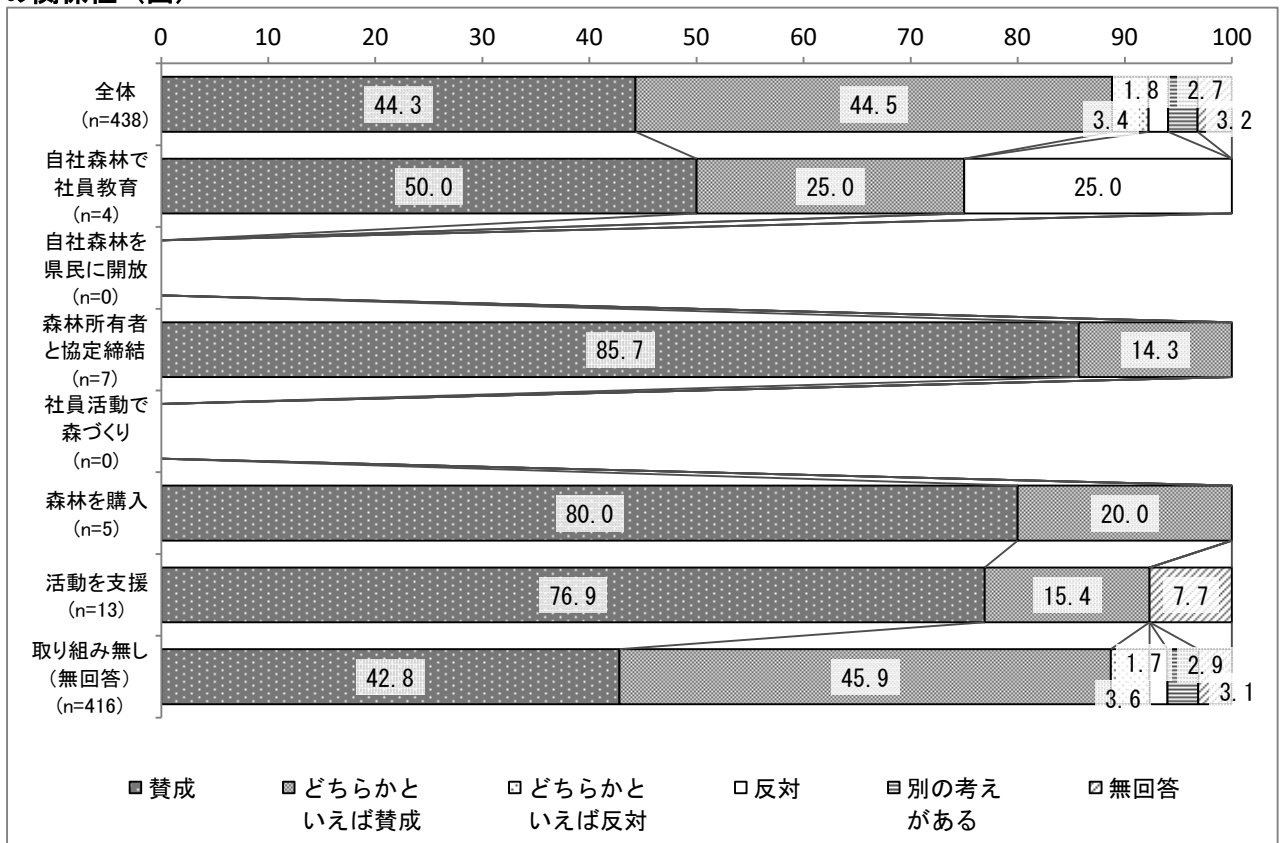


問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性では、“森林整備”の割合が高い。「森林所有者と協定締結」では100%と高くなっているが、これは回答数が少ないためである。

問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（表）

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否						無回答
		合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	別の考えがある	
問6 環境保全活動 (現在)	全体	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	14 ( 3.2 )
	自社森林で社員教育	4 ( 100.0 )	2 ( 50.0 )	1 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 25.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	自社森林を県民に開放	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	森林所有者と協定締結	7 ( 100.0 )	6 ( 85.7 )	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	社員活動で森づくり	0 ( — )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	森林を購入	5 ( 100.0 )	4 ( 80.0 )	1 ( 20.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	活動を支援	13 ( 100.0 )	10 ( 76.9 )	2 ( 15.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 7.7 )
	取り組み無し（無回答）	416 ( 100.0 )	178 ( 42.8 )	191 ( 45.9 )	15 ( 3.6 )	7 ( 1.7 )	12 ( 2.9 )	13 ( 3.1 )

問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性（図）



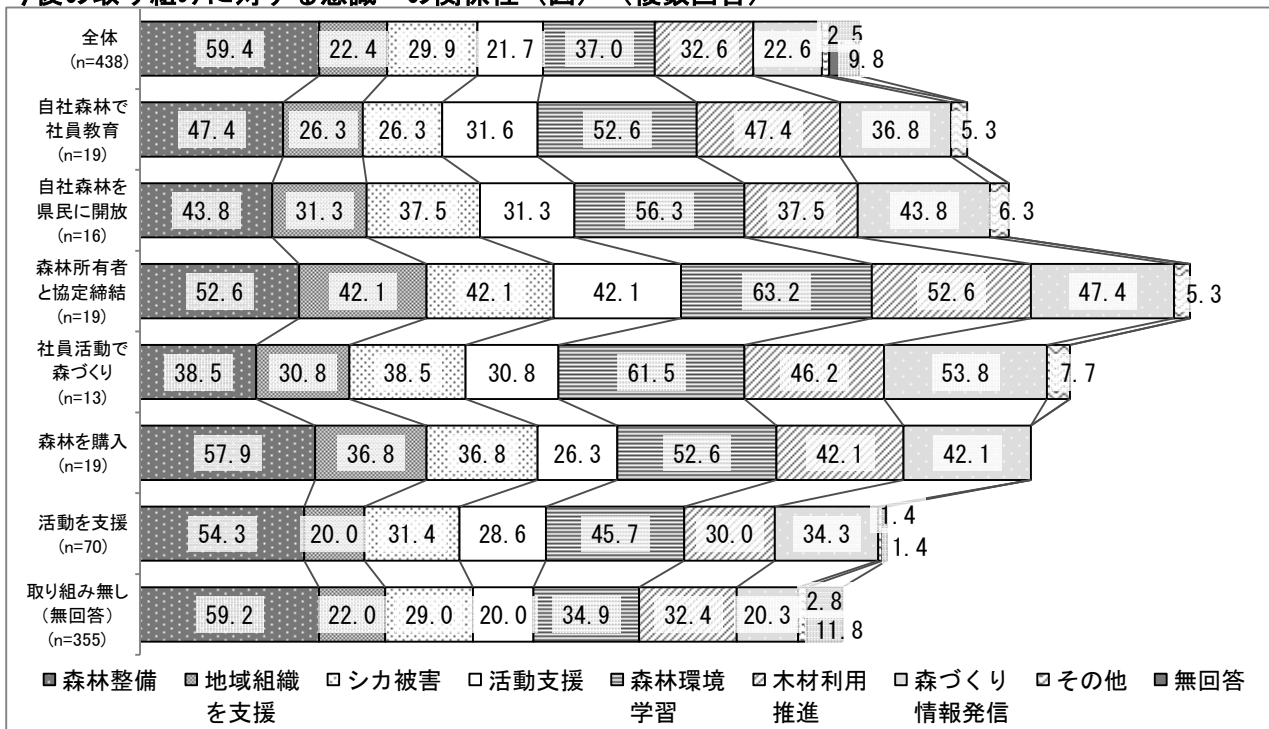
問6「環境保全活動（現在取り組み中のもの）」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性では、“賛成”が高い割合を占める。

問6「環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）」を軸にしたクロス集計

問6「環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性（表）（複数回答）

		合計	森林整備	地域組織を支援	シカ被害	活動支援	森林環境学習	木材利用推進	森づくり情報発信	その他	無回答
問6 環境保全活動（今後）	全体	438 ( 100.0 )	260 ( 59.4 )	98 ( 22.4 )	131 ( 29.9 )	95 ( 21.7 )	162 ( 37.0 )	143 ( 32.6 )	99 ( 22.6 )	11 ( 2.5 )	43 ( 9.8 )
	自社森林で社員教育	19 ( 100.0 )	9 ( 47.4 )	5 ( 26.3 )	5 ( 26.3 )	6 ( 31.6 )	10 ( 52.6 )	9 ( 47.4 )	7 ( 36.8 )	1 ( 5.3 )	0 ( 0.0 )
	自社森林を県民に開放	16 ( 100.0 )	7 ( 43.8 )	5 ( 31.3 )	6 ( 37.5 )	5 ( 31.3 )	9 ( 56.3 )	6 ( 37.5 )	7 ( 43.8 )	1 ( 6.3 )	0 ( 0.0 )
	森林所有者と協定締結	19 ( 100.0 )	10 ( 52.6 )	8 ( 42.1 )	8 ( 42.1 )	8 ( 42.1 )	12 ( 63.2 )	10 ( 52.6 )	9 ( 47.4 )	1 ( 5.3 )	0 ( 0.0 )
	社員活動で森づくり	13 ( 100.0 )	5 ( 38.5 )	4 ( 30.8 )	5 ( 38.5 )	4 ( 30.8 )	8 ( 61.5 )	6 ( 46.2 )	7 ( 53.8 )	1 ( 7.7 )	0 ( 0.0 )
	森林を購入	19 ( 100.0 )	11 ( 57.9 )	7 ( 36.8 )	7 ( 36.8 )	5 ( 26.3 )	10 ( 52.6 )	8 ( 42.1 )	8 ( 42.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
	活動を支援	70 ( 100.0 )	38 ( 54.3 )	14 ( 20.0 )	22 ( 31.4 )	20 ( 28.6 )	32 ( 45.7 )	21 ( 30.0 )	24 ( 34.3 )	1 ( 1.4 )	1 ( 1.4 )
	取り組み無し（無回答）	355 ( 100.0 )	210 ( 59.2 )	78 ( 22.0 )	103 ( 29.0 )	71 ( 20.0 )	124 ( 34.9 )	115 ( 32.4 )	72 ( 20.3 )	10 ( 2.8 )	42 ( 11.8 )

問6「環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性（図）（複数回答）



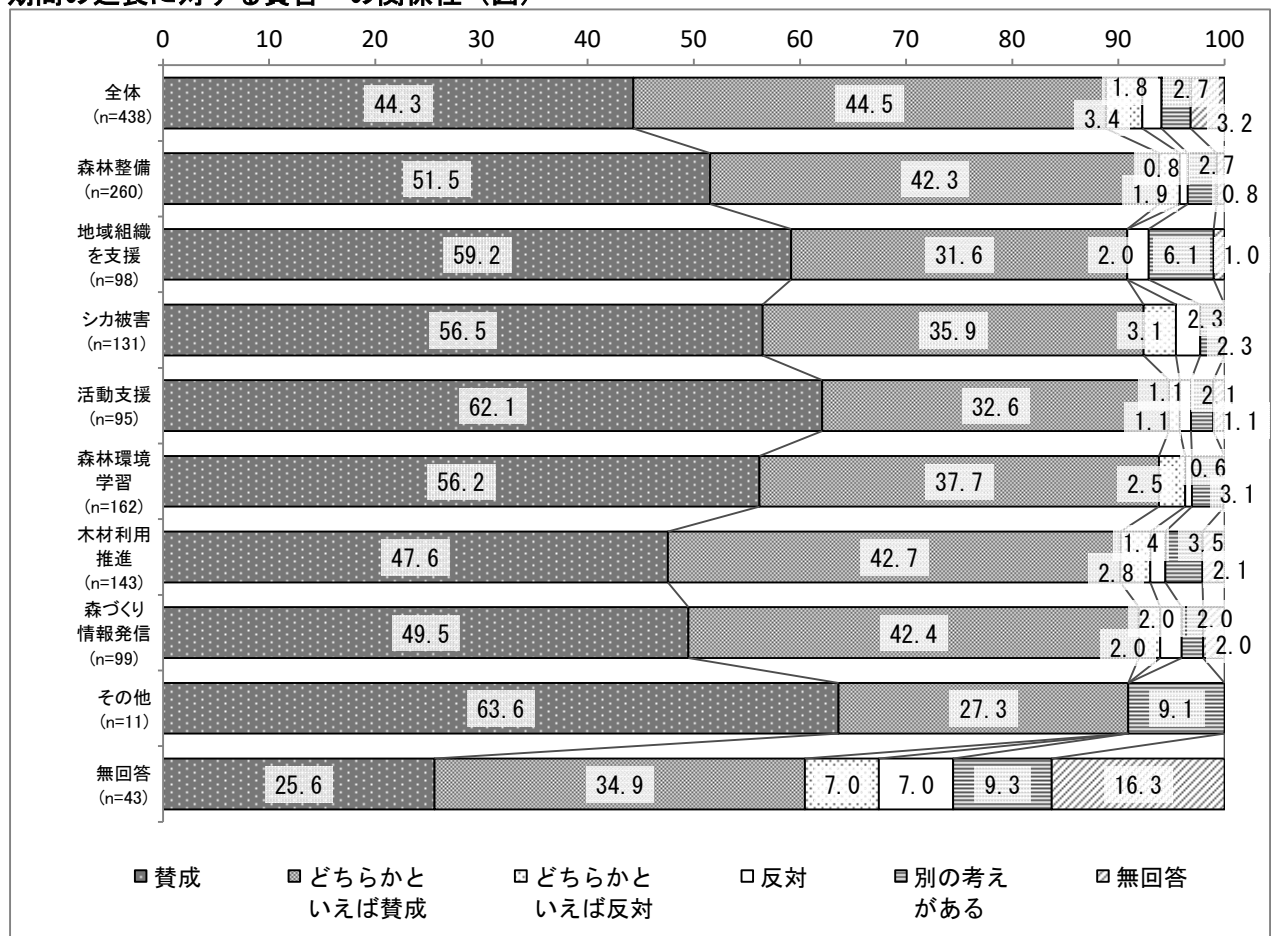
問6「環境保全活動（今後新たに取り組みたいもの）」と問7“森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識”の関係性では、「森林を購入」、「活動を支援」を除いて“森林環境学習”が高い割合となっている。「森林を購入」、「活動を支援」では、“森林整備”が高い割合となっている。

問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」を軸にしたクロス集計

問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性(表)

		問9 森林環境税課税期間の延長に対する賛否						
		合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	別の考えがある	無回答
問7 各種事業の今後の取り組み	全体	438 ( 100.0 )	194 ( 44.3 )	195 ( 44.5 )	15 ( 3.4 )	8 ( 1.8 )	12 ( 2.7 )	14 ( 3.2 )
	森林整備	260 ( 100.0 )	134 ( 51.5 )	110 ( 42.3 )	5 ( 1.9 )	2 ( 0.8 )	7 ( 2.7 )	2 ( 0.8 )
	地域組織を支援	98 ( 100.0 )	58 ( 59.2 )	31 ( 31.6 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.0 )	6 ( 6.1 )	1 ( 1.0 )
	シカ被害	131 ( 100.0 )	74 ( 56.5 )	47 ( 35.9 )	4 ( 3.1 )	3 ( 2.3 )	3 ( 2.3 )	0 ( 0.0 )
	活動支援	95 ( 100.0 )	59 ( 62.1 )	31 ( 32.6 )	1 ( 1.1 )	1 ( 1.1 )	2 ( 2.1 )	1 ( 1.1 )
	森林環境学習	162 ( 100.0 )	91 ( 56.2 )	61 ( 37.7 )	4 ( 2.5 )	1 ( 0.6 )	5 ( 3.1 )	0 ( 0.0 )
	木材利用推進	143 ( 100.0 )	68 ( 47.6 )	61 ( 42.7 )	4 ( 2.8 )	2 ( 1.4 )	5 ( 3.5 )	3 ( 2.1 )
	森づくり情報発信	99 ( 100.0 )	49 ( 49.5 )	42 ( 42.4 )	2 ( 2.0 )	2 ( 2.0 )	2 ( 2.0 )	2 ( 2.0 )
	その他	11 ( 100.0 )	7 ( 63.6 )	3 ( 27.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 9.1 )	0 ( 0.0 )
	無回答	43 ( 100.0 )	11 ( 25.6 )	15 ( 34.9 )	3 ( 7.0 )	3 ( 7.0 )	4 ( 9.3 )	7 ( 16.3 )

問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性(図)



問7「森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識」と問9“森林環境税課税期間の延長に対する賛否”の関係性では、“賛成”、“どちらかといえば賛成”が高い割合を占める。

## ■自由記述欄の整理

以下では、回答企業から自由記述欄に記載があったものを分類し、主なものを列記している。分類は、「使途」、「負担額・負担」、「森林環境税制度のあり方」、「森林・林業行政全般」、「企業の森林環境保全に対する取り組み姿勢」、「広報・PR」、「その他」で区分している。

### 使途

- 高知県産木材、杉、ヒノキをもっと拠出してもらって、木材の価格を安定させてほしいですね。そういったところにも税を使ってほしいです。
- 個人的な意見ですが、近年、河川の森林化が目立っている。温暖化のせいかな？森林との関係はないかな？研究を願います。そういうところにも税金を投入してほしい。
- 里山づくりに活用できれば良い、と思う。（TV等の影響）
- 税を払う方よりも、これを使う側の手法、計画等、告知し、SDGsの観点からも、もっと機動的、効果的活動を望む。
- ①森林環境税として年間どれだけ徴収できているのか？②7億÷4年=1億7500万。平均年間17500万は少ないように思うが資金使途の見える取組が必要。
- 有効的な税利用をお願いします。
- 税金の使い方に再考の余地があると考えています。当県は間違いなく減少していくので、軽減するために他県へのアピールなどはできないのでしょうか？
- 水源の保全にも活用してもらいたい。国有化できないまでも、国や県主導で森林管理に取り組んでいただきたい。森林環境税ほど使用目的が明確な税はないと考えている。
- 専門的な知識がない中でご意見するのはおこがましい気もしますが、私たち40代（小中学生を育てる年代）がそういった教育に触れる機会が少なかったように思います。そういった対策として、森林税が今、子供たちに使われているのだと本アンケートを通して知ることができました。高知の大切な森林を守るためにこの税金の使い方については熟慮してくださっていると思います。ぜひ森を守るための人財の増加、保全のために使って効果がありますようお願いいたします。また、ぜひ様々な人のご意見を取り入れ、県民を巻き込んでいかれることを期待します。
- 問7の5について、学習だけでなく、イベントなど（森林で遊ぶなど）への支援。
- 森林の間伐等保全整備のための後継者がいなくなり森林環境税等で森林整備への支援をお願いします。仁淀ロータリークラブで黒森山や仁淀川の環境整備に毎年少し協力しています。
- 正しく使ってください。

- 細少な額ですがとにかく無駄のない偏りのない有効な利用をお願いしたいです。
- 間伐等に重点を置いてほしい。川の氾濫にしても流木による原因も多くあると思われる。（山に保水力がない。広葉木と共存できる植林の在り方。）
- 税金が正しく使用されていないことが問題ですので、答えることが難しいです。森林を守ることは大切だと思います。
- 森林のためという理念を広げて解釈してほしい。川、海を守る、もっと山の土からの栄養を川を通じて海にも届ける。そのためには、現在のような多様性のない森から、複層林による経営、自然林への転換（傾斜のきつい森）などにも取り組んでほしい。防災にも寄与するはずです。皆からのお金を使って、残念な林を豊かな森に換えていってください。喜んで託します。
- 非常に勝手な感想ですが、支出する範囲が広すぎる。教育関係も大変重要と思うが、広く浅くなりすぎる。これこそ国の予算は使えないのだろうか？同様に木材を使用する段階も、環境税から外し、純粋に森林環境に関する事業に絞る方が効果的と思う。

#### 負担額・負担

- 当社は規模は小さいですが、負担額に関しては増額いただいてもやぶさかではありません。
- 現行税額より多くの税額については、各企業が考えるべきだと思います。業種によっても考え方が大きく違うと思うので。
- 森林面積の保有率の少ない行政区の住民ほど高負担。今の日本のいびつな人口分布の解消。
- 500円の負担なら今後も協力します。
- 森林環境保全の重要性について県民に理解してもらうことは大切であるが、県民に税を強いるのは別である（不要）。企業には、責務があるので課税は必要。
- 基本的に善意の寄付行為であるべきと思料。当社の場合、年10,000円程度を考えています。
- 林業、森林関係に携わってる企業、業者に、収入、報酬を得る会社に課税。法人全体は、賛成できない。
- コロナ禍の折、増税には反対いたします。

## 森林環境税制度のあり方

- 他県に先駆けた高知県の森林環境税は、歴史的な意義があったと思う。しかし、ここまで来れば、国税として統一し、その中身を十分に検討すべきではないだろうか。
- 森林環境税はやめてほしい。
- 森林を守るための税金なのは分かるが、守ったことによって結果森林だらけで人がいないということになりかねません。守った森林資源をいかに利用するかを考えていかないと、何のための税金か分からなくなる状況になると思います。
- 県税と国税の二重取りだとのそしりを免れないと、マスコミは国民世論を間違った方向へ先導していることはけしからんこと。人口割の30%を見直して、真に整備が急がれる私有林を多く抱える市町村に傾斜配分すべきです。資源は豊富でもチェーンソーを担いで急峻な山を分け入り伐出する担い手は減少の一方です。やっぱり担い手の育成が大切です。どこでもいつでも家族とつながる通信網の確保と路網密度のupです。金は足りませんね！
- 考え方に賛成です。●の活用も結構です。
- 地球温暖化により森林の影響は大きいと思われます。山は海にもつながっています。環境税をいかした対策は将来のためにも必須だと思います。
- 必要だと思います。有意義に利用してほしいです。
- 森林環境税の使い道が多岐に渡るために、県民にわかりにくい状況があるのではないかと思う。市町村の譲与税の増加なども考えると県税は使い道を絞り、かつわかりやすい使い方にした方が良いのではないだろうか。

## 森林・林業行政全般

- 森林の多面的効用を発揮、実現するために山林の出入りをルール化して、災害（転落等）、盗難、火災、等を防止できる対策を講じて、自由に森林を楽しむことができる体制を作ること。問7の3について、強化徹底、早期。
- 森林率84%、全国一の森林県で全国に先駆けて森林環境税を導入した先見性は“あっぱれ”です。県立林業大学の設置等で次代の担い手づくりも積極的で頼もしい限りです。最近では資機材の高性能化が進み労力消費は軽くなっていますが、その分高単価となり、低迷が続く材価ではペイできない、高収入が得られない環境に変わりはありません。国内の優良材を利用した建築物の促進を願うばかりです。今、電気自動車の購入には何十万円という補助金が付いていますが、新築住宅の梁、柱への国産材の積極的な利用ができる補助金制度を設けてはどうでしょうか？要は出口です。
- 特に人口減少中、森林面積が多い高知県においては、人員、人材を投入し森林整備を進めていく必要がある。

- 地方自治体として、山しかないので財源確保のため植林を推し進め、どこもかしこも杉山にしてしまったが、木が売れなくなったために放置された山を今度は税金で何とかしようとする。間伐は確かに必要ではあるが本来の広葉樹林帯に戻すことも必要なのではないだろうか？シカ害も、食物が豊富にあれば、解決が幾らかはできるのでないかとも思う。その場その場の政策で、一時しのぎをしているのではないかと、危惧する。結局は広く浅く、取りやすいところから取る。それ以前の啓発活動に力を傾注すべきではないだろうか？
- この丸投げアンケートそのものが森林環境税で実施され、絵空事の結果発表があるだけで事業をこなしたとなりませんように。森林関係の公的部分を縮小し、森林組合のエリア相互乗り入れを認めて、現地で役に立つ集団を育ててほしいと願っています。
- 高知県下の森林組合の組織づくり、意識改革、が必要に思います。
- 税金はなるべく少ないほうがいいですが、森林環境教育や木の香るまちづくり推進事業には今後、より一層力をいれてほしいなと思います。当社も県内産の木材を使った事業所を建てましたが、木の温かみを感じ、とても過ごしやすかったです。
- 国からの県への補助金が十分に活用されていないと新聞で見たように思いますがその点は改善されていますか？
- 林業の収益化が課題だと思います。整備や保全を行いながら、林業を商売につなげる仕組みや販売ルートの確保が必要だと思います。林業の収益化を目指すためには膨大な時間が必要だと思いますので、県が主導し、持続可能な取組にしていきたいです。
- 生産森林組合といってももう何年も何もしていません。親たちが皆死亡して、子供はどうすればいいのか分かりません。そのようなことの指導をしてもらいたいです。
- 少子高齢化のため放棄される森林が多くできてくると思います。温暖化による山林火災や、台風等により流木被害等、考えられます。整備管理が持ち主レベルでできなくなりますので、ぜひ公共で取り組んでいただきたい。
- 森林環境の保全を進める事業として、頑張ってもらいたい。応援してます。
- 仁淀川町につきましては、新型コロナの感染者数増加などの原因で国産材の需要が増え、原木価格の一時的な上昇があり、森林業者が増加しているように思います。今後の森林環境税が木材需要の増に関われば、国、県が推進する森林業の増加につながると期待しています。
- キノコ生産施設への補助金を作ってほしい。
- 行革を行い、無駄な予算支出の中から、SDGsの役割の一つとして、森林環境保全のために長期の予算化をする。木材研究機関への研究も増額と増員。市場と斡旋会社の設立。収益分は、森林所有者に分配し、所有者の森林環境への関心を提起する。
- 植林地は植林→伐採→植林のサイクルは現在は保たれていると思いますが、原木価値をもっと上げなくては、次の植林は将来無くなると思います。植林地の環境は長期のサイクルを要するわけで、先見の明は誰にも分らないのではないのでしょうか。
- 森で生計を立てる人はごく少数なので、森を県民の学習の場とすることが良いかと思います。
- 公共施設に木材を利用することを進めていってください。

## 企業の森林環境保全に対する取り組み姿勢

- 税金で森林保全活動を支えることも重要だが、企業が直接環境保全に積極的に関わっていくことのほうが大切だと思います。SDGsを含め、環境保全に取り組む企業のサポートを行う具体的な取組があれば、協力企業も増えると考えています。

## 広報・PR

- 今回のアンケートで平成15年度から森林環境税として年間500円を負担していることを知った。それさえ知らなかったが知ることができて良かったです。ただ、上の表のように法人に対してだけでなく「ふるさと納税」のように一般的に知ってもらうことも高知県に住んでいて山に囲まれた環境では必要かも…？問7の6について、市町村によっては木材利用が進んでいない。梶原など多くの木材を利用しているがそうでない市町村へのアプローチを促したらどうか？
- 地産地消をもっとアピールされたい。分譲マンション等の床材に例えば県産ヒノキを使ってもらうよう。木造住宅は当然ですが…。
- このアンケートを作製しようと思った時点で、税が不足しているのだから、税額をアップすることは、必然の課題に思われる。ボランティア活動に参加したくても情報が行き渡らず、計画を知らずに過ごしていました。私どもの仕事は、幼児教育の分野にあり、森林（山）・緑を大切に育てることを、子供たちに伝える役割を担っている。今後、行事や生活の中で、従業員共々学び活動していきたいと感じています。
- 山の所有者が整備費も木を売るのも安いし、木を切ってもらったら売っても赤字になったり、所有者を守る補助金必要なときは整備のインターネットで見たい。
- 高知県は森林県であるため、林業への理解と人材育成に力を注ぐべきと思われる。
- 森林の大切さをPRしてください。
- 学校等の授業（社会とか）で又は遠足や野外授業、山の現場（鹿のネットを張っている（みやびの丘など、身近で行きやすい山）状況を見てもらうとか）や間伐の状況を見てもらう。今は一部のキリンビールとか●で親子で募集してますが、学校全体で見てもいいのと思います。
- 森林環境税を使って林業の勉強会をしたらいいと思う。
- ウッドショックという言葉などもあり、木材の販売は好調の印象がある。森林環境税を導入しないといけないのは、木材の伐採の人員が不足しているからなのか、企業の販売力が弱いから伐採が進まないのか、間伐材の利用先が少ないからなのか、その辺りの説明がもっとあれば、それに伴う税負担の増加も理解が得られやすいのでは。
- 情報誌もりりんというものを初めて知りました。どこでもらえるものなのでしょうか。見てみたいと思うのにあまり知られていないと思うのでもったいないなと感じました。

- 森林環境整備は非常に重要と考えています。ただ、この森林環境税を通じて県民自らが森林を守っていくという盛り上がりにつながっていないように感じます。緑の募金も減少傾向にあるようです。日頃から知事を先頭に森林の大切さを訴え続ける熱意が欲しいですね。

## その他

- 北海道とかの土地を随分外国人に買われているが、国土を守るようにしてください。中国やロシアのような国に売ったりできないようにしてください。
- 川と海の環境にもつながるので、大事に山の環境もしていけないといけないと思います。
- この郵送アンケートも環境に負荷をかけているのでは？問6はかなり前のめりの問いかと…。
- 直接的に関係の持たないものですので、回答にも不明なことが多く意見にはならないと思いました。協力できなくすみません。
- 森林に詳しくなく回答できてない箇所があります。
- 現在地球温暖化が進んでいて、本年は日本全体に大雨が降り続けました。この状態は今後ますます悪化をたどると考えられます。実際に風水害の被害に遭って水没や山崩れ崖崩れが起きています。森林環境は私たちの身近のことになっています。今、私も山間に住んでいます。雨が激しく降るときは不安にもなります。実際に住民はそれぞれ家や畑等の周辺を草を刈ったり木を切ったりと、それぞれ日々山とともに暮らさせてもらっていますが、奥山や手の届かない所がほとんどです。災害が起きないよう、日々この管理は大変大切になります。今後森林税も現状《以降は読み取り不可》。
- SDGsにもつながり良いと思う。このような税があると初めて知った。

令和4年度 森林環境税企業アンケート調査結果

[発行] 高知県林業振興・環境部 林業環境政策課

高知市丸ノ内1丁目 7-52

TEL 088-821-4586

FAX 088-821-4576